

# PRESTO Park

プレストパーク

三菱立体駐車場  
プレストパーク設計資料  
2023年10月作成

# 目次

<b>1. 概要説明</b>	
構造概要	1
機器標準仕様	2
収容車最大寸法・重量	3
収容車一覧表	5
<b>2. レイアウト</b>	
格納階標準レイアウト	9
格納階バリエーション	10
断面バリエーション	11
乗入階レイアウト	12
<b>3. 基本寸法図</b>	
単列+単列 (ターンテーブル外置・通り抜けタイプ) [SS]	13
単列+複列 (ターンテーブル外置・通り抜けタイプ) [SW]	15
複列+複列 (ターンテーブル外置・通り抜けタイプ) [WW]	17
単列+単列 (ターンテーブル内蔵タイプ) [SS]	19
単列+複列 (ターンテーブル内蔵タイプ) [SW]	21
複列+複列 (ターンテーブル内蔵タイプ) [WW]	23
<b>4. 乗入階詳細図</b>	
ターンテーブル外置タイプ	25
通り抜けタイプ	26
ターンテーブル内蔵タイプ	27
リフト廻り必要寸法	29
<b>5. 電気設備</b>	
1次側電源・電源系統	30
電気配管	31
安全装置	32
操作盤	33
入出庫フロー例	35
入庫指示灯	36
入庫管制灯	37
出庫警戒灯	38
照明・コンセント位置 (参考)	39
<b>6. 付帯設備</b>	
扉	41
ターンテーブル	43
消火設備	47
<b>7. 関連資料</b>	
乗入階吊り金具配置図 (参考)	52
格納階・乗込階基礎荷重	53
施工区分表	55
建設工事標準工程表	58
<b>8. 車椅子使用者対応型</b>	59

概要説明

レイアウト

基本寸法図

乗入階詳細図

電気設備

付帯設備

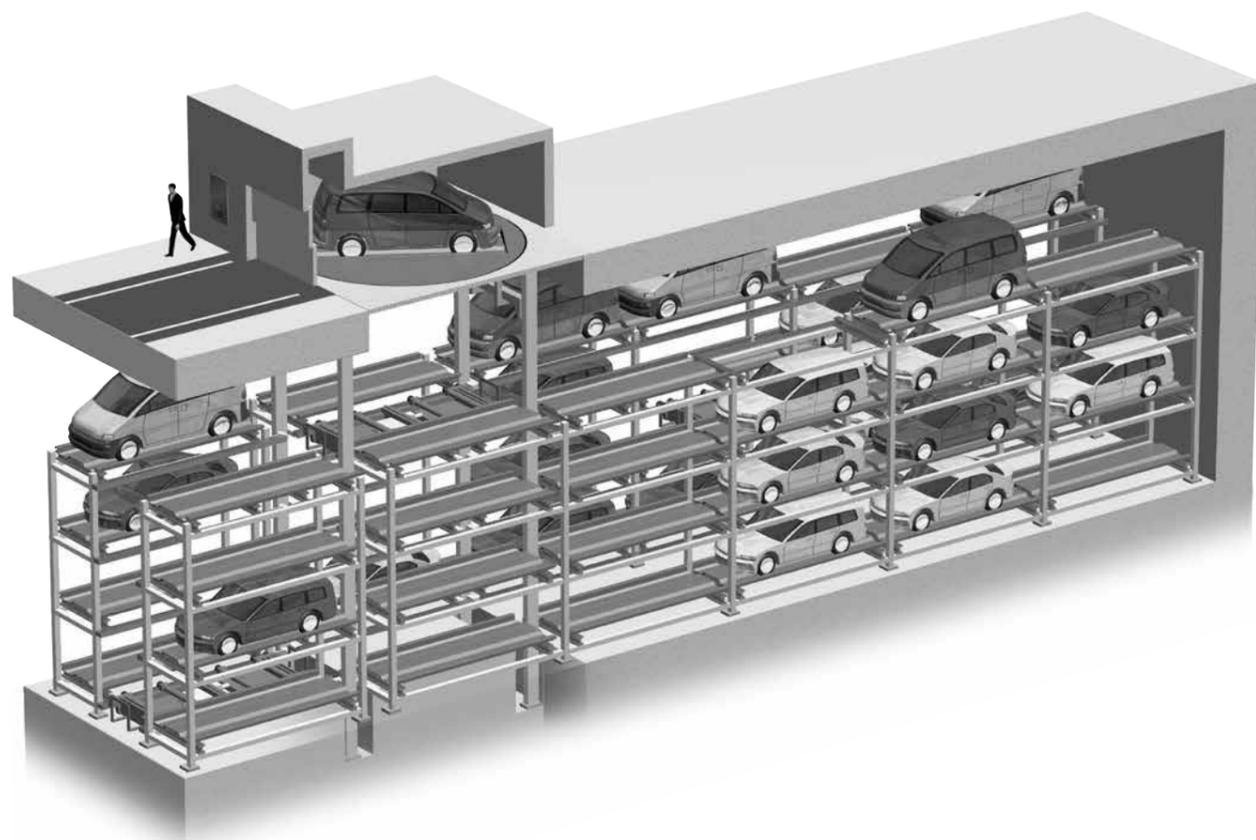
関連資料

車椅子使用者対応型

# 概要説明

## 構造概要

三菱プレストパークは上部乗入式の入出庫兼用リフトを用い、「入出庫時間の短縮」「ハイルーフ車のミックス収容」をコンセプトに開発された、1基当たり30～80台収容できる平面往復式の駐車装置です。車椅子利用者対応も可能です（建築条件あり）。代表的な構造を下図に示します。入出庫リフトは1基当たり1台で、走行台車は各段に設置されています。単列の他、単列＋複列、複列＋複列のバリエーションがあり、スペースに応じたレイアウトが可能です。



型式：PP-4SS-LT (〇〇/〇〇/〇〇) ×1

- 基数
- 収容台数（普通車／ミッドルーフ車／ハイルーフ車の順）
- 旋回装置内蔵
  - T：180度乗入
  - R：90度乗入
  - P：通り抜け式
- 配置（単列＋単列）
- 段数

国土交通省認定番号：関東(21)-86

## 機器標準仕様

項 目		仕 様	
リフト	昇 降	方 式	チェーン巻上方式(カウンターウエイト式)
		モータ容量/制御方式	22kW×1台/インバータ制御
		速 度	最大80m/min
走行台車	走 行	方 式	自走台車方式
		モータ容量/制御方式	2.2kW×2台/インバータ制御
		速 度	最大100m/min
	車 輪	ウレタン製/16輪	
	パレット横送り	方 式	チェーン方式
		モータ容量/制御方式	2.2kW、1.5kW 各1台/インバータ制御
速 度	最大30m/min		
旋回装置	方 式		フリクションローラ方式
	モータ容量/制御方式		5.5kW×1台/インバータ制御
	速 度		最大5.5rpm
格納棚	構 造		トラス構造
	横行方式	単列棚	ローラフレーム方式
		複列棚	ローラフレーム＋チェーン方式
出入口扉	種 類		鋼製電動上下開閉扉
	有効寸法	幅	2500mm
		高 さ	1900mm(ハイルーフ車用は2100mm)
操 作 方 法		暗証番号呼出	
安 全 装 置		入口部非常停止用光電装置 高さ制限用光電装置 車両確認用光電装置 車幅制限用光電装置 入庫指示灯・位置確認用鏡 非常停止押釦・出入口扉押釦 乗入階放送装置・乗入階無人確認装置 リフト上限及び下限ファイナルスイッチ カウンターウエイト下限ファイナルスイッチ 走行台車端部ファイナルスイッチ 搬器又はパレット落下防止装置	
電 源	動 力 用	AC200/220V 3φ 3W 50/60Hz	
	操 作 用	AC100 1φ 2W 50/60Hz	

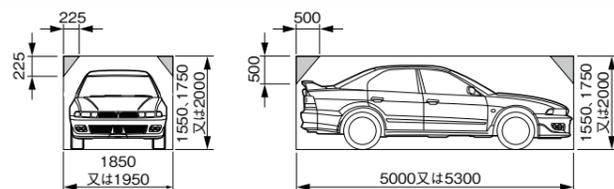
※仕様・寸法は予告なしに変更する場合があります。

# 概要説明

## 収容車最大寸法・重量

収容車種		最大寸法(mm)	最大重量(kg)	
中型車	普通車 M		2000	
	ミッドルーフ車 MM			
	ハイルーフ車 MH		標準	オプション
大型車	普通車 L		標準	オプション
	ミッドルーフ車 LM		2300	2500
	ハイルーフ車 LH			

- 備考 1. 最低地上高さ70mm未満の車は収容できません。  
 2. ドアミラーはたたんで入庫します。  
 3. 後部スペアタイヤ、リアミラーなどの突起物がある車は入庫できない場合があります。



※本設計資料の仕様及び寸法は予告なしに変更する場合があります。  
 ※車椅子仕様者対応型はP60を参照下さい。

## 注意事項

- 1) 収容車は前ページ記載の収容車最大寸法・重量以外の車は絶対に入庫させないで下さい。入庫可能寸法以外の車を入庫させると車の破損や機械の故障・事故が起こる可能性があります。
- 2) 収容車最大寸法・重量に寸法公差(注)は含まれておりません。  
 車検証・メーカーカタログ等に記載の車体寸法が収容可能寸法内であっても、実車寸法が収容可能寸法を超える車は入庫できません。  
 例) 車検証に車高1550mmと記載されている場合、実車寸法は、1510mm～1590mmとなります。
- 3) 最大重量は実車重量としております。車体重量には燃料は全量含んでおりますが、スペアタイヤ・簡易備付工具類・荷物は含んでおりません。荷物を積んだまま入庫する場合は、最大重量を超えないようにして下さい。
- 4) 同一車名でもタイプや年式により車体寸法や重量が異なり、入庫できない場合があります。入庫前に入庫可否の確認を実施して下さい。
- 5) 駐車装置は収容車最大寸法・重量記載の乗用車を対象としております。記載寸法を下回る場合でもトラック、二輪車等は入庫できません。
- 6) 自動車の全幅はドアミラーを閉じた状態の車体寸法を表しております。ドアミラー及びアンテナは閉じた状態で入庫して下さい。  
 ドアミラーをたためない車種においては入庫できない可能性があります。
- 7) 油圧サスペンション・エアサスペンション付の車で、エンジン停止後車高が下がり、最低地上高120mm以下になる車は入庫できません。
- 8) 改造車やキャリア付車、後部スペアタイヤ取付車、リアスポイラー、リアアンダーミラー等の突起物がある車は入庫出来ない場合があります。

### 【別表】

項目	長さ(mm)	幅(mm)	高さ(mm)	車両重量(kg)
自動車の種別				
普通自動車	± 30	± 20	± 40	± 60
小型自動車	± 30	± 20	± 40	± 50
軽自動車	± 30	± 20	± 40	± 40

※道路運送車両法(第75条第1項)の規定による「自動車型式認証実施要領」内の「附則1:自動車等の同一型式判定要領」に別表の製作誤差の範囲(実測寸法と諸元値の差)が定められております。

# 概要説明

## 収容車一覧表

①国産車 1550mm以下

■：収容不可車要因 □：公差による要因

車名	発売年度	諸元						収容可否		
		全長 (mm)	全幅 (mm)	全高 (mm)	車体重量 (kg)	タイヤ外幅 (mm)	最低地上高 (mm)	中型車	大型車	
トヨタ	C-HR ハイブリッド G 2WD	2016	4360	1795	1550	1440	1765	140	○	○
	アクア GR スポーツ 2WD	2022	4095	1695	1485	1150	1675	140	○	○
	カムリ ハイブリッド WS 4WD	2022	4910	1840	1455	1660	1815	155	×	○
	カローラ ハイブリッド G 4WD	2022	4495	1745	1435	1410	1735	130	○	○
	カローラスポーツ ハイブリッド G Z 2WD	2018	4375	1790	1460	1400	1755	135	○	○
	クラウン クロスオーバー ハイブリッド RS アドバンスド 4WD	2022	4930	1840	1540	1920	1840	145	×	○
	クラウン ハイブリッド 3.5 G-エグゼ	2018	4910	1800	1455	1900	1775	135	○	○
	スープラ SZ	2019	4380	1865	1295	1410	1870	118	×	×
	センチュリー	2018	5335	1930	1505	2370	1840	135	×	×
	パッポ MODA 2WD	2016	3660	1665	1525	910	1640	150	○	○
	ピクシエポック G SA III 4WD	2017	3395	1475	1510	740	1455	160	○	○
	プリウス PHV S ナビパッケージ GR スポーツ	2017	4685	1760	1470	1550	1745	125	○	○
	ヤリス ハイブリッド G 4WD	2022	3940	1695	1515	1170	1665	160	○	○
	レクサス	ES300h バージョン L	2018	4975	1865	1445	1730	1835	145	×
GS F		2015	4915	1855	1440	1830	1835	130	×	○
IS IS500 F スポーツパフォーマンス 2WD		2022	4760	1840	1435	1720	1835	140	×	○
LC500h L パッケージ		2017	4770	1920	1345	2020	1910	140	×	○
LS500h エグゼクティブ AWD		2017	5235	1900	1460	2390	1880	140	×	×
RC300 バージョン L 2WD		2017	4700	1840	1395	1680	1835	125	×	○
UX200 バージョン L		2018	4495	1840	1540	1500	1775	160	○	○
UX250h バージョン L AWD		2018	4495	1840	1540	1640	1775	160	○	○
日産	スカイライン 400R 2WD	2022	4810	1820	1440	1760	1805	130	○	○
	ノート X FOUR 4WD	2022	4045	1695	1520	1340	1675	125	○	○
	ノート メタリスト X FOUR	2016	4100	1695	1535	1110	1670	155	○	○
	リーフ ニスモ	2019	4510	1790	1550	1520	1770	165	○	○
マツダ	CX-3 ディーゼル XD 4WD	2022	4275	1765	1550	1370	1740	160	○	○
	MAZDA2 ディーゼル XD 4WD	2021	4065	1695	1525	1240	1680	145	○	○
	MAZDA3 セダン XD プロアクティブ 4WD	2019	4660	1795	1445	1460	1795	140	○	○
	MAZDA3 ファストバック XD プロアクティブ 4WD	2019	4460	1795	1440	1470	1795	140	○	○
	キャロル GX 2WD	2015	3395	1475	1500	650	1465	155	○	○
	ロードスター RF S AT	2016	3915	1735	1245	1130	1710	145	○	○
	NSX	2017	4490	1940	1215	1800	1920	110	×	×
	S660 α AT	2015	3395	1475	1180	850	1470	125	○	○
	インサイト EX・ブラックスタイル	2018	4675	1820	1410	1390	1780	130	○	○
	クラリティ PHEV EX	2018	4915	1875	1480	1850	1820	135	×	○
富士重工	ジェイド ハイブリッド	2015	4650	1775	1530	1510	1750	140	○	○
	シビック セダン	2017	4650	1800	1415	1300	1780	135	○	○
	シビック タイプ R	2017	4560	1875	1435	1390	1845	125	×	○
	シビック ハッチバック AT	2017	4520	1800	1435	1350	1790	135	○	○
	レジェンド ハイブリッド EX	2015	4995	1890	1480	1980	1875	145	×	○
	XV ハイブリッド アドバンス	2018	4465	1800	1550	1550	1790	200	○	○
	インプレッサ G4 2.0i-S アイサイト AWD	2022	4640	1775	1455	1400	1770	130	○	○
	インプレッサ XV 2.0i-S アイサイト	2017	4465	1800	1550	1440	1790	200	○	○
	インプレッサスポーツ 2.0i-S アイサイト 4WD	2016	4460	1775	1480	1400	1770	130	○	○
	インプレッサスポーツ ハイブリッド 2.0i-S アイサイト	2015	4420	1755	1490	1500	1730	130	○	○
	プレオプラス L スマートアシスト 4WD	2017	3395	1475	1510	740	1455	160	○	○
	ダイハツ	アルティス G	2017	4885	1840	1445	1570	1810	145	○
ブーン CILQ 2WD		2016	3660	1665	1525	910	1640	150	○	○
ミライース G SA III 4WD		2017	3395	1475	1510	740	1455	160	○	○
ミラコット G SA III 4WD		2018	3395	1475	1540	790	1455	160	○	○
スズキ	アルト ターボ RS 4WD	2015	3395	1475	1500	720	1460	155	○	○
	アルトラバン X 4WD	2015	3395	1475	1525	730	1450	155	○	○
	アルトワークス AT 4WD	2015	3395	1475	1500	740	1460	155	○	○
	スイフト RS 4WD	2017	3840	1695	1525	960	1670	145	○	○
	スイフト ハイブリッド RS 4WD	2022	3855	1695	1525	970	1670	145	○	○
	スイフトスポーツ AT	2017	3890	1735	1500	990	1710	120	○	○
光岡自動車	ハレーノ XT	2016	3995	1745	1470	950	1705	120	○	○
	ガリユン 25DX	2015	4980	1830	1470	1520	1800	130	○	○
	ヒミコ S レザーパッケージ AT	2018	4580	1740	1235	1200	1700	135	○	○
	リュウギワゴン 15DX AT 4WD	2016	4510	1695	1500	1240	1655	135	○	○
ロックスター S スペシャルパッケージ AT	2018	4345	1770	1235	1140	1700	140	○	○	

備考：ドアミラーはたただで入庫願います。最低地上高120mm未満の車は入庫出来ません。○'は寸法公差により個々に入庫可否の確認が必要となります。(すみ切り確認含む)  
注：着色部は収容不可要因を示します。

## 収容車一覧表

②国産車 1550mm超

■：収容不可車要因 □：公差による要因

車名	発売年度	諸元						収容可否		
		全長 (mm)	全幅 (mm)	全高 (mm)	車体重量 (kg)	タイヤ外幅 (mm)	最低地上高 (mm)	中型ハイルーフ車	大型ハイルーフ車	
三菱自動車	ek ワゴン M 4WD	2019	3395	1475	1660	890	1455	155	○	○
	i MiEV X	2018	3480	1475	1610	1100	1455	150	○	○
	アウトランダー PHEV P 4WD	2022	4710	1860	1745	2110	1855	200	×	○
	エクリプスクロス G P パッケージ 4WD	2018	4405	1805	1685	1550	1770	175	○	○
	タウンボックス G スペシャル 4WD	2015	3395	1475	1910	1010	1465	150	○	○
	デリカ D5 P 4WD	2022	4800	1795	1875	1980	1765	185	○	○
	デリカ D:2 カスタムハイブリッド MV 4WD	2015	3710	1625	1745	990	1600	140	○	○
	トヨタ	C-HR G-T 4WD	2022	4385	1795	1565	1470	1765	155	○
RAV4 アドベンチャー		2019	4610	1865	1690	1630	1850	200	×	○
RAV4 プラグイン ハイブリッド Z 4WD		2022	4600	1855	1695	1920	1850	200	×	○
アルファード ハイブリッド SR		2020	4950	1850	1950	2160	1825	165	×	○
アルファード ハイブリッド エグゼクティブ ラウンジ S 4WD		2021	4950	1850	1950	2240	1825	165	×	○
ヴェルファイア ハイブリッド エグゼクティブラウンジ		2015	4930	1850	1950	2220	1825	165	×	○
ヴォクシー ハイブリッド S-Z 4WD		2022	4695	1730	1925	1710	1720	125	○	○
シエンタ ハイブリッド Z 4WD		2022	4260	1695	1715	1420	1670	140	○	○
タンク カスタム G-T 2WD		2016	3715	1670	1735	1100	1640	130	○	○
ハイエース コミューター S ロング GL D 2WD		2016	5380	1880	2285	2220	1850	185	×	×
ハイエース ワゴン ロング GL 4WD		2016	4840	1880	2105	2080	1850	175	×	×
ハイラックス Z		2017	5335	1855	1800	2080	1815	215	×	×
ハリアー プラグイン ハイブリッド Z 4WD		2022	4740	1855	1660	1950	1850	190	×	○
ピクシス ジョイ S SA II 4WD		2016	3395	1475	1600	900	1470	150	○	○
ヤリスクロス ハイブリッド アドベンチャー 4WD		2022	4200	1765	1590	1270	1730	170	○	○
ライズ ハイブリッド Z 2WD		2022	3995	1695	1620	1070	1670	185	○	○
ランドクルーザー ガソリン ZX		2021	4985	1980	1925	2500	1930	225	×	×
ランドクルーザープラド TX ディーゼル 7人乗り		2022	4825	1885	1850	2220	1850	220	×	○
レクサス	ルーミー カスタム G 4WD	2022	3705	1670	1735	1140	1630	130	○	○
	NX300 バージョン L AWD	2017	4640	1845	1645	1800	1805	165	○	○
	RX450h バージョン L 4WD	2015	4890	1895	1710	2140	1875	200	×	○
	RX450hL	2017	5000	1895	1725	2240	1875	200	×	○
日産	NV100 クリッパーリオ G ハイルーフ 4WD	2015	3395	1475	1910	1010	1465	150	○	○
	エルグランド 350 ハイウェイスター プレミアム アーバン クロム 4WD	2022	4975	1850	1815	2080	1825	150	×	○
	セレナ e-パワールキション 2WD	2022	4765	1715	1885	1850	1690	135	○	○
	セレナ ライダー 4WD	2016	4845	1755	1875	1800	1680	140	○	○
マツダ	デイズ ハイウェイスター G ターボ ProP-E 4WD	2019	3395	1475	1660	940	1465	155	○	○
	CX-5 XD L パッケージ 4WD	2017	4545	1840	1690	1660	1820	210	×	○
	CX-8 XD L パッケージ 4WD	2017	4900	1840	1730	1900	1825	200	×	○
	スクラムワゴン PZ ターボ SP 4WD	2015	3395	1475	1910	1010	1465	150	○	○
ホンダ	フレアワゴン ハイブリッド XS 4WD	2018	3395	1475	1785	920	1450	150	○	○
	CR-V ハイブリッド EX・マスターピース 4WD	2018	4605	1855	1690	1700	1850	200	×	○
	N-BOX カスタム G・EX ターボ ホンダ C 4WD	2017	3395	1475	1815	1020	1460	145	○	○
	ヴェゼル e:HEV Z 4WD	2022	4330	1790	1590	1450	1765	180	○	○
	オデッセイ ハイブリッド A・H-S 7人乗り	2016	4830	1820	1685	1880	1775	140	○	○
	ステップワゴン e:HEV プレミアム ライン 2WD	2022	4830	1750	1845	1840	1705	150	○	○
富士重工	フィット e:HEV クロススター 4WD	2022	4095	1725	1570	1280	1680	155	○	○
	フリード ハイブリッド クロススター 4WD	2022	4265	1695	1735	1520	1670	150	○	○
	エクシーガ クロスオーバー 7.25i アイサイト	2015	4780	1800	1670	1620	1755	170	○	○
	シフォン カスタム RS リミ S アシスト 4WD	2016	3395	1475	1750	1010	1465	145	○	○
ダイハツ	ジャスティ カスタム RS S アシスト 2WD	2016	3715	1670	1735	1100	1640	130	○	○
	フォレスター X プレイク	2018	4625	1815	1730	1530	1795	220	○	○
	キャスト スポーツ SA II 4WD	2015	3395	1475	1600	900	1470	145	○	○
	トール カスタム G ターボ SA II 2WD	2016	3725	1670	1735	1100	1640	130	○	○
スズキ	ムーブキャンバス X 4WD	2016	3395	1475	1655	970	1460	145	○	○
	SX4 S-CROSS 4WD	2015	4300	1765	1575	1210	1740	165	○	○
	イグニス ハイブリッド MZ 4WD	2016	3700	1660	1595	920	1635	180	○	○
	エスクード 4WD	2015	4175	1775	1610	1210	1750	185	○	○
	エブリィワゴン PZ ターボ SP ハイルーフ 4WD	2015	3395	1475	1910	1010	1465	150	○	○
	クロスビー ハイブリッド MZ 2WD	2017	3760	1670	1705	960	1645	180	○	○
	ジムニーシエラ JC 4AT	2018	3715	1645	1730	1090	1600	210	○	○
	スバーシアギア ハイブリッド XZ ターボ 2WD	2018	3395	1475	1800	890	1455	150	○	○
ソリオバンディット ハイブリッド MV 4WD	2015	3710	1625	1745	990	1600	140	○	○	
ワゴン R ハイブリッド FZ 4WD	2017	3395	1475	1650						

# 収容車一覧表

## ③外国車 1550mm以下

■：収容不可車要因 □：公差による要因

車名	発売年度	諸元						収容可否		
		全長 (mm)	全幅 (mm)	全高 (mm)	車体重量 (kg)	タイヤ外幅 (mm)	最低地上高 (mm)	中型車	大型車	
GM	キャデラック CT6 ブラチナム	2016	5190	1885	1495	1920	1890	145	×	○
	シボレー カマロ SS	2017	4780	1900	1340	1710	1895	130	×	○
ジャガー	XF スポーツブレイク プレステージ 180PS	2017	4965	1880	1495	1820	1855	115	×	×
ロータスカーズ	3 イレブン ロード	2017	4120	1855	1200	925	1815	140	×	○
フェラーリ	488 スパイダー	2015	4570	1955	1215	1420	1955	125	×	×
	GTC4 ルッコ	2016	4925	1980	1385	1790	1965	155	×	×
アルファロメオ	ジュリア ヴェローチェ L	2017	4655	1865	1435	1670	1850	150	×	○
	ジュリア クアドリフォリオ	2017	4635	1865	1435	1710	1890	120	×	○
アバルト	124 スパイダー AT	2016	4060	1740	1240	1150	1710	145	○	○
	695C リヴァール	2018	3660	1625	1505	1160	1615	105	×	×
ボルボ	V60 T6 ツインエンジン AWD インスクリプション	2018	4760	1850	1435	2075	1835	145	×	○
	V90 クロスカントリー T6 AWD サマム	2017	4940	1905	1545	1870	1900	210	×	○
メルセデスベンツ	A 180	2018	4420	1800	1420	1360	1775	120	○	○
	AMG GT63 S 4MATIC+	2019	5050	1955	1445	2150	1960	130	×	×
	C 350 e アバンギャルド	2016	4690	1810	1430	1830	1800	115	×	×
	CLS 53 4MATIC+	2018	5000	1895	1425	2010	1910	130	×	○
	E 220 d S-ワゴン アバンギャルド スポーツ	2016	4960	1850	1465	1890	1865	115	×	×
	E 400 4MATIC S-ワゴン エクスクルーシブ	2016	4940	1850	1465	1950	1850	120	×	○
	S 600 ロング	2016	5250	1900	1495	2300	1910	130	×	○
フォルクスワーゲン	SLC 200 スポーツ	2016	4145	1845	1295	1540	1800	115	×	×
	e-up!	2015	3545	1650	1520	1160	1595	145	○	○
	e-ゴルフ	2017	4265	1800	1480	1590	1750	140	○	○
	アルテオン R ライン 4 モーション	2017	4865	1875	1435	1700	1830	110	×	×
	ゴルフ GTE	2015	4265	1800	1480	1580	1760	140	○	○
	ゴルフ R ヴァリアント	2015	4595	1800	1465	1560	1760	130	○	○
	パサート GTE アドバンス	2016	4785	1830	1460	1720	1815	120	×	○
アウディ	パサートオールトラック 55 TFSI クワトロ S ライン	2018	4780	1855	1535	1680	1825	160	×	○
	ポロ TSI R ライン	2019	4075	1750	1450	1210	1715	140	○	○
	A3 スポーツバック e-トロニック	2015	4330	1785	1465	1570	1750	145	○	○
	A5 スポーツバック 2.0 TFSI クワトロ スポーツ	2017	4750	1845	1390	1610	1830	120	×	○
	A7 スポーツバック 55 TFSI クワトロ S ライン	2018	4975	1910	1405	1900	1900	130	×	○
	A8L 60 TFSI クワトロ	2018	5300	1945	1485	2180	1895	120	×	○
	Q2 1.4 TFSI シリンダー スポーツ	2017	4200	1795	1500	1340	1760	180	○	○
BMW	R8 スパイダー V10 5.2 FSI クワトロ	2017	4425	1940	1240	1770	1905	120	×	○
	RS 6 アバント パフォーマンス	2016	4980	1935	1480	2030	1950	180	×	×
	RS4 アバント	2019	4780	1865	1435	1840	1870	120	×	○
	S4 アバント	2016	4745	1840	1435	1690	1805	120	○	○
	S8 プラス	2016	5145	1950	1455	2110	1910	120	×	○
	TT RS クーペ	2017	4190	1830	1370	1490	1805	120	○	○
	TTS クーペ 2.0TFSI クワトロ	2015	4190	1830	1370	1410	1810	120	○	○
BMWアルピナ	330i M スポーツ	2019	4715	1825	1430	1630	1825	125	×	○
	530e ラグジュアリー アイパフォーマンス	2017	4945	1870	1485	1910	1870	150	×	○
	540i xDrive ツーリング ラグジュアリー	2017	4950	1870	1500	1900	1870	140	×	○
	750Li M スポーツ	2015	5250	1900	1485	2140	1895	135	×	○
	M2 クーペ	2016	4475	1855	1410	1580	1865	125	×	○
	M5	2017	4965	1905	1480	1950	1895	130	×	○
	M850i xDrive カブリオレ	2019	4855	1900	1345	2120	1915	125	×	×
BMWアルピナ	X2 xDrive 20i M スポーツ X	2018	4375	1825	1535	1620	1800	180	○	○
	Z4 M40i	2019	4335	1865	1305	1570	1865	114	×	×
ボルシェ	B5 ビターボ ツーリング オールラッド	2017	4960	1870	1485	2080	1880	120	×	○
	718 ケイマン S AT	2016	4380	1800	1270	1385	1805	130	○	○
スマート	718 ボクスター S AT	2016	4385	1825	1280	1410	1805	130	○	○
	フォーツ BRABUS エクスクルーシブ	2017	2785	1665	1545	980	1635	125	○	○
ルノー	フォーフォー BRABUS エクスクルーシブ	2016	3550	1665	1545	1080	1635	125	○	○
	アルピーヌ A110 リネージュ	2018	4205	1800	1250	1130	1800	115	×	×
プジョー	トゥインゴ インテンス キャンバストップ	2016	3620	1650	1545	1030	1630	130	○	○
	メグナス スポーツツアラー GT	2017	4635	1815	1450	1480	1800	120	○	○
シトロエン	508 GT ブルー HDi	2018	4750	1860	1420	1630	1830	140	×	○
	508 SW GT ブルー HDi	2019	4790	1860	1420	1670	1830	140	×	○
シトロエン	C3 フェール	2017	3995	1750	1495	1160	1685	160	○	○
	DS3 クロスバック ピーシック	2019	4120	1790	1550	1270	1775	185	○	○

備考：ドアミラーはたただで入庫願います。最低地上高 120mm 未満の車は入庫出来ません。○' は寸法公差により個々に入庫可否の確認が必要となります。(すみ切り確認含む)

注：着色部は収容不可要因を示します。

# 収容車一覧表

## ④外国車 1550mm超

■：収容不可車要因 □：公差による要因

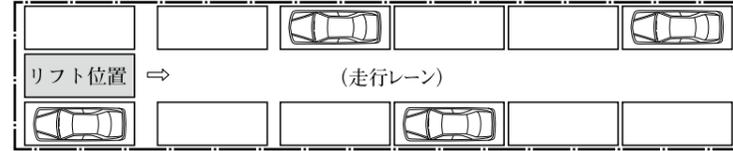
車名	発売年度	諸元						収容可否		
		全長 (mm)	全幅 (mm)	全高 (mm)	車体重量 (kg)	タイヤ外幅 (mm)	最低地上高 (mm)	中型ハイルーフ車	大型ハイルーフ車	
GM	キャデラック XT5 X オーバー ラグジュアリー	2017	4825	1915	1700	1990	1870	190	×	○
	キャデラック エスカレード プレミアム	2015	5195	2065	1910	2650	2030	215	×	×
ジープ	ジープ・コンパス リミテッド	2017	4400	1810	1640	1600	1775	180	○	○
	ジープ・ラングラー スポーツ	2018	4425	1895	1825	1830	1845	200	×	○
	ジープ・ラングラーアンリミテッド サハラ	2018	4975	1895	1840	1980	1855	200	×	○
	ジープ・レネゲードトレイルホーク	2015	4260	1805	1725	1560	1755	200	○	○
ジャガー	E ペース D180	2018	4410	1900	1650	1920	1875	200	×	○
	F ペース ファーストエディション	2015	4740	1935	1665	1980	1920	215	×	×
ランドローバー	ディスカバリー ファーストエディション ディーゼル	2017	4970	2000	1890	2460	1965	200	×	×
	レンジローバーヴェネラール R ダイナミック HSE 180PS	2017	4820	1930	1685	2020	1920	205	×	×
	レンジローバーヴェネラール R ダイナミック HSE 380PS	2017	4820	1930	1685	2060	1920	205	×	×
ベントレー	ベンティガ	2016	5150	1995	1755	2530	1980	195	×	×
フィアット	500X クロス プラス	2015	4270	1795	1625	1460	1770	165	○	○
マセラティ	レヴァンテ S	2016	5000	1985	1680	2140	1970	225	×	×
アルファロメオ	ステルヴィオ 2.2 ターボ ディーゼル Q4	2018	4690	1905	1680	1820	1885	245	×	○
	ステルヴィオ 2.9 V6 ビターボ クアドリフォリオ	2018	4700	1955	1680	1910	1960	245	×	×
ボルボ	XC40 T5 AWD R- デザイン	2018	4425	1875	1660	1690	1860	210	×	○
	XC60 D4 AWD モーメンタム エアサス	2017	4690	1900	1660	1910	1890	215	×	○
	XC60 T6 AWD R デザイン	2017	4690	1915	1660	1890	1915	215	×	×
	XC60 T8 W エンジン AWD インスクリプション	2017	4690	1900	1660	2170	1910	215	×	○
	XC90 T5 AWD インスクリプション A- サス	2016	4950	1960	1760	2100	1955	180	×	×
	XC90 T8 ツイン エンジン AWD インスクリプション A- サス	2016	4950	1960	1760	2340	1955	180	×	×
	AMG G 63	2018	4875	1985	1975	2530	1930	240	×	×
メルセデスベンツ	AMG GLC 43 4MATIC クーペ	2016	4735	1930	1590	1920	1935	175	×	×
	AMG GLE 43 S 4MATIC クーペ	2015	4890	2015	1720	2310	2035	200	×	×
	AMG GLE 63 S 4MATIC クーペ	2015	4920	2015	1720	2420	2030	200	×	×
	AMG GLS 63 4MATIC	2016	5160	1980	1850	2610	1980	200	×	×
	B180	2019	4425	1795	1565	1440	1775	120	○	○
	B 200d	2019	4425	1795	1565	1550	1775	120	○	○
	G 550	2018	4820	1930	1975	2450	1895	240	×	×
	GLC 200 クーペ スポーツ	2016	4735	1930	1605	1770	1910	180	×	○
	GLC 220d 4MATIC クーペ スポーツ 本革仕様	2016	4735	1930	1605	1960	1910	180	×	○
	GLC 250 4MATIC クーペ スポーツ 本革仕様	2016	4735	1930	1600	1870	1910	175	×	○
	GLC 350e 4MATIC クーペ スポーツ	2016	4735	1930	1600	2100	1940	175	×	×
	GLE 300d 4MATIC	2019	4930	1950	1770	2290	1950	190	×	×
	GLE 350d 4MATIC クーペ スポーツ	2015	4890	2015	1730	2330	2020	205	×	×
	GLE 400d 4MATIC スポーツ	2019	4940	2020	1780	2390	2005	200	×	×
GLE 450 4MATIC スポーツ	2019	4940	2020	1780	2370	2005	200	×	×	
GLS 350d 4MATIC スポーツ	2016	5140	1980	1850	2580	1990	200	×	×	
GLS 550 4MATIC スポーツ	2016	5140	1980	1850	2560	1990	200	×	×	
V 220d	2015	4905	1930	1880	2370	1890	105	×	×	
V 220d アバンギャルド エクストラロング	2015	5380	1930	1880	2490	1910	105	×	×	
フォルクスワーゲン	ゴルフトゥーラン TSI トレンドライン	2016	4535	1830	1640	1560	1775	160	○	○
	ティグアン TSI R- ライン	2017	4500	1860	1675	1540	1845	180	×	○
アウディ	Q5 2.0 TFSI クワトロ	2017	4680	1900	1665	1820	1855	185	×	○
	Q7 3.0 TFSI クワトロ A- サス	2016								

# レイアウト

## 格納階標準レイアウト

リフトは格納棚配置に合わせ、走行レーン上に任意の位置に設定できます。

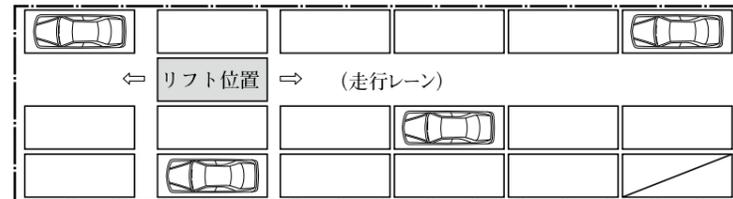
単列+単列 (リフト端部配置)



単列+単列 (リフト中側配置)

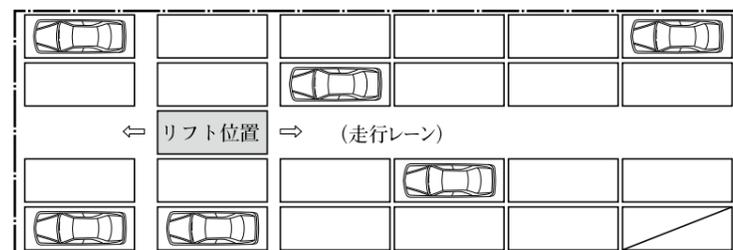


単列+複列 (リフト中側配置)



複列の場合、荷線スペースとして各段1台分の空スペースが必要となります。

複列+複列 (リフト中側配置)

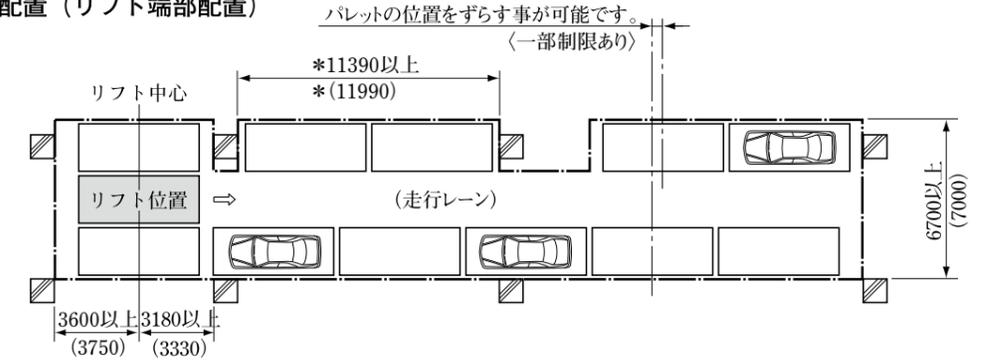


複列の場合、荷線スペースとして各段1台分の空スペースが必要となります。

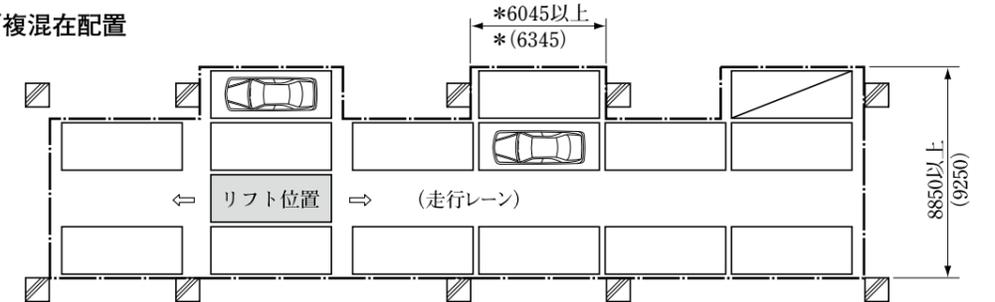
※格納段数5段以上はご相談下さい。  
※仕様・寸法は予告なしに変更する場合があります。

## 格納階バリエーション

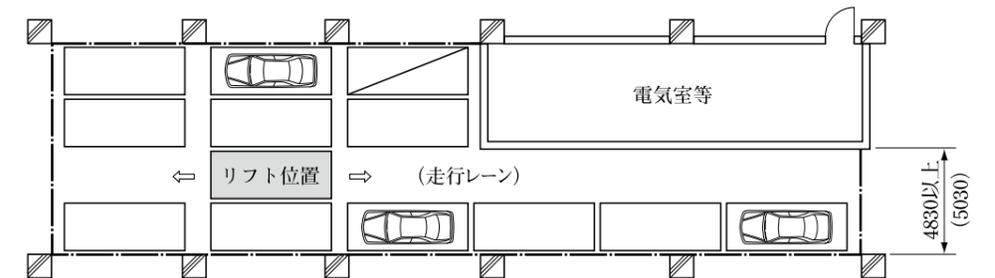
格納棚不連続配置 (リフト端部配置)



片列側 単/複混在配置

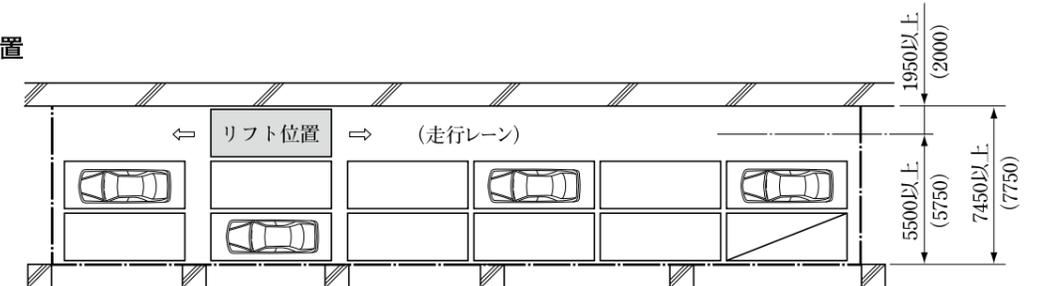


一部片荷配置



片荷部は走行台車レールサポートを躯体にて支持させて頂く場合があります。

完全片荷配置



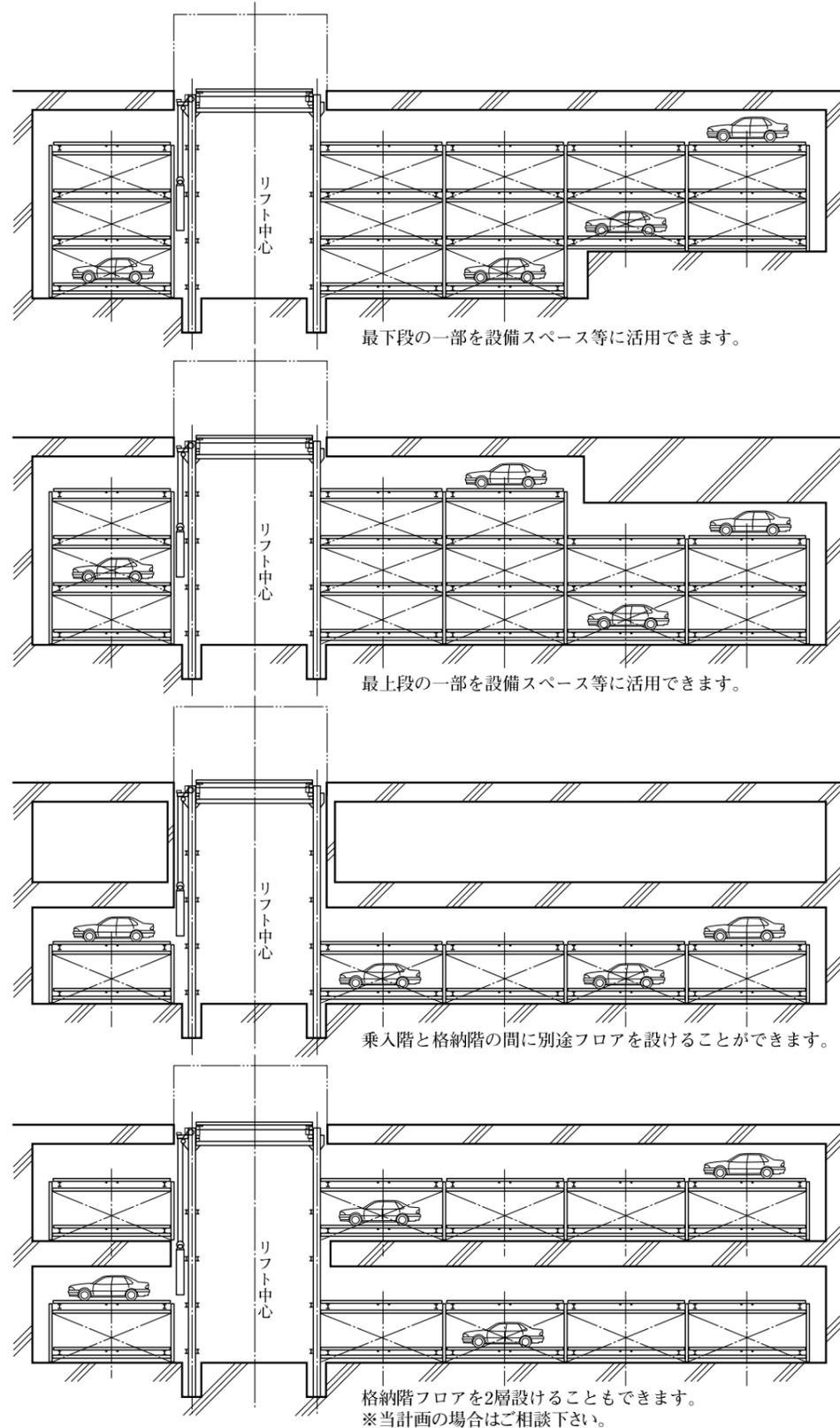
片荷部は走行台車レールサポートを躯体にて支持させて頂く場合があります。

( ) 内寸法は、大型車用 (L) を示します。  
\* 防振ゴム設置の場合100mm加算して下さい。

※仕様・寸法は予告なしに変更する場合があります。

# レイアウト

## 断面バリエーション

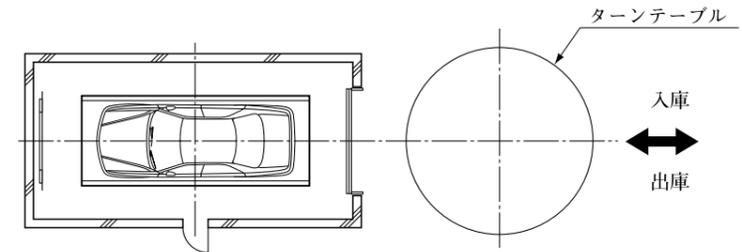


※仕様格納段数5段以上はご相談下さい。  
※仕様・寸法は予告なしに変更する場合があります。

## 乗入階レイアウト

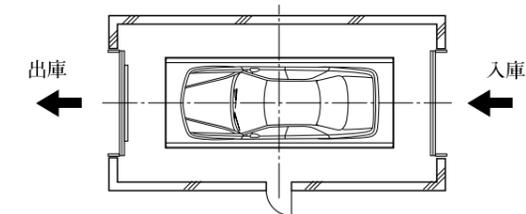
### ターンテーブル外置タイプ

入庫：前進 出庫：後進



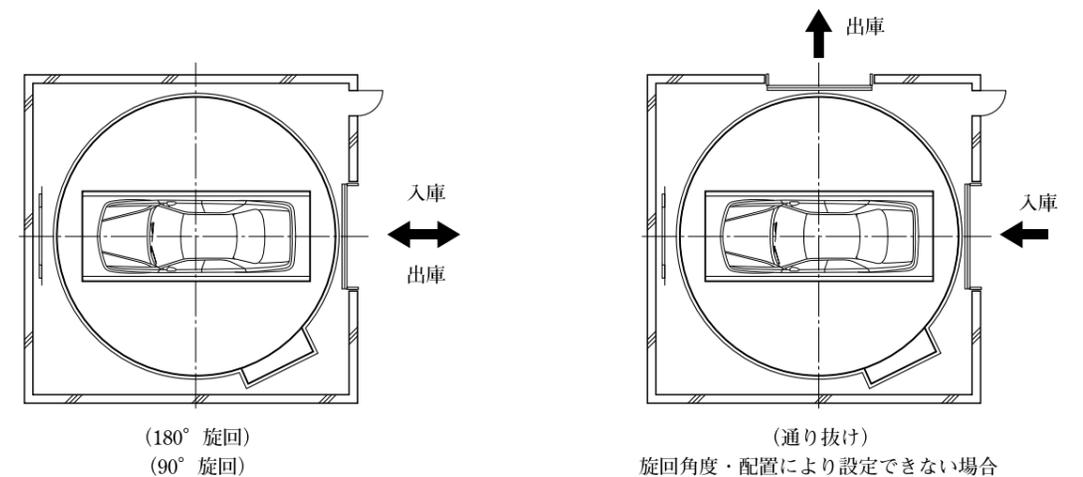
### 通り抜けタイプ

入庫：前進 出庫：前進



### ターンテーブル内蔵タイプ

入庫：前進 出庫：前進



旋回角度・配置により設定できない場合がありますので、お問い合わせ願います。

※仕様・寸法は予告なしに変更する場合があります。

レイアウト

レイアウト

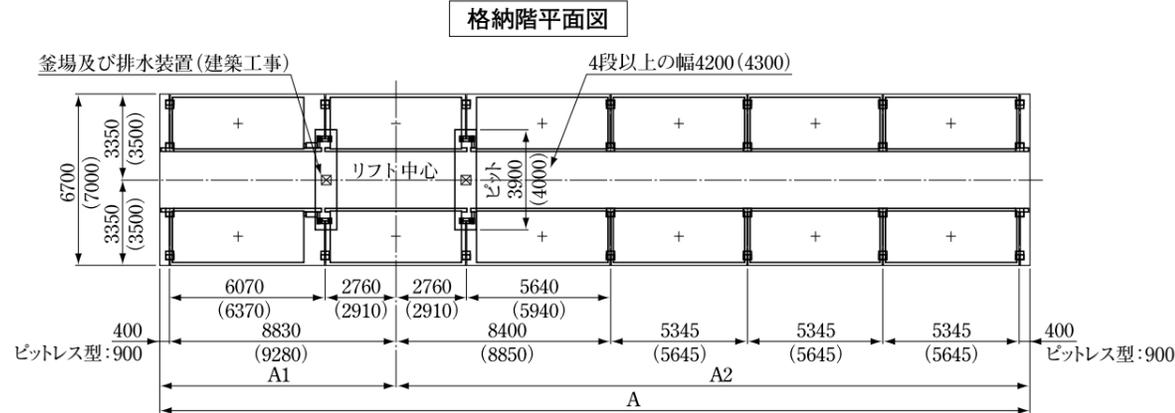
# 基本寸法図

## 単列+単列(ターンテーブル外置・通り抜けタイプ) [SS]

収容車最大寸法・重量

	中型車(M)			大型車(L)		
	普通車	ミッドルーフ車	ハイルーフ車	普通車	ミッドルーフ車	ハイルーフ車
	M	MM	MH	L	LM	LH
全長mm	5000			5300		
全幅mm	1850			1950		
タイヤ外幅mm	1810			1910		
全高mm	1550	1750	2000	1550	1750	2000
重量kg	2000	2000	2300	2300	2300	2300

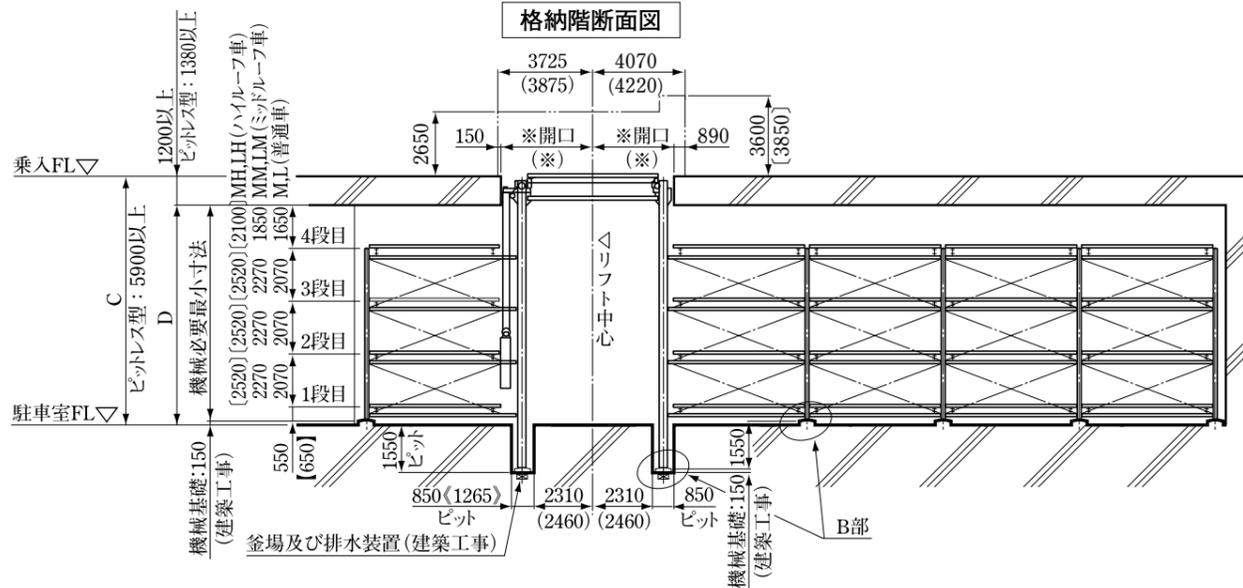
以下図面は標準(ピット型)を例に示しますが、ピット無し(ピットレス型)も可能です。



( ) 内寸法は大型車用(L)を示す。

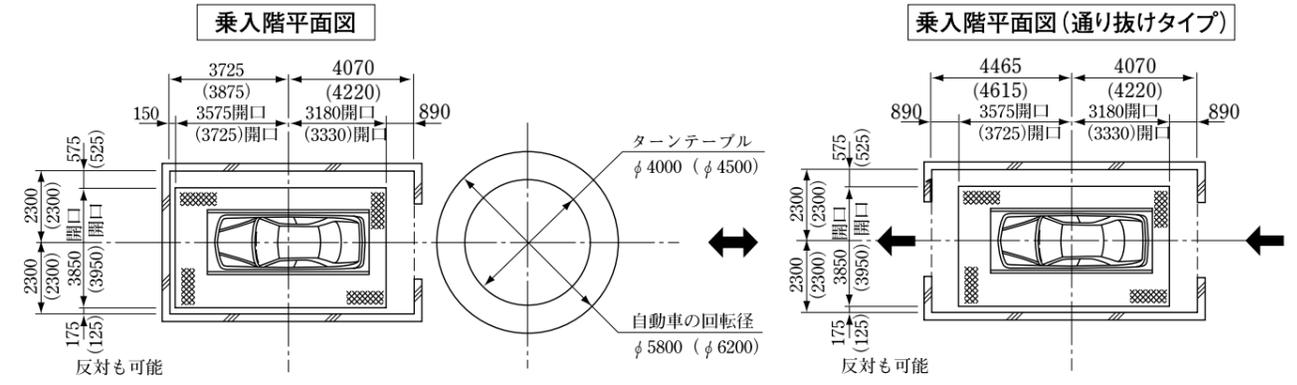
中型車用の場合  
 $A1=8830+5345 \times (\text{列数}-1)+400$   
 リフト端部の場合  $A1=3600$   
 $A2=8400+5345 \times (\text{列数}-1)+400$   
 リフト端部の場合  $A2=3180$   
 ピットレス型: 3600  
 ※ピットレス型の場合は 部分が900となります。

大型車用の場合  
 $A1=9280+5645 \times (\text{列数}-1)+400$   
 リフト端部の場合  $A1=3750$   
 $A2=8850+5645 \times (\text{列数}-1)+400$   
 リフト端部の場合  $A2=3330$   
 ピットレス型: 3750



備考

- 寸法の配列は下記によります。
  - ..... 中型車用(M)又は各車種共通
  - (.....) 大型車用(L)
  - [.....] ハイルーフ車用
  - [.....] 防振ゴム設置の場合
- ..... 乗入FL~駐車室FLの深さ(C寸法)が8000mm未満の場合
- 格納階深さ(D寸法)は強制換気ダクトのほか、諸設備配管等の納まりを考慮の上、決定願います。
- 格納階からの非常脱出扉の設置場所は自治体条例に即して設けて下さい。
- ※ 開口部必要寸法はP25を参照願います。
- ピットレス型の処理能力(円滑性)は別途お問合わせ下さい。

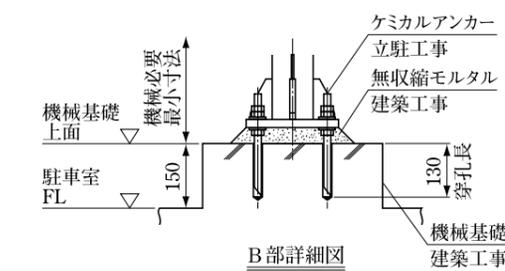


( ) 内寸法は、大型車用(L)を示す。

格納段数と有効階高(D)との関係

D寸法	ハイルーフ車用の段数				D寸法	ミッドルーフ車用の段数			D寸法	ハイルーフ車用の段数				
	0	1	2	3		1	2	3		0	1	2	3	
普通車用の段数	0	—	2800	5320	7840	0	2550	4820	7090	0	—	2800	5320	7840
	1	2350	4870	7390	9910	1	4620	6890	9160	1	2550	5070	7590	10110
	2	4420	6940	9460	—	2	6690	8960	—	2	4820	7340	9860	—
	3	6490	9010	—	—	3	8760	—	—	3	7090	9610	—	—
	4	8560	—	—	—	4	—	—	—	4	9360	—	—	—

(注) 防振ゴム設置の場合、100mm加算して下さい。



格納階床の各装置固定部はケミカルアンカー打設に適した条件確保の為、機械基礎(H=150:建築工事)設置下さい。但し、床面に直接アンカー打設しても支障がない場合は、不要です。なお、以下の場合は機械基礎が必要となります。

- ・設置面が無筋コンクリートである等荷重条件上、不適当な場合
- ・床下に湧水マット等がある場合
- ・水勾配等により床面の高低差が50mm以上の場合

収容台数と全長(A)との関係 (注)ピットレス型の場合は1000mm加算下さい。

A	列数	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		M	19030	24375	29270	35065	40410	45755	51100	56445
L	19930	25575	31220	36865	42510	48155	53800	59445	65090	

A	列数	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		M	67135	72480	77825	83170	88515	93860	99205	104550
L	70735	76380	82025	87670	93315	98960	104605	110250	115895	



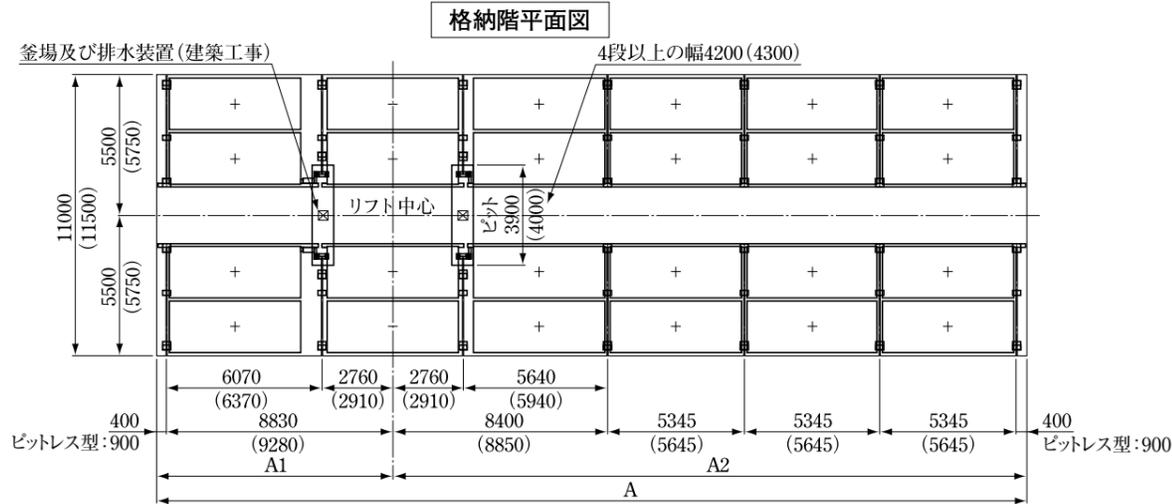
# 基本寸法図

## 複列+複列(ターンテーブル外置・通り抜けタイプ) [WW]

収容車最大寸法・重量

	中型車(M)			大型車(L)		
	普通車 M	ミッドルーフ車 MM	ハイルーフ車 MH	普通車 L	ミッドルーフ車 LM	ハイルーフ車 LH
全長mm	5000			5300		
全幅mm	1850			1950		
タイヤ外幅mm	1810			1910		
全高mm	1550	1750	2000	1550	1750	2000
重量kg	2000	2000	2300	2000	2300	2300

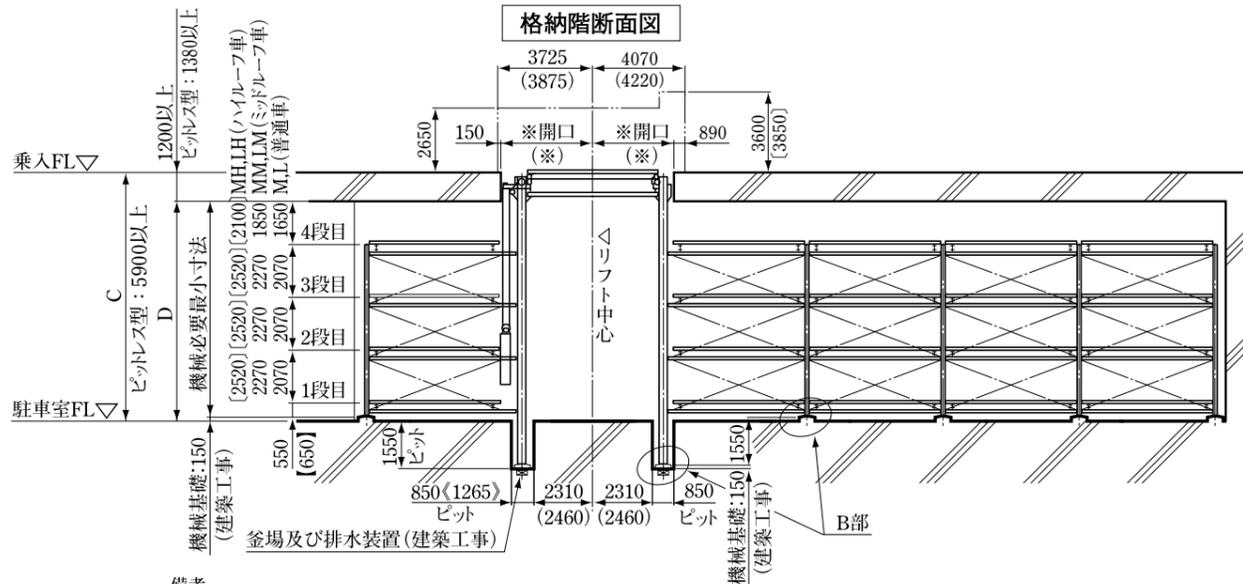
以下図面は標準(ピット型)を例に示しますが、ピット無し(ピットレス型)も可能です。



( )内寸法は大型車用(L)を示す。

中型車用の場合  
 $A1 = 8830 + 5345 \times (\text{列数} - 1) + 400$   
 リフト端部の場合  $A1 = 3600$   
 $A2 = 8400 + 5345 \times (\text{列数} - 1) + 400$   
 リフト端部の場合  $A2 = 3180$   
 ※ピットレス型の場合は 部分が900となります。

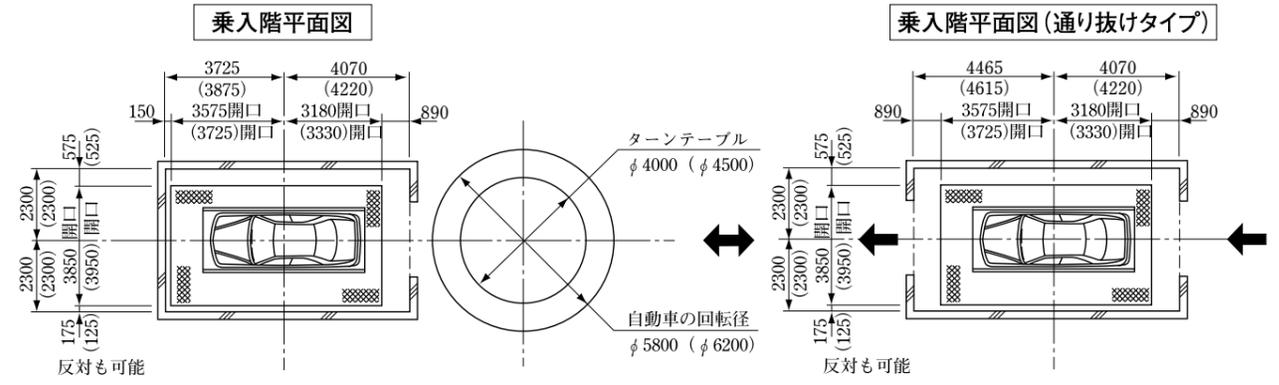
大型車用の場合  
 $A1 = 9280 + 5645 \times (\text{列数} - 1) + 400$   
 リフト端部の場合  $A1 = 3750$   
 $A2 = 8850 + 5645 \times (\text{列数} - 1) + 400$   
 リフト端部の場合  $A2 = 3330$   
 ※ピットレス型の場合は 部分が900となります。



備考

- 寸法の配列は下記によります。
  - ..... 中型車用(M)又は各種共通
  - (.....) 大型車用(L)
  - [.....] ハイルーフ車用
  - [.....] 防振ゴム設置の場合

- 乗入FL~駐車室FLの深さ(C寸法)が8000mm未満の場合
- 格納階深さ(D寸法)は強制換気ダクトのほか、諸設備配管等の納まりを考慮の上、決定願います。
- 格納階からの非常脱出扉の設置場所は自治体条例に即して設けて下さい。
- ※ 開口部必要寸法はP25を参照願います。
- ピットレス型の処理能力(円滑性)は別途お問い合わせ下さい。

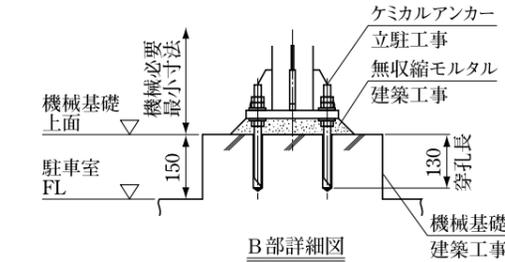


( )内寸法は、大型車用(L)を示す。

格納段数と有効階高(D)との関係

D寸法	ハイルーフ車用の段数				D寸法	ミッドルーフ車用の段数			D寸法	ハイルーフ車用の段数						
	0	1	2	3		1	2	3		0	1	2	3			
普通車用の段数	0	—	2800	5320	7840	普通車用の段数	0	2550	4820	7090	普通車用の段数	0	—	2800	5320	7840
	1	2350	4870	7390	9910		1	4620	6890	9160		1	2550	5070	7590	10110
	2	4420	6940	9460	—		2	6690	8960	—		2	4820	7340	9860	—
	3	6490	9010	—	—		3	8760	—	—		3	7090	9610	—	—
	4	8560	—	—	—		4	—	—	—		4	9360	—	—	—

(注) 防振ゴム設置の場合、100mm加算して下さい。



格納階床の各装置固定部はケミカルアンカー打設に適した条件確保の為、機械基礎(H=150:建築工事)設置下さい。但し、床面に直接アンカー打設しても支障がない場合は、不要です。なお、以下の場合は機械基礎が必要となります。

- ・設置面が無筋コンクリートである等荷重条件上、不適当な場合
- ・床下に湧水マット等がある場合
- ・水勾配等により床面の高低差が50mm以上の場合

収容台数と全長(A)との関係 注)ピットレス型の場合は1000mm加算下さい。

列数	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
収容台数	22	30	38	46	54	62	70	78		
A	M	18030	23375	28720	34065	39410	44755	50100	55445	60790
	L	18930	24575	30220	35865	41510	47155	52800	58445	64090

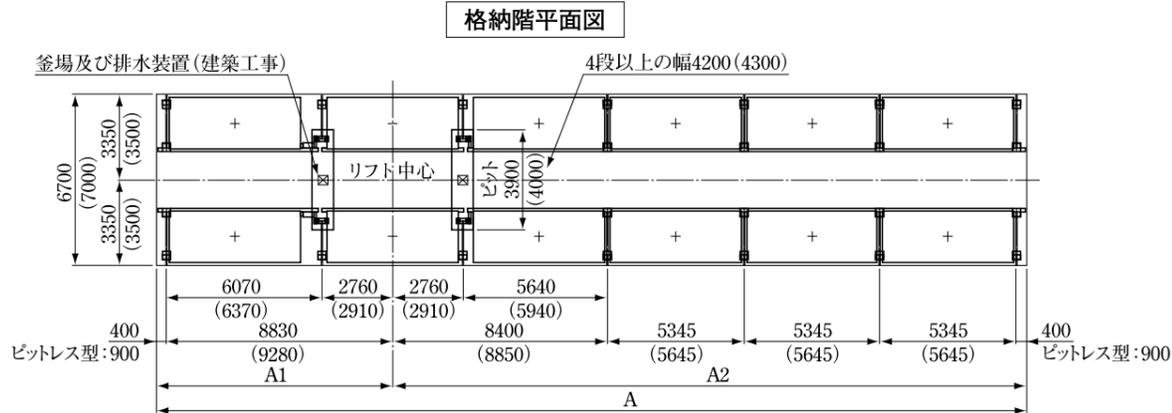
# 基本寸法図

## 単列+単列(ターンテーブル内蔵タイプ) [SS]

収容車最大寸法・重量

	中型車(M)			大型車(L)		
	普通車 M	ミッドルフ車 MM	ハイルフ車 MH	普通車 L	ミッドルフ車 LM	ハイルフ車 LH
全長mm	5000			5300		
全幅mm	1850			1950		
タイヤ外幅mm	1810			1910		
全高mm	1550	1750	2000	1550	1750	2000
重量kg	2000	2000	2300	2300	2300	2300

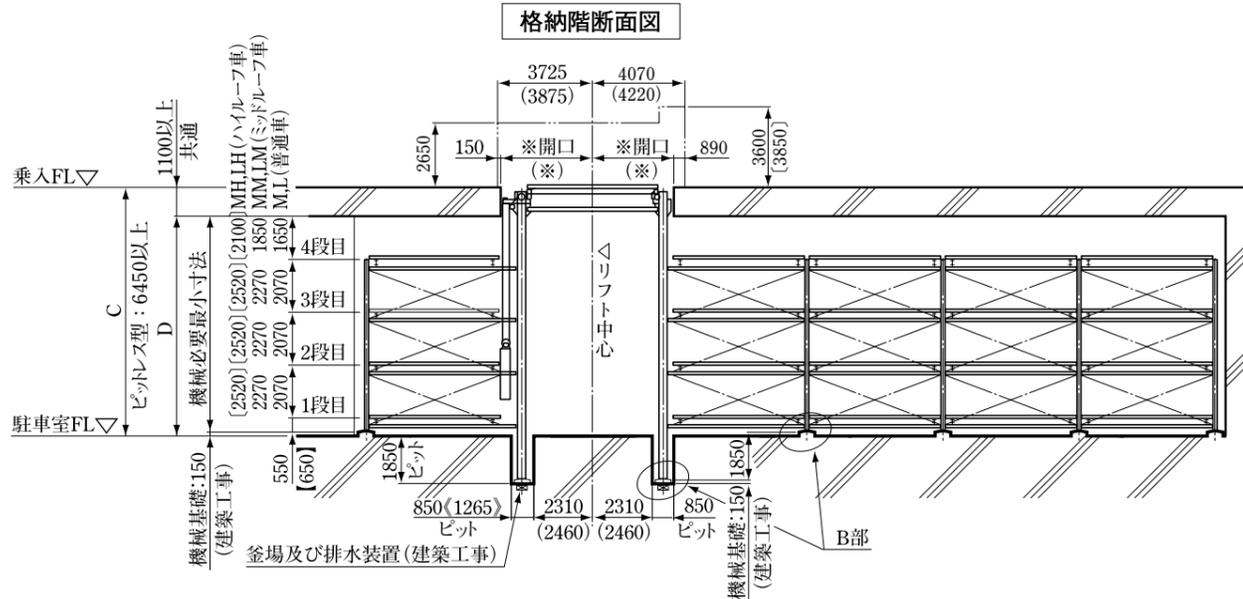
以下図面は標準(ピット型)を例に示しますが、ピット無し(ピットレス型)も可能です。



( ) 内寸法は大型車用(L)を示す。

中型車用の場合  
 $A1=8830+5345 \times (\text{列数}-1)+400$   
 リフト端部の場合  $A1=3600$   
 $A2=8400+5345 \times (\text{列数}-1)+400$   
 リフト端部の場合  $A2=3180$   
 ピットレス型: 3600  
 ※ピットレス型の場合は 部が900となります。

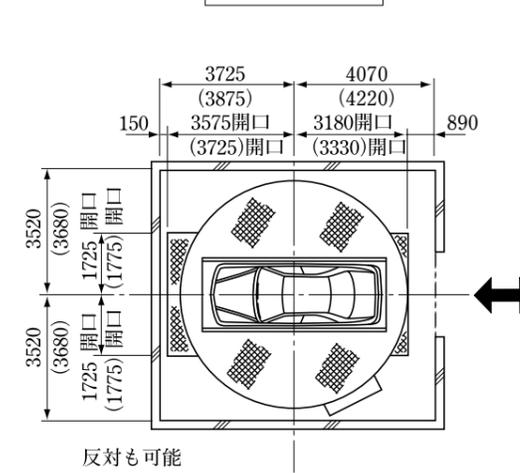
大型車用の場合  
 $A1=9280+5645 \times (\text{列数}-1)+400$   
 リフト端部の場合  $A1=3750$   
 $A2=8850+5645 \times (\text{列数}-1)+400$   
 リフト端部の場合  $A2=3330$   
 ピットレス型: 3750



備考

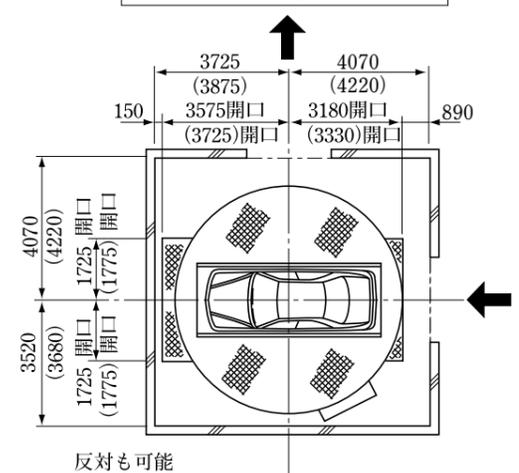
- 寸法の配列は下記によります。
  - ..... 中型車用(M)又は各種共通
  - (.....) 大型車用(L)
  - [.....] ハイルフ車用
  - 【.....】 防振ゴム設置の場合
- 《.....》 乗入FL~駐車室FLの深さ(C寸法)が8000mm未満の場合
- 格納階深さ(D寸法)は強制換気ダクトのほか、諸設備配管等の納まりを考慮の上、決定願います。
- 格納階からの非常脱出扉の設置場所は自治体条例に即して設けて下さい。
- ※ 開口部必要寸法はP27を参照願います。
- ピットレス型の処理能力(円滑性)は別途お問合わせ下さい。

乗入階平面図



反対も可能

乗入階平面図(通り抜けタイプ)



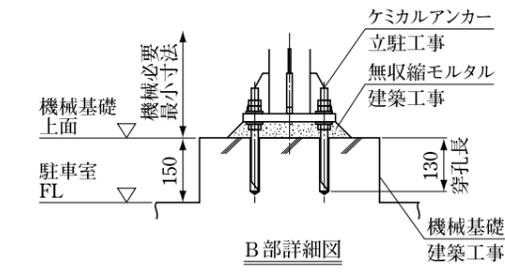
反対も可能

( ) 内寸法は、大型車用(L)を示す。

格納段数と有効階高(D)との関係

D寸法	ハイルフ車用の段数				D寸法	ミッドルフ車用の段数			D寸法	ハイルフ車用の段数				
	0	1	2	3		1	2	3		0	1	2	3	
普通車用の段数	0	—	2800	5320	7840	0	2550	4820	7090	0	—	2800	5320	7840
	1	2350	4870	7390	9910	1	4620	6890	9160	1	2550	5070	7590	10110
	2	4420	6940	9460	—	2	6690	8960	—	2	4820	7340	9860	—
	3	6490	9010	—	—	3	8760	—	—	3	7090	9610	—	—
	4	8560	—	—	—	4	—	—	—	4	9360	—	—	—

(注) 防振ゴム設置の場合、100mm加算して下さい。



格納階床の各装置固定部はケミカルアンカー打設に適した条件確保の為、機械基礎(H=150:建築工事)設置下さい。但し、床面に直接アンカー打設しても支障がない場合は、不要です。なお、以下の場合は機械基礎が必要となります。

- ・設置面が無筋コンクリートである等荷重条件上、不適当な場合
- ・床下に湧水マット等がある場合
- ・水勾配等により床面の高低差が50mm以上の場合

収容台数と全長(A)との関係 注)ピットレス型の場合は1000mm加算下さい。

収容台数	列数	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		2段	12	16	20	24	28	32	36	40
3段	18	24	30	36	42	48	54	60	66	
4段	24	32	40	48	56	64	72			
A	M	18030	23375	28720	34065	39410	44755	50100	55445	60790
	L	18930	24575	30220	35865	41510	47155	52800	58445	64090

収容台数	列数	12	13	14	15	16	17	18
		2段	48	52	56	60	64	68
3段								
4段								
A	M	66135	71480	76825	82170	87515	92860	98205
	L	69735	75380	81025	86670	92315	97960	103605

基本寸法図

基本寸法図



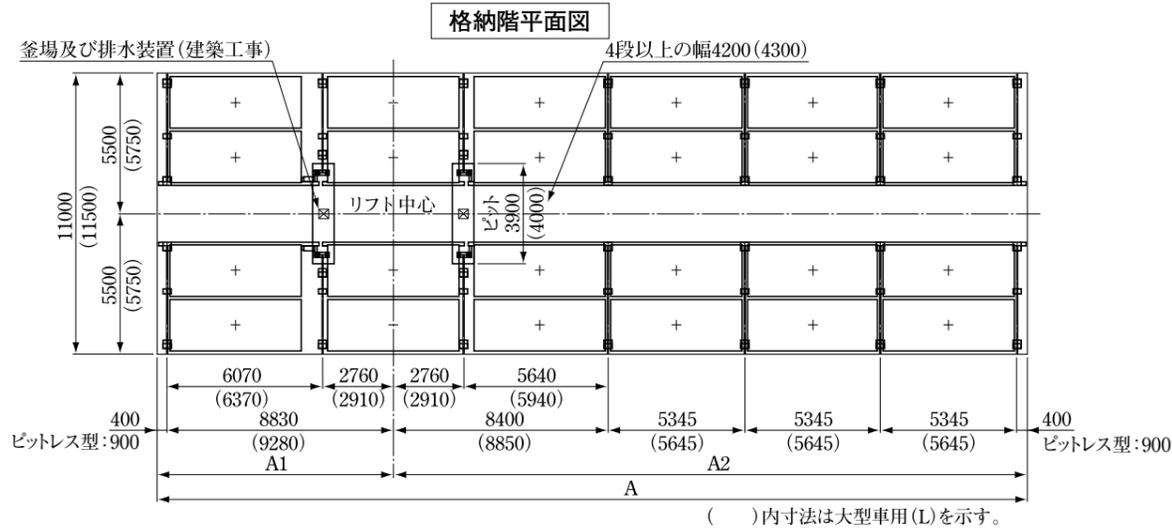
# 基本寸法図

## 複列+複列(ターンテーブル内蔵タイプ) [WW]

収容車最大寸法・重量

	中型車(M)			大型車(L)		
	普通車	ミッドルフ車	ハイルフ車	普通車	ミッドルフ車	ハイルフ車
	M	MM	MH	L	LM	LH
全長mm	5000			5300		
全幅mm	1850			1950		
タイヤ外幅mm	1810			1910		
全高mm	1550	1750	2000	1550	1750	2000
重量kg	2000	2000	2300	2300	2300	2300

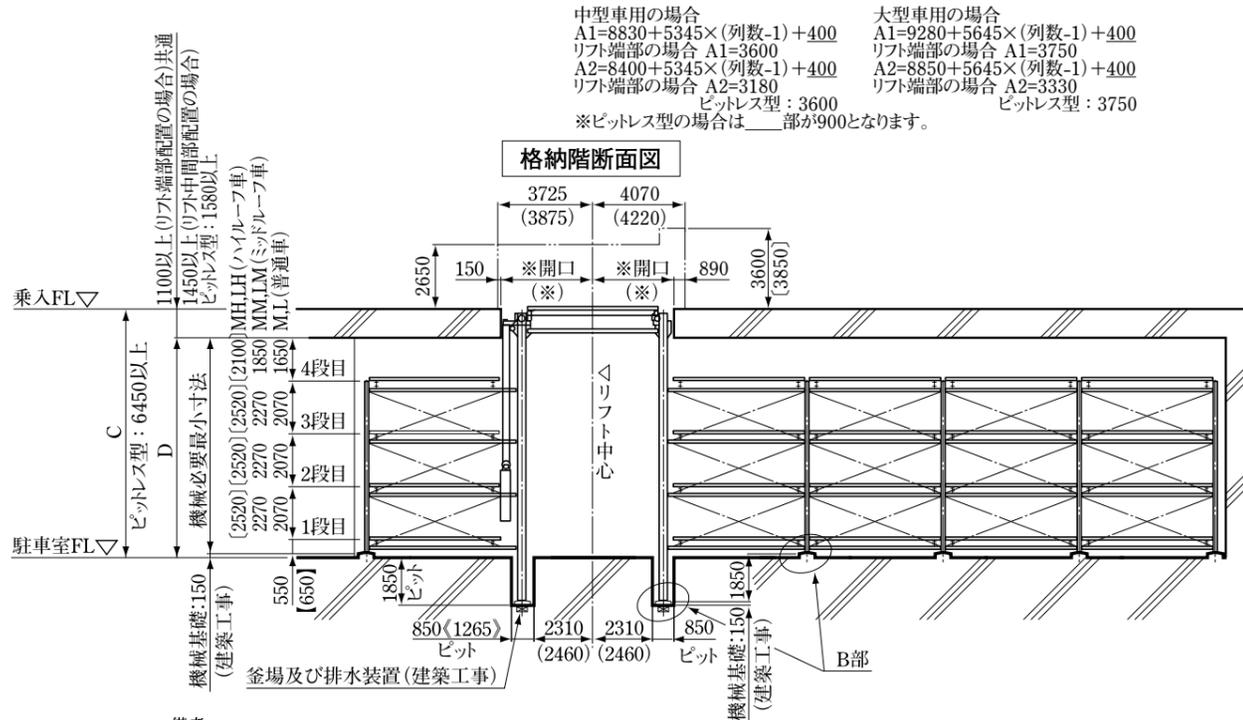
以下図面は標準(ピット型)を例に示しますが、ピット無し(ピットレス型)も可能です。



( ) 内寸法は大型車用(L)を示す。

中型車用の場合  
 $A1=8830+5345 \times (\text{列数}-1)+400$   
 リフト端部の場合  $A1=3600$   
 $A2=8400+5345 \times (\text{列数}-1)+400$   
 リフト端部の場合  $A2=3180$   
 ピットレス型: 3600  
 ※ピットレス型の場合は一部が900となります。

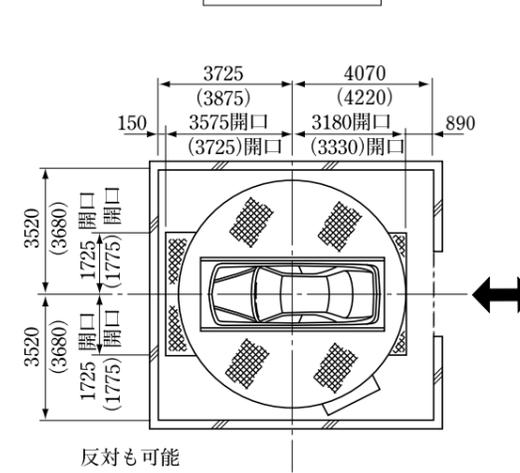
大型車用の場合  
 $A1=9280+5645 \times (\text{列数}-1)+400$   
 リフト端部の場合  $A1=3750$   
 $A2=8850+5645 \times (\text{列数}-1)+400$   
 リフト端部の場合  $A2=3330$   
 ピットレス型: 3750



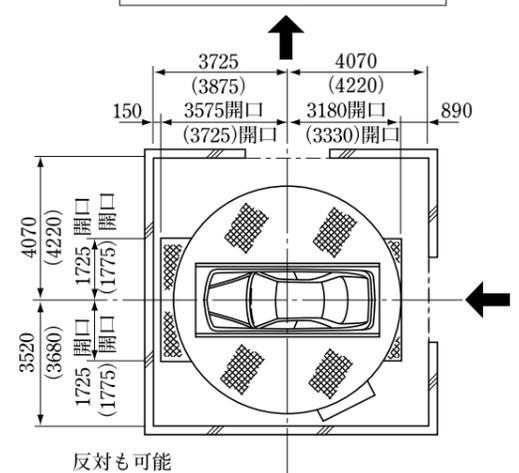
備考

- 寸法の配列は下記によります。
  - ..... 中型車用(M)又は各種共通
  - (.....) 大型車用(L)
  - [.....] ハイルフ車用
  - 【.....】 防振ゴム設置の場合
- 《.....》 乗入FL~駐車室FLの深さ(C寸法)が8000mm未満の場合
- 格納階深さ(D寸法)は強制換気ダクトのほか、諸設備配管等の納まりを考慮の上、決定願います。
- 格納階からの非常脱出扉の設置場所は自治体条例に即して設けて下さい。
- ※ 開口部必要寸法はP27を参照願います。
- ピットレス型の処理能力(円滑性)は別途お問合わせ下さい。

乗入階平面図



乗入階平面図(通り抜けタイプ)

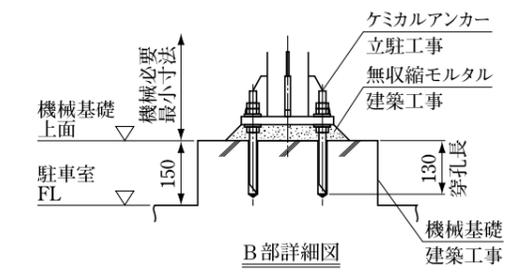


( ) 内寸法は、大型車用(L)を示す。

格納段数と有効階高(D)との関係

D寸法	ハイルフ車用の段数				D寸法	ミッドルフ車用の段数			D寸法	ハイルフ車用の段数				
	0	1	2	3		1	2	3		0	1	2	3	
普通車用の段数	0	—	2800	5320	7840	0	2550	4820	7090	0	—	2800	5320	7840
	1	2350	4870	7390	9910	1	4620	6890	9160	1	2550	5070	7590	10110
	2	4420	6940	9460	11980	2	6690	8960	—	2	4820	7340	9860	—
	3	6490	9010	11530	—	3	8760	—	—	3	7090	9610	—	—
	4	8560	11080	—	—	4	—	—	—	4	9360	—	—	—

(注) 防振ゴム設置の場合、100mm加算して下さい。



格納階床の各装置固定部はケミカルアンカー打設に適した条件確保の為、機械基礎(H=150:建築工事)設置下さい。但し、床面に直接アンカー打設しても支障がない場合は、不要です。なお、以下の場合は機械基礎が必要となります。

- 設置面が無筋コンクリートである等荷重条件上、不適当な場合
- 床下に湧水マット等がある場合
- 水勾配等により床面の高低差が50mm以上の場合

収容台数と全長(A)との関係 注)ピットレス型の場合は1000mm加算下さい。

列数	3	4	5	6	7	8	9	
収容台数	22	30	38	46	54	62	70	
A	M	18030	23375	28720	34065	39410	44755	50100
	L	18930	24575	30220	35865	41510	47155	52800

基本寸法図

基本寸法図

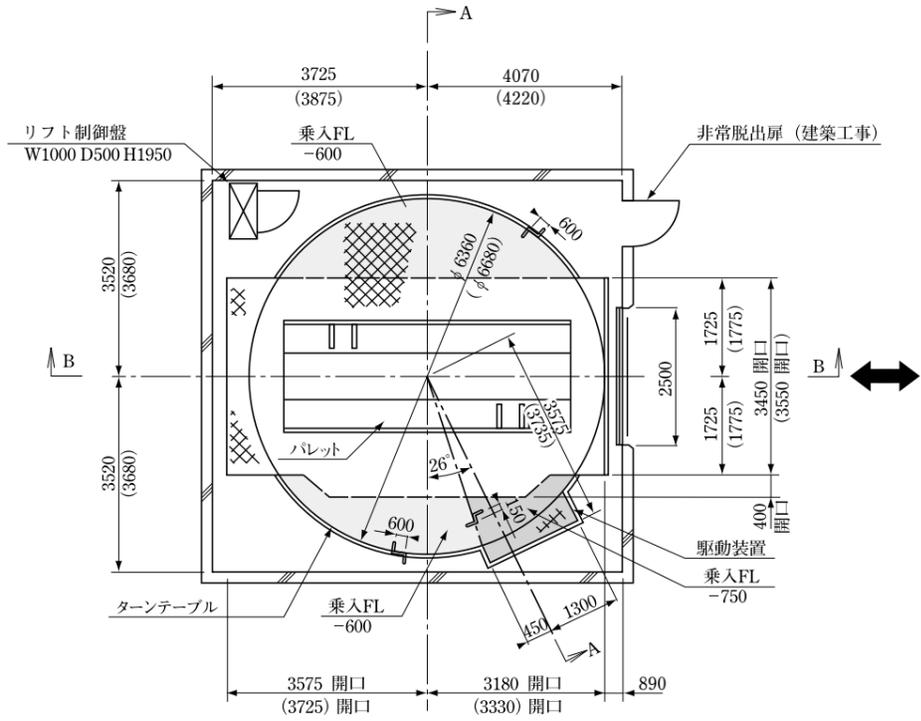


# 乗入階詳細図

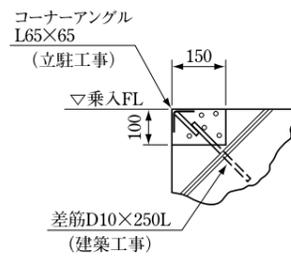
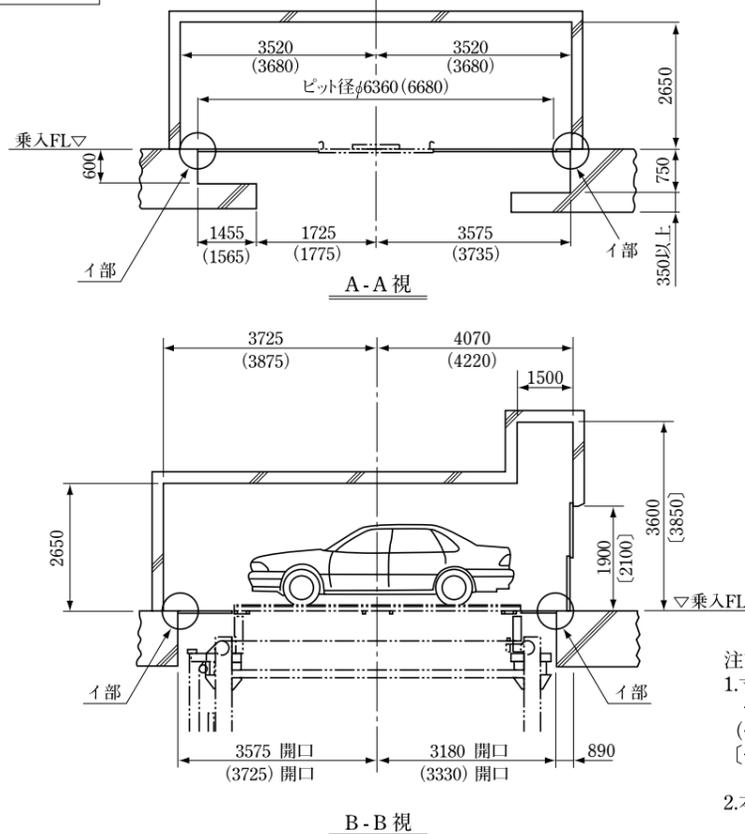
## ターンテーブル内蔵タイプ

乗入階平面図

180° 旋回の場合



乗入階断面図



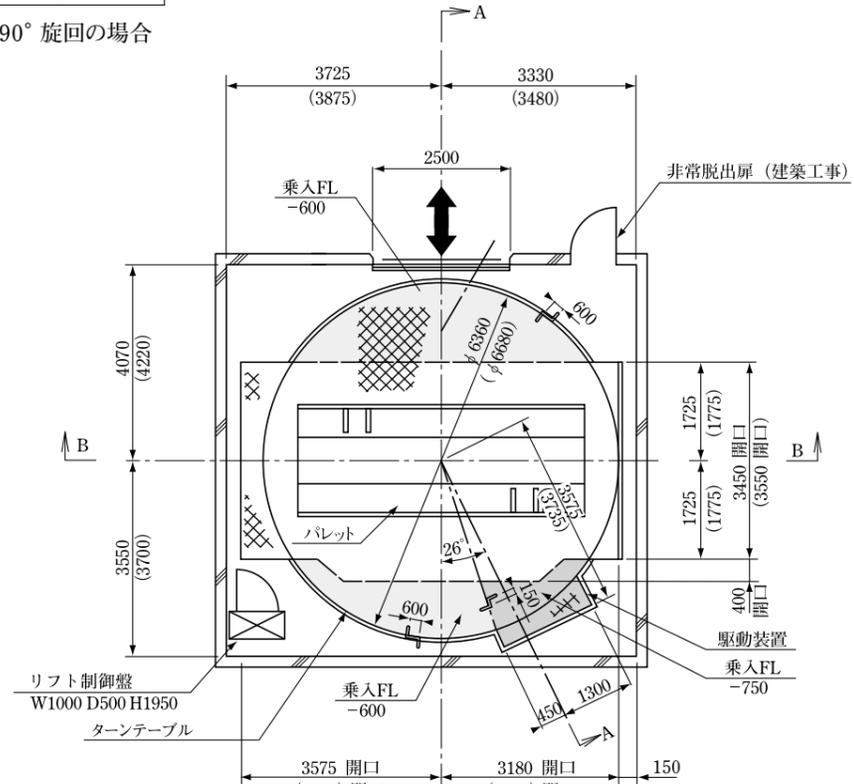
イ部詳細図  
(全周取付)

注記  
1.寸法の配列は下記によります。  
 ..... 中型車用 (M) 又は各車種共通  
 (-----) 大型車用 (L)  
 [-.....] ハイルーフ車用 (H)  
 2.本図は上下2枚扉を示します。

## ターンテーブル内蔵タイプ

乗入階平面図

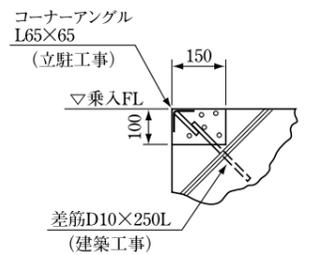
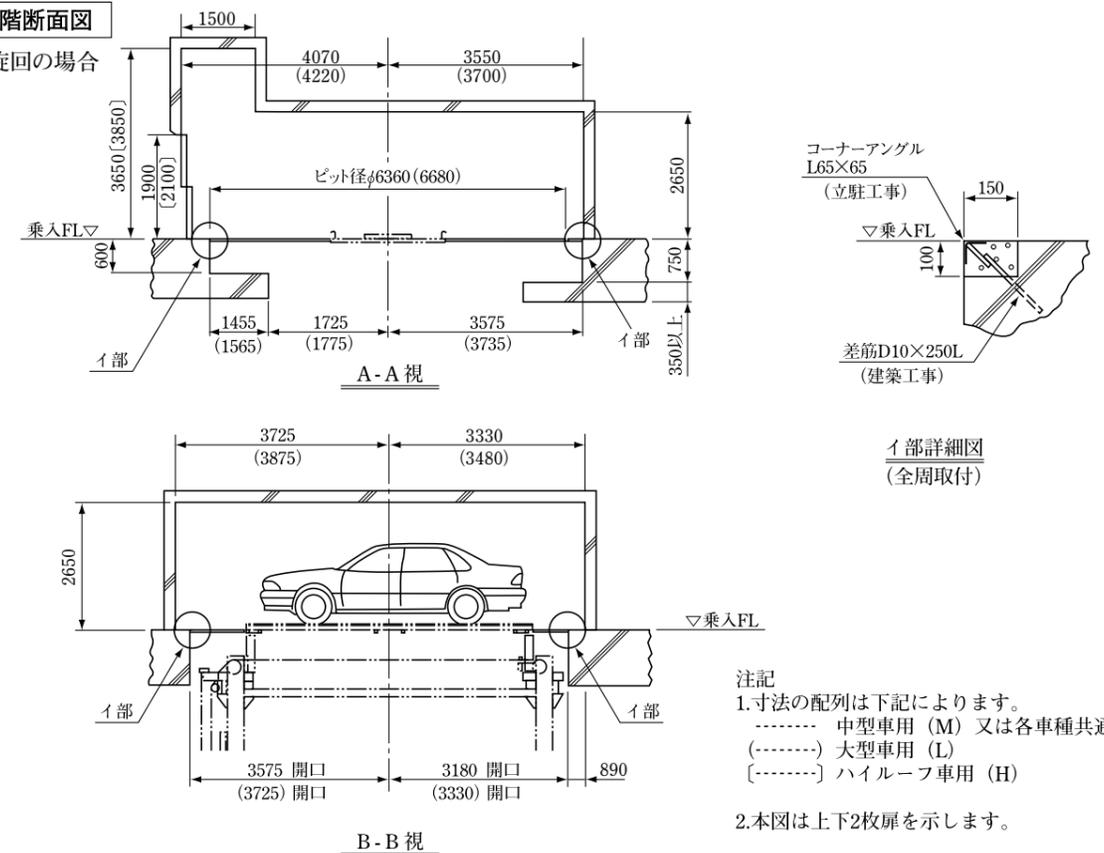
90° 旋回の場合



※パレットは昇降位置を表わす。

乗入階断面図

90° 旋回の場合



イ部詳細図  
(全周取付)

注記  
1.寸法の配列は下記によります。  
 ..... 中型車用 (M) 又は各車種共通  
 (-----) 大型車用 (L)  
 [-.....] ハイルーフ車用 (H)  
 2.本図は上下2枚扉を示します。

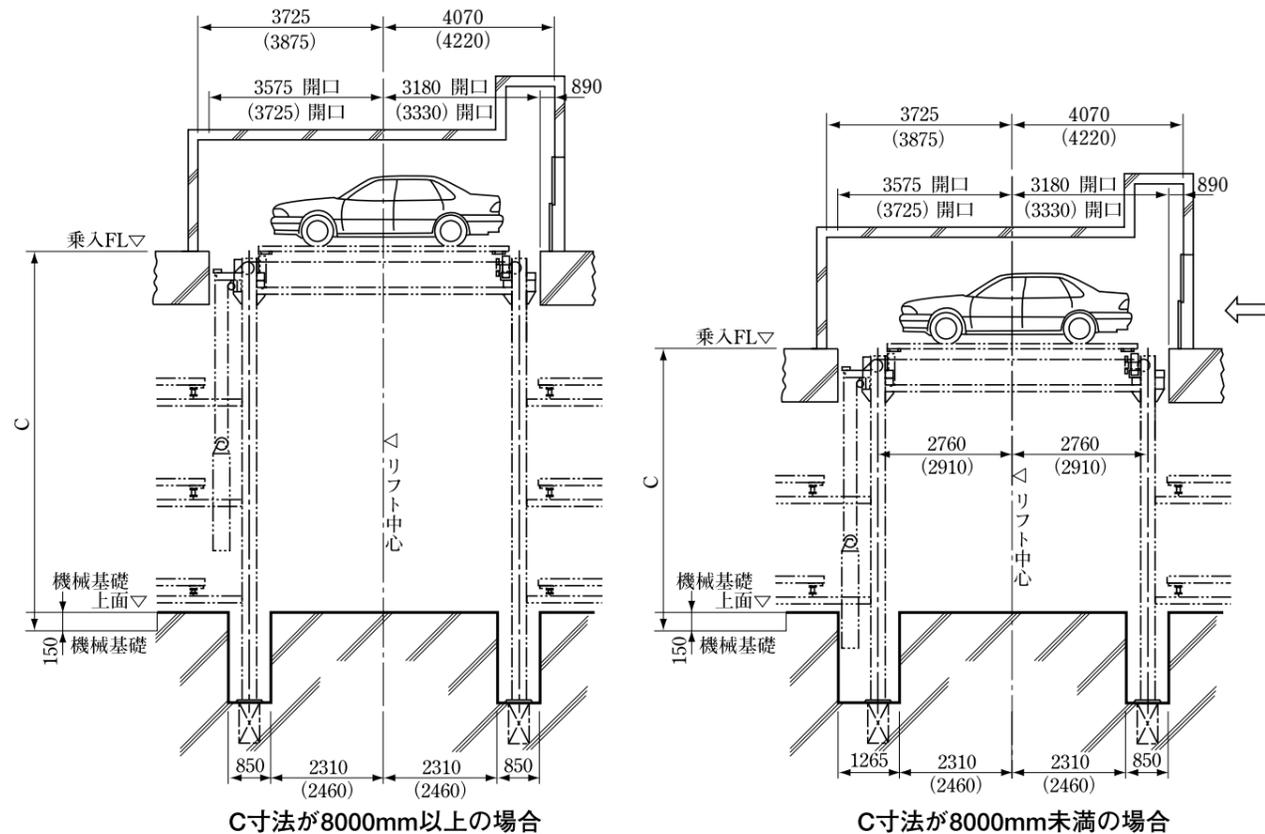
乗入階詳細図

乗入階詳細図

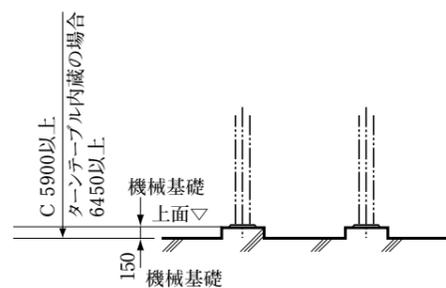
# 乗入階詳細図

## リフト廻り必要寸法

断面図 180° 旋回、180° 通り抜けの場合  
 ※90° 旋回の場合、90° 通り抜けの場合はご相談下さい。  
 ピット型



### ピットレス型



注記  
 1. 寸法の配列は下記によります。  
 ..... 中型車用 (M) 又は各車種共通  
 (-----) 大型車用 (L)

# 電気設備

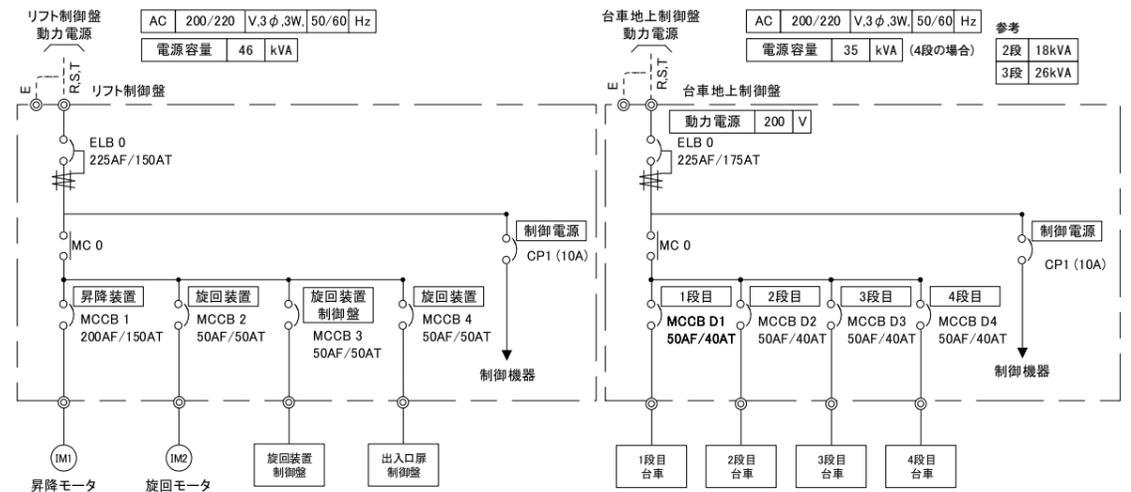
## 1次側電源・電源系統

### 一次電源

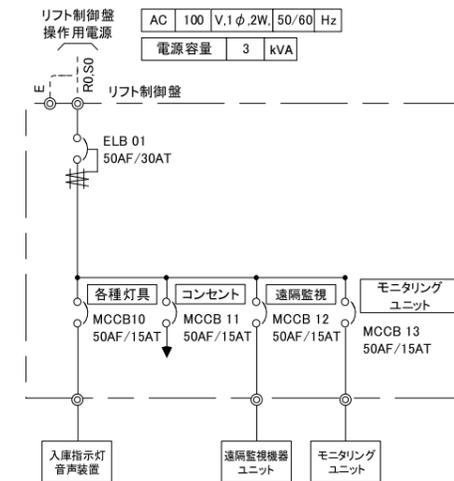
- (1) 動力電源 AC200/220V 3相3線式 50/60Hz
- (2) 操作電源 AC100V 単相2線式 50/60Hz

### 電気系統

#### (1) 動力電源



#### (2) 操作電源



- ・電動機はインバータ制御です。
- ・本電気系統図は4段構成の場合です。
- ・消火装置は含まれておりません。

### 電気系統(動力電源)

( 単位:kVA )

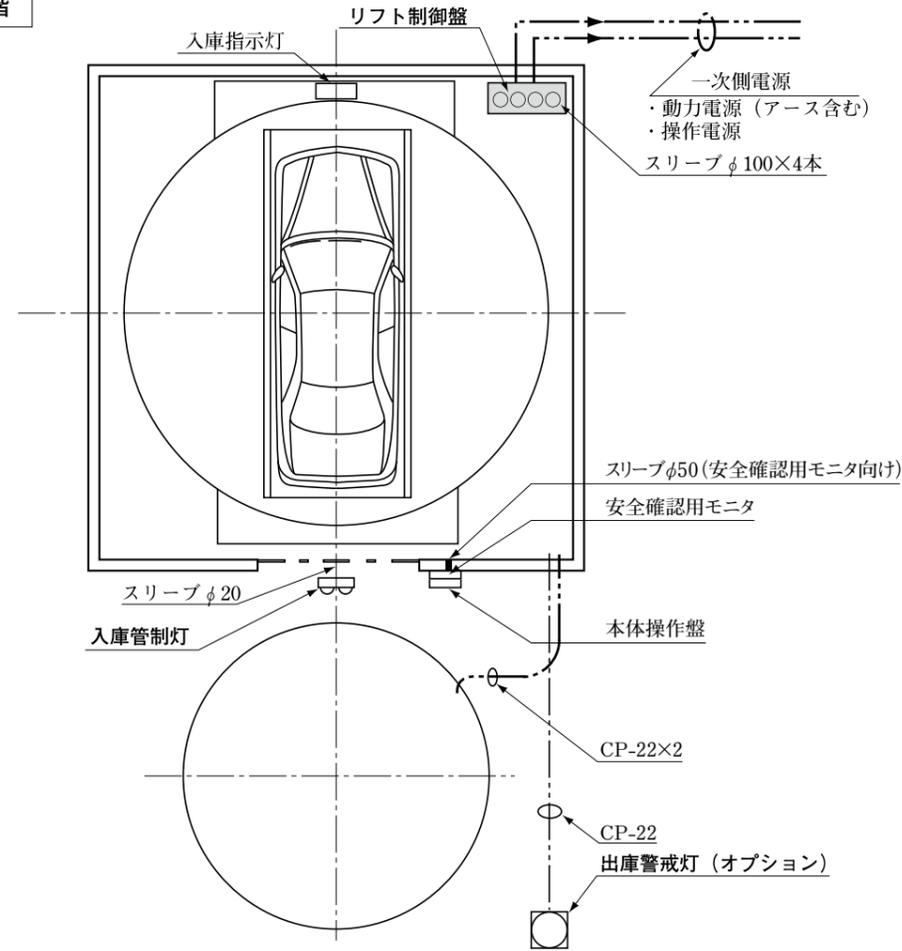
段数	基数	1基	2基	3基
2		55	109	148
3		63	127	171
4		72	144	195

・必要な1次側トランス容量を示します。

# 電気設備

## 電気配管

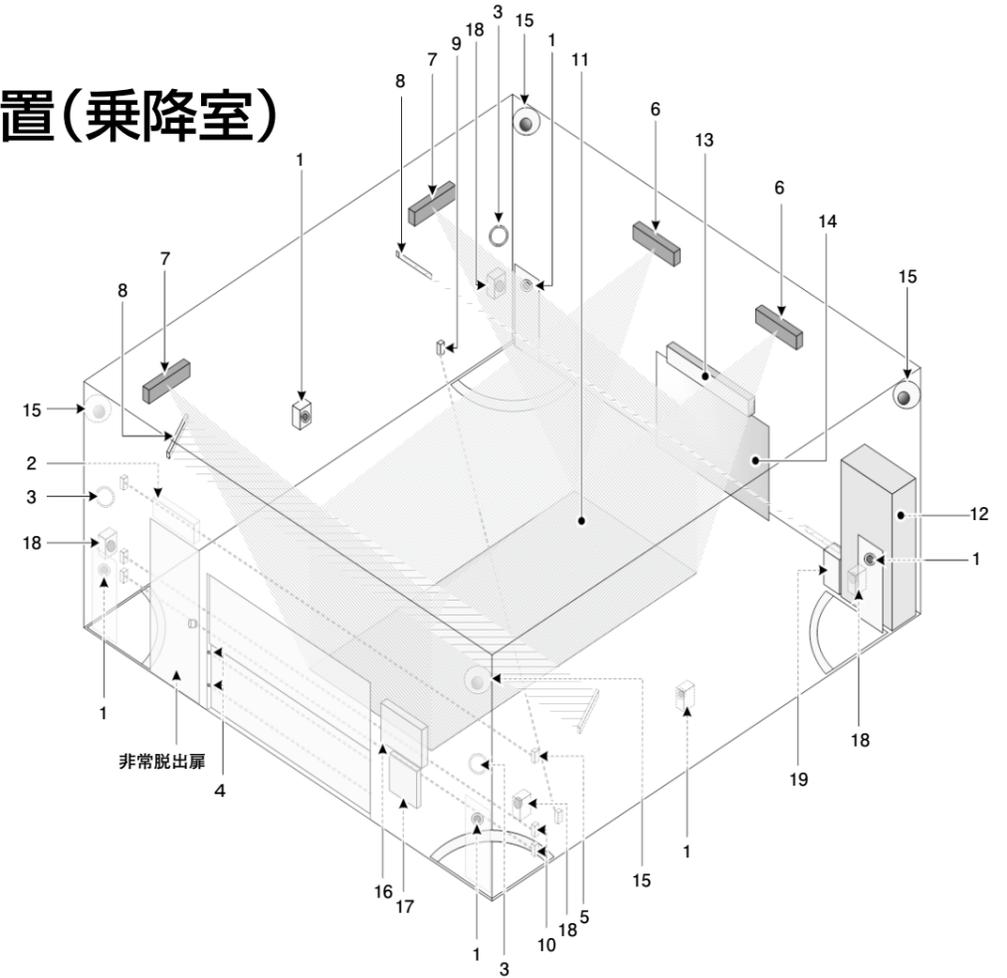
### 乗入階



### 格納階



## 安全装置(乗降室)

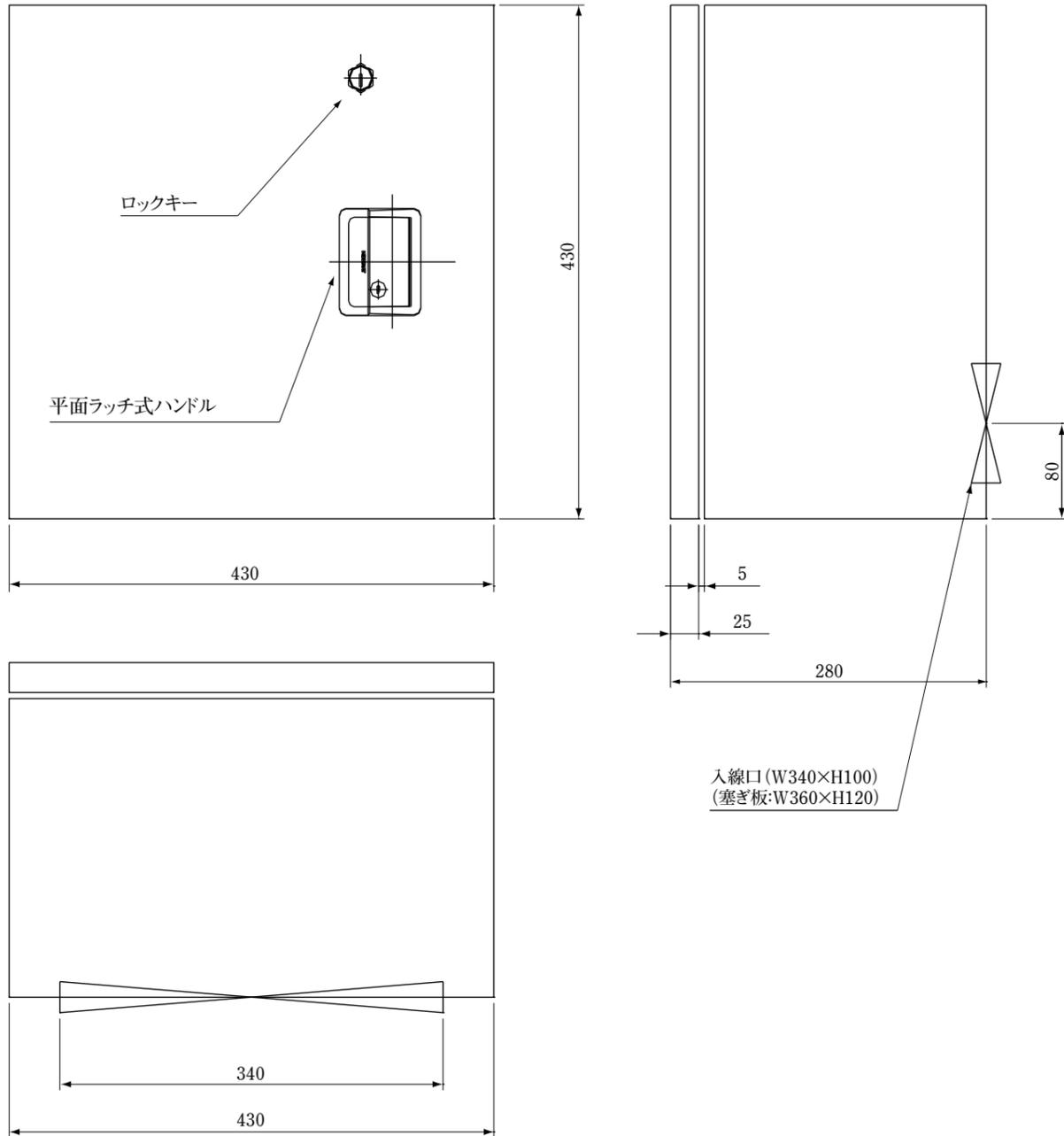


No.	名称	はたらき
1	非常停止ボタン	非常時にこのボタンを押して、機械を非常停止させます。
2	避難口誘導灯	非常脱出扉のある位置を示します。
3	パンプセンサ	出入口扉が開いた状態のときに、乗降室内に人など動くものを検知します。
4	三方棒センサ	出入口扉を閉じるときに、出入口扉の下に人や障害物がないか検知します。
5	車高センサ	車高を検知します。
6	車幅センサ	車幅を検知します。
7	車長センサ	車長を検知します。
8	すみ切りセンサ	車両前後上部のはみ出しを検知します。
9	在荷センサ	自動車の有無を検知します。
10	入口部非常停止センサ	何らかの不具合で出入口扉が開いたままになってしまった場合、乗降室の入口部付近に人など動くものがないか検知します。
11	パレット	自動車を載せる台です。自動車を載せた状態で昇降し、棚に収納されます。
12	制御盤	保守員用です。保守員以外は絶対に触らないでください。
13	入庫指示灯	入庫時に自動車をパレット上の停止位置まで誘導するためのランプです。
14	停止位置確認用鏡	入庫時に自動車の停止位置を確認するための鏡です。
15	安全確認用カメラ	乗降室内の無人を確認するためのカメラです。
16	安全確認用モニタ	乗降室内の無人を確認するためのモニタです。
17	操作盤(無人確認入力機能付)	自動車の入出庫のための操作を行うタッチパネル、ボタン等があります。
18	無人確認入力ボタン	安全確認用カメラやモニタが故障したとき、無人確認を行うためのボタンです。
19	地震感知器(オプション)	震度5弱以上の地震を感知すると、機械が自動的に非常停止します。

### 標準施工区分

1. 駐車場メーカーの施工範囲
  - 駐車室内の電気品取付、配管、配線工事。
  - 入庫管制灯の取付。
2. 駐車場メーカーの施工範囲外工事
  - 以下の各制御盤までの1次側電源引き込み工事（盤内1次側端子までの配管、配線、結線工事）。アース線を含む。
    - (1) リフト制御盤（乗入階）
    - (2) 台車地上制御盤（格納階リフトスペース横）
    - (3) 消火装置制御盤（駐車室前面、又は、ボンベ室）（駐車場メーカー施工の場合）
  - 消火装置制御盤からの消火装置移報信号用配管、配線、結線工事。
  - 乗入階の乗降スペース外の配管工事（ターンテーブル、出庫警戒灯等）。
  - 入庫管制灯及びリフト制御盤位置から格納階へのスリーブ工事。
  - 駐車室内照明、コンセント、避難口誘導灯工事（ただし、照明点滅用の接点はリフト制御盤内に用意いたします）。

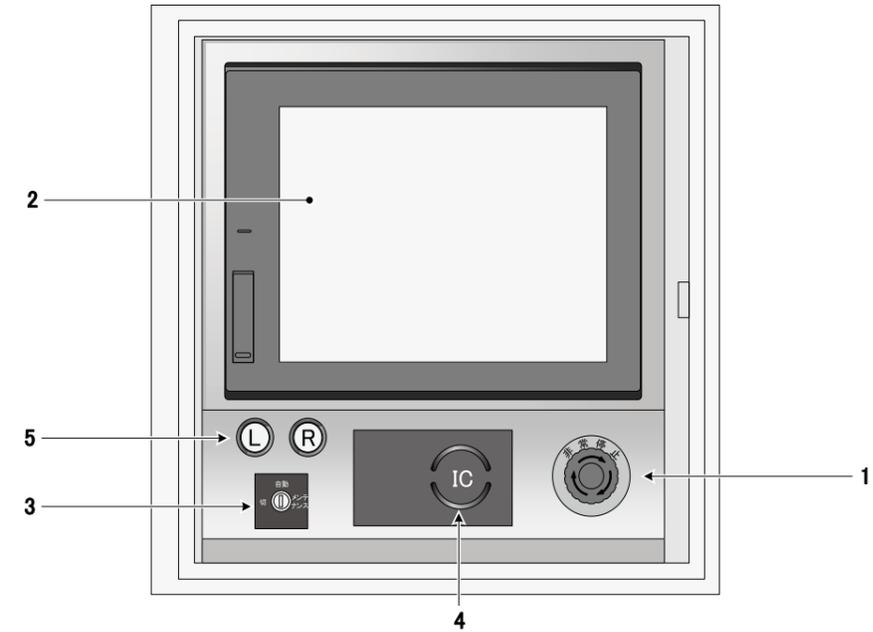
## 操作盤外形



仕様	
型式	屋内防滴型
材質	鋼板:t=2.3 (本体部) 鋼板:t=1.6 (扉部)
塗装色	外面:N3.0(艶消し) 内面:N3.0(艶消し)

(注) 形状・寸法は予告無しに変更する場合があります。

## 操作盤(内観)



No.	名称	はたらき
1	非常停止ボタン	非常時にこのボタンを押して、機械を非常停止させます。
2	画面	入力操作と表示を行うタッチパネルです。
3	切替えスイッチ	管理責任者用です。 運転モードの切替時に使用します。 自動 : 設備を運転します。 切 : 設備の電源を切ります。 メンテナンス : 設備のメンテナンス時に使用します。
4	ICカードリーダー(オプション)	ICカードを近づけると、カード情報を読み取ります。
5	外置ターンテーブル操作ボタン(オプション)	外置ターンテーブルを旋回するボタンです。 押している間は動作し、離すと停止します。 L:左に旋回します。 R:右に旋回します。

・配置およびデザインは予告なく変更する場合があります。

### 認証方式

操作盤を操作するためには認証を行う必要があります。

認証方法は以下の方式があります。

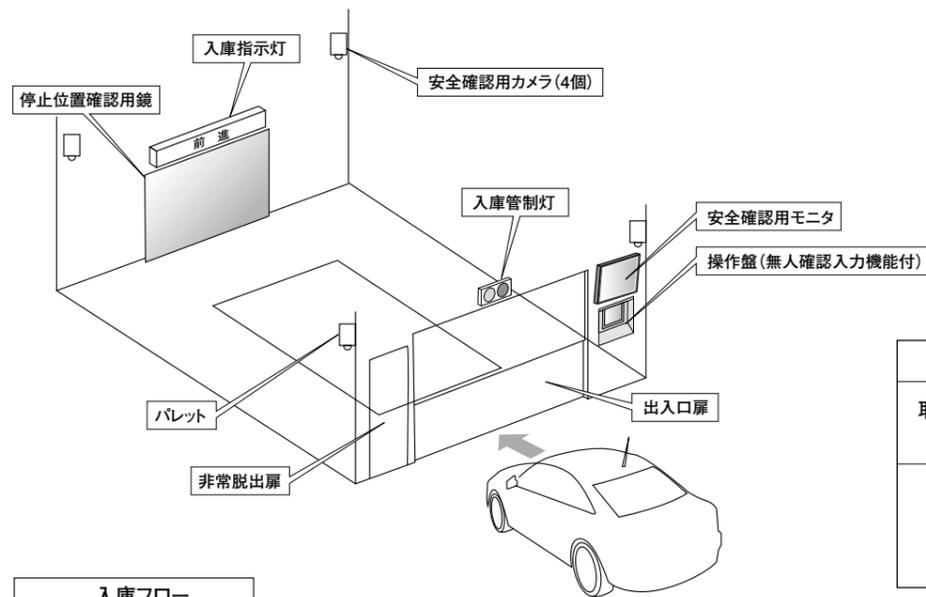
No.	認証方法	説明
1	暗証番号方式	4桁の暗証番号を操作盤画面に入力することで認証します。
2	ICカード方式(オプション)	ICカードをカードリーダーに近づけることで認証します。
3	リモコン方式(オプション)	出入口扉前でリモコンを操作することで認証します。 予約～扉を開く操作までリモコン操作が可能で、車両から降車することなく入庫できます。 ※扉を閉じる操作は操作盤で行う必要があります。

・認証方法は予告なしに変更する場合があります。

## 入出庫フロー例

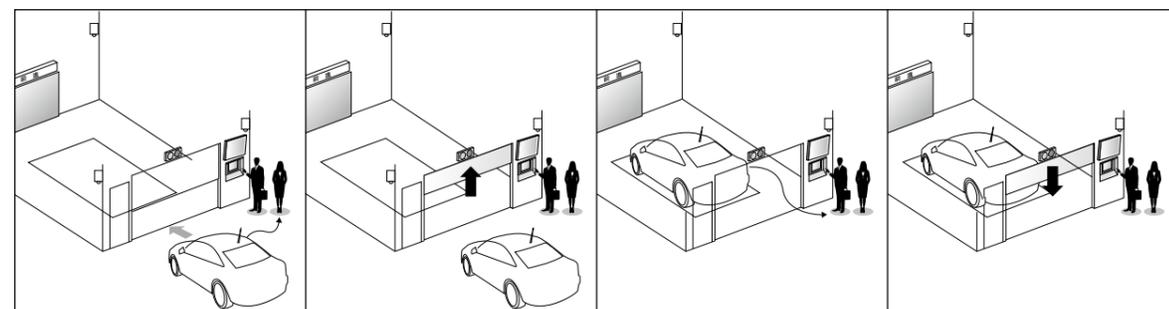
ここでは一例として、利用者自身が操作を行うフローを示します。

### 設備構成と利用対象者



利用対象者	
取扱者=利用者 (特定契約者)	同乗者
運転者	同乗者

### 入庫フロー



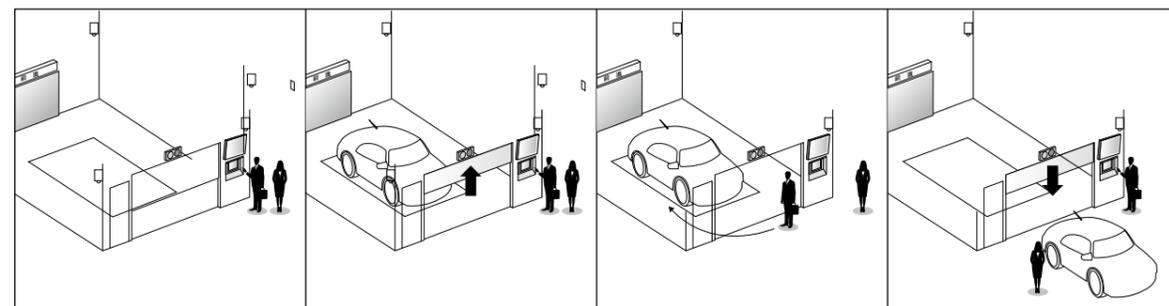
運転者は乗降室前に停車し、同乗者を降車させます。運転者は入庫予約を行います。

入庫バレットが乗降室に到着後、出入口扉が自動で開きます。

運転者は車両を定位置に停車させ、出入口扉から退出します。運転者は操作盤に表示される無人確認入力ボタンを押すことで車内および場内に人が残っていないことを入力します。

運転者は安全確認用モニタで場内の安全を確認して出入口扉を閉鎖します。

### 出庫フロー



運転者は出庫予約を行います。

出庫バレットが乗降室に到着後、出入口扉が自動で開きます。

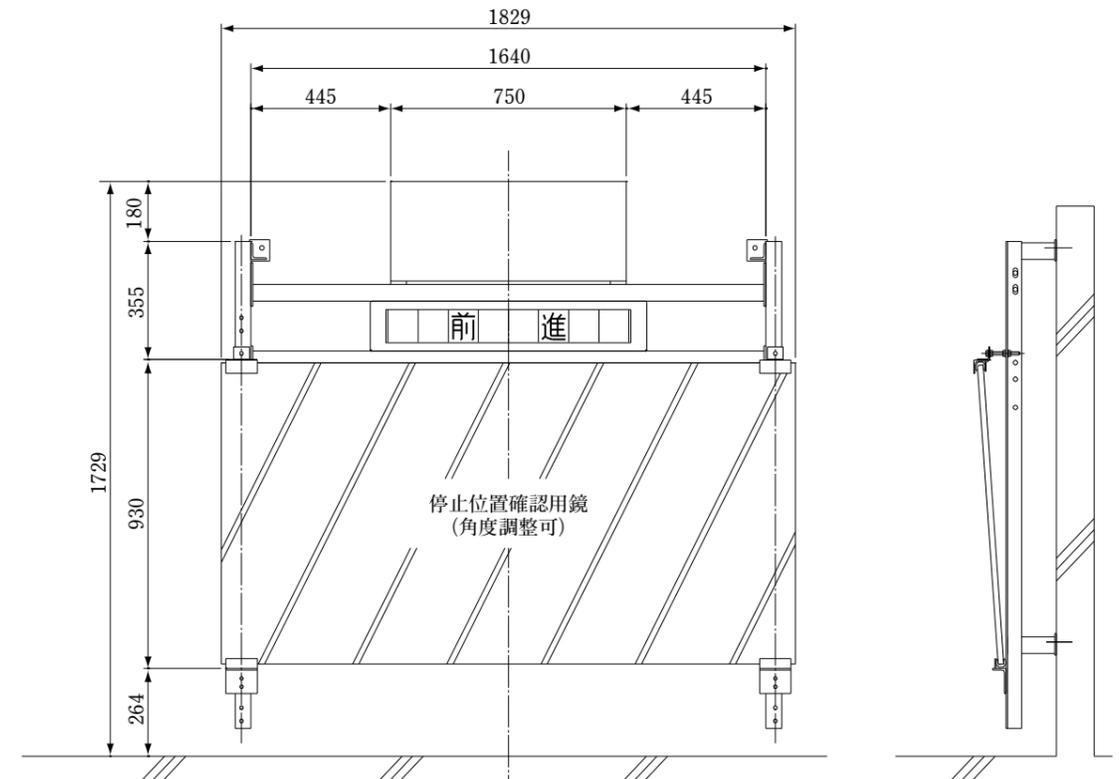
運転者は乗降室に入り、車両を退出します。

同乗者は乗降室から車両退出後、乗車します。運転者は安全確認用モニタで場内の安全を確認して出入口扉を閉鎖します。

・上記設備構成、入出庫フローは一例です。具体的な運用方法については御相談ください。

## 入庫指示灯

### 外観



表示部	LED切り替え表示
本体	鋼材製
停止位置確認用鏡	アルミミラー

※形状・寸法は予告無しに変更する場合があります。

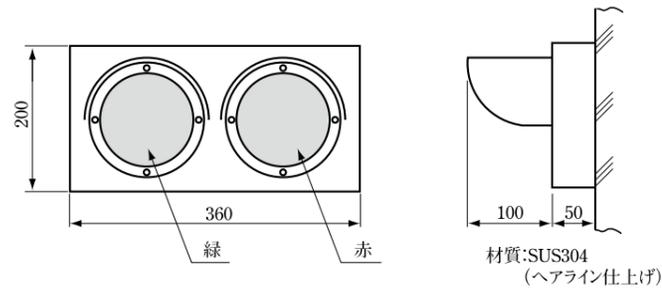
### 表示内容

状態	表示内容	表示色	状態	表示内容	表示色
車両進入可能時 (静止表示)	前進	緑	車両進入 右寄り時 (点滅表示→ 左スクロール表示)	←←少し左へ←← 寄ってください	橙 ↓ 緑
定位置停止時 (静止表示)	停車	赤	車両進入 左寄り時 (点滅表示→ 右スクロール表示)	→→少し右へ→→ 寄ってください	橙 ↓ 緑
定位置停止超過時 (静止表示)	後退	橙			

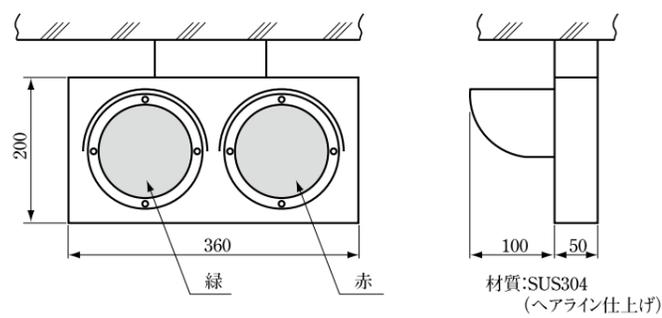
## 入庫管制灯

駐車場内へ車を誘導する表示灯です。

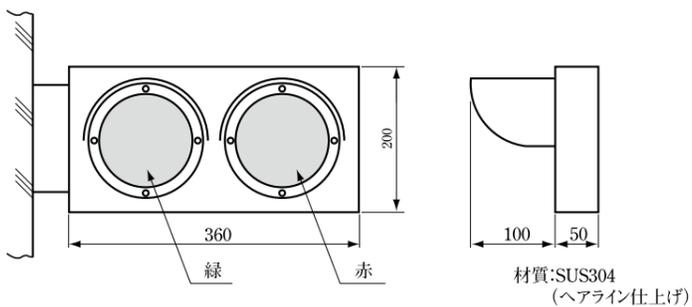
背面取付型（標準）



天井取付型（オプション）



側面取付型（オプション）

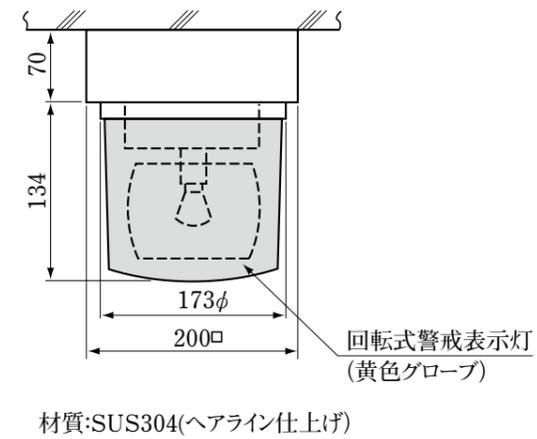


オプション仕様  
1. 天井取付型、側面取付型は、両面型にも変更できます。  
2. 壁埋込型も可能です。

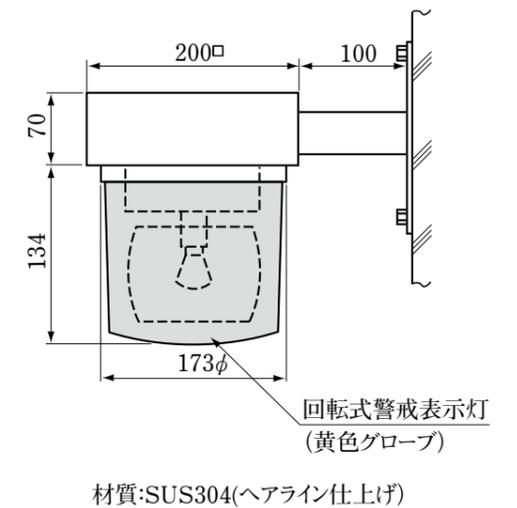
## 出庫警戒灯

歩行者又は一般通行車両に注意を行うための表示灯です。型式により音声装置の場所が異なります。

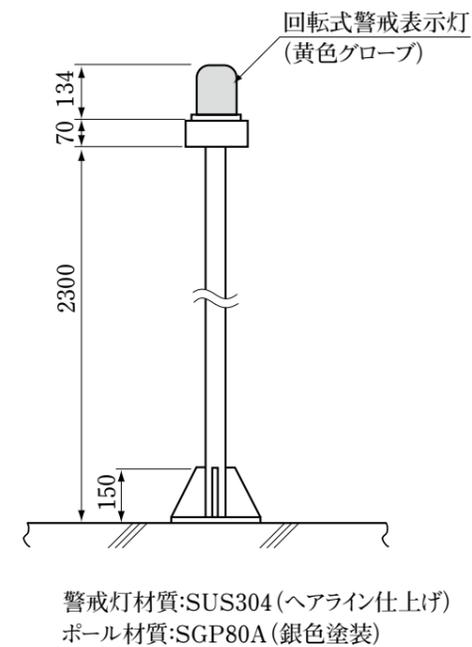
天井取付型



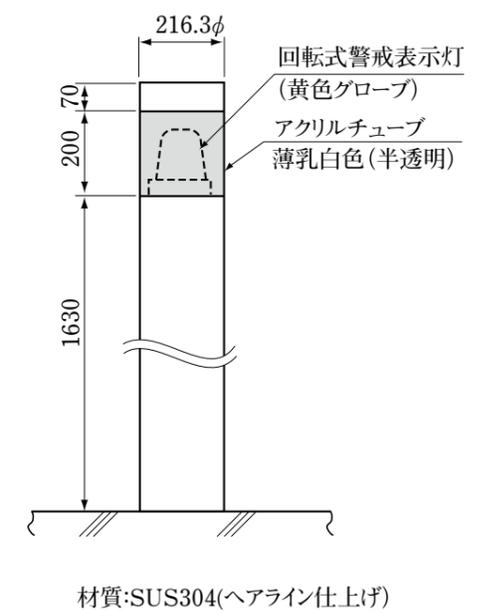
壁取付型



ポール自立型



円筒自立型（オプション）

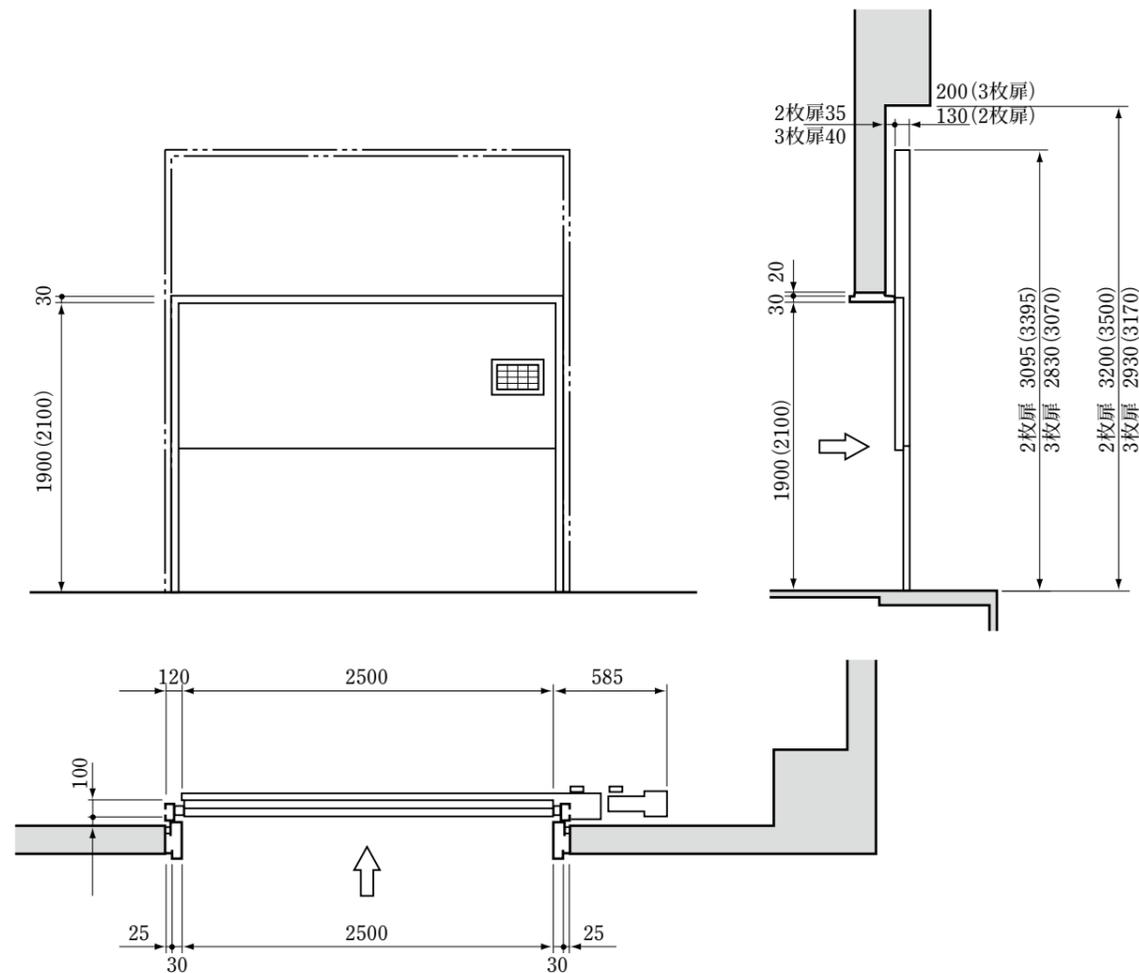


(注) 形状・寸法は予告無しに変更する場合があります。

(注) 形状・寸法は予告無しに変更する場合があります。



## 扉（上下開閉式扉）



**備考**

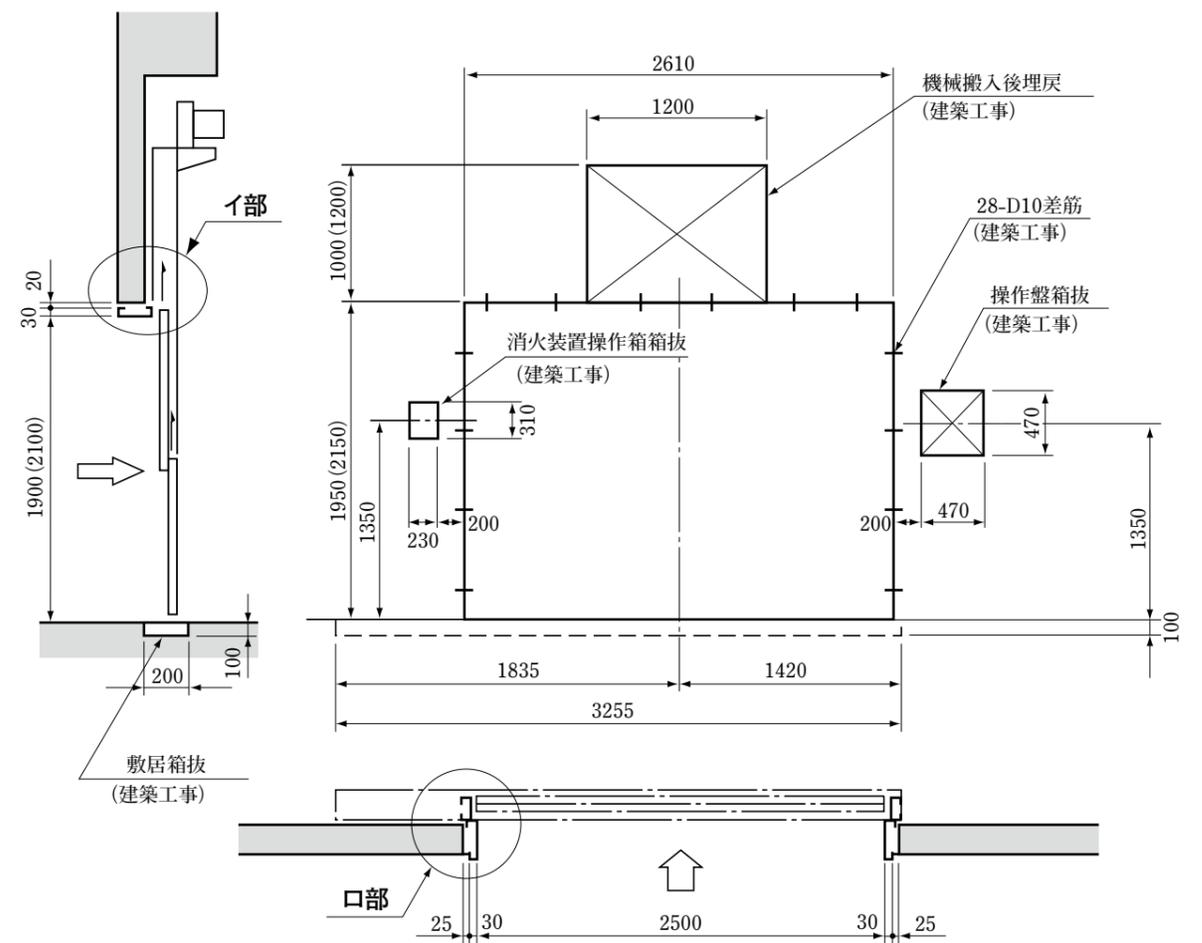
1. ( )内寸法はハイルフ車用の場合を示します。
2. 上下開閉扉以外に、非常脱出扉を設ける必要があります。
3. 扉の必要高さよりも乗入階必要高さ (P25~29参照)の方が高くなるのでご注意ください。

鋼製電動上下2枚扉	鋼製電動式 オイルペイント刷毛塗 三方枠:鋼製 寸法 幅:2,500mm 高さ:1,900mm (普通車・ミッドルフ車) 幅:2,500mm 高さ:2,100mm (ハイルフ車) 注:材質をステンレスにする事もできます。(オプション) 遮煙扉 (オプション)を使用する場合はお問い合わせ下さい。
非常脱出扉	<b>弊社所掌外工事</b> 鋼製 オイルペイント刷毛塗 寸法 幅:780mm 高さ:1,900mm 乗降室に1箇所/基設置 (特定防火設備) ドアチェック取付 (常時閉)、内側からのみ開きます 扉内側上部に避難口誘導灯を設置が必要です (電気工事)

上記以外の扉や本図どおりに納まらない場合は、お問い合わせ下さい。

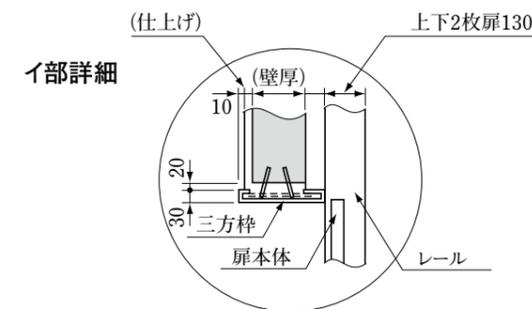
注) 仕様・寸法は予告無しに変更する場合があります。

### 出入口箱抜き寸法 (2枚扉の場合)



**備考**

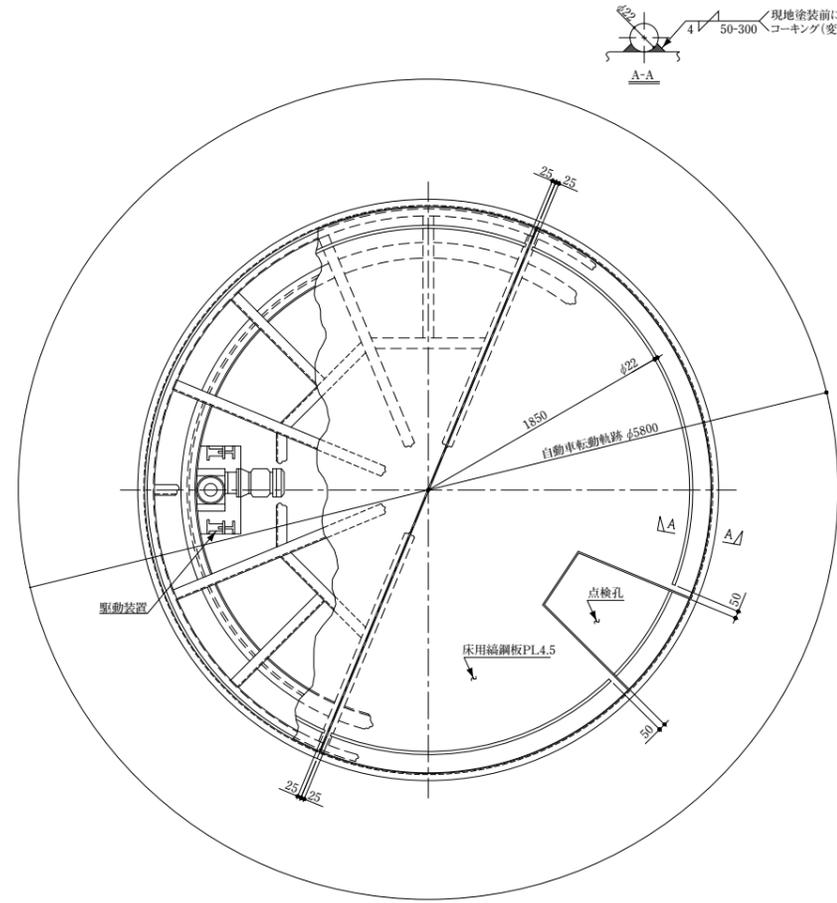
1. ( )内寸法はハイルフ車用の場合を示します。



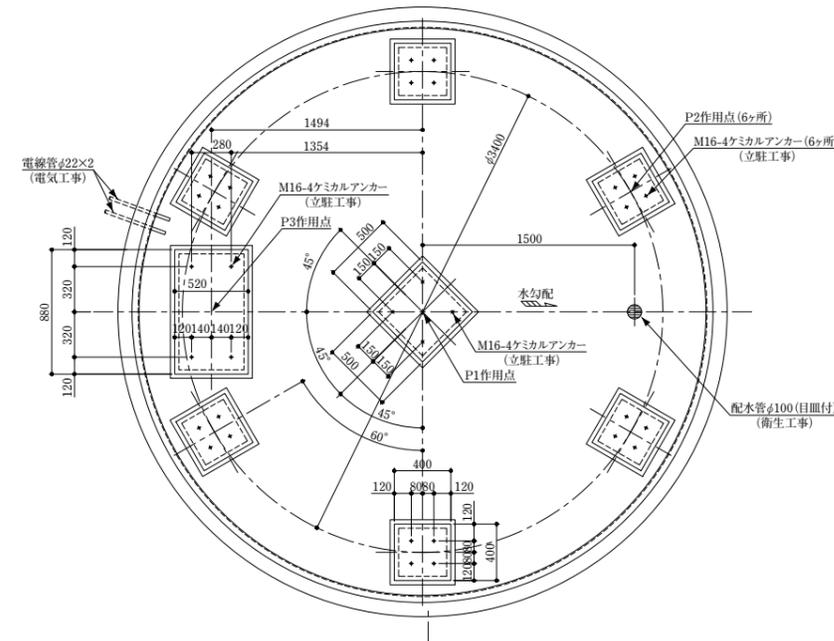
上記以外の扉や本図どおりに納まらない場合は、お問い合わせ下さい。

# 付帯設備

## ターンテーブル外形図 TT40型



## ターンテーブルピット・荷重図



仕様

形式	特TT40型
対応車種	中型車用
積載荷重	2,500kg
旋回荷重	2,500kg
回転速度	50Hz-約1.8rpm 60Hz-約2.2rpm
駆動方式	フリクションドライブ式
電動機	0.75KW 4P 1台
操作方法	2点押釦(左回転、右回転)
電源	200V 50Hzまたは220V 60Hz

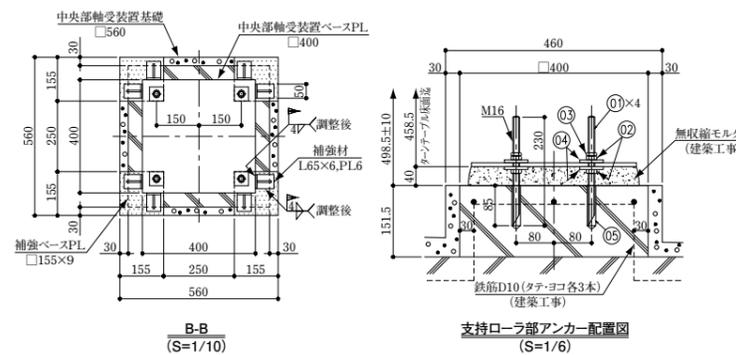
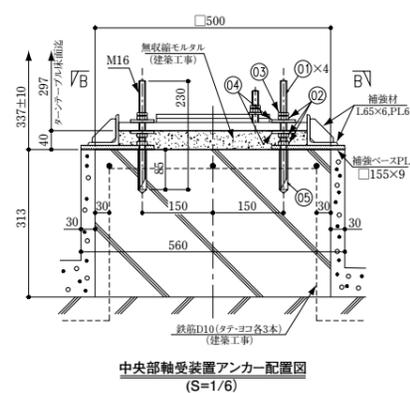
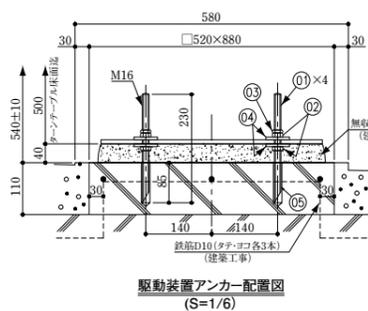
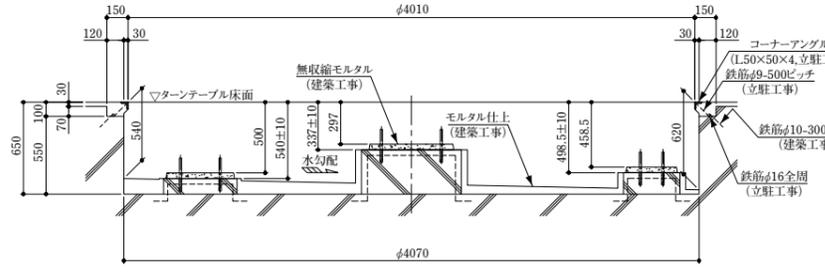
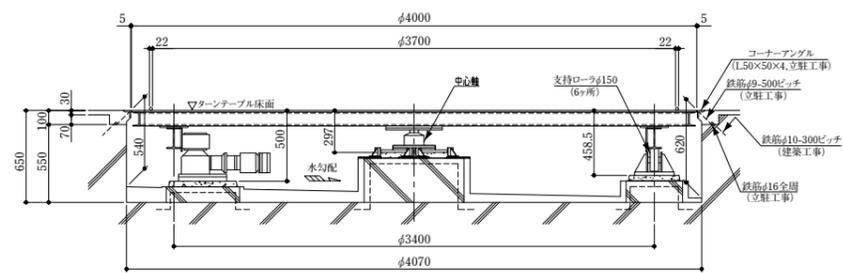
備考: 1. バック車等、重量車両対応もございます(オプション)

ターンテーブル荷重表 単位:KN

種類	作用点		
	P1	P2	P3
鉛直	20.6	14.7	3.9
水平	4.5	—	2.5

備考: 1. 支持ローラ部の荷重は1ヶ所にかかる荷重を示します

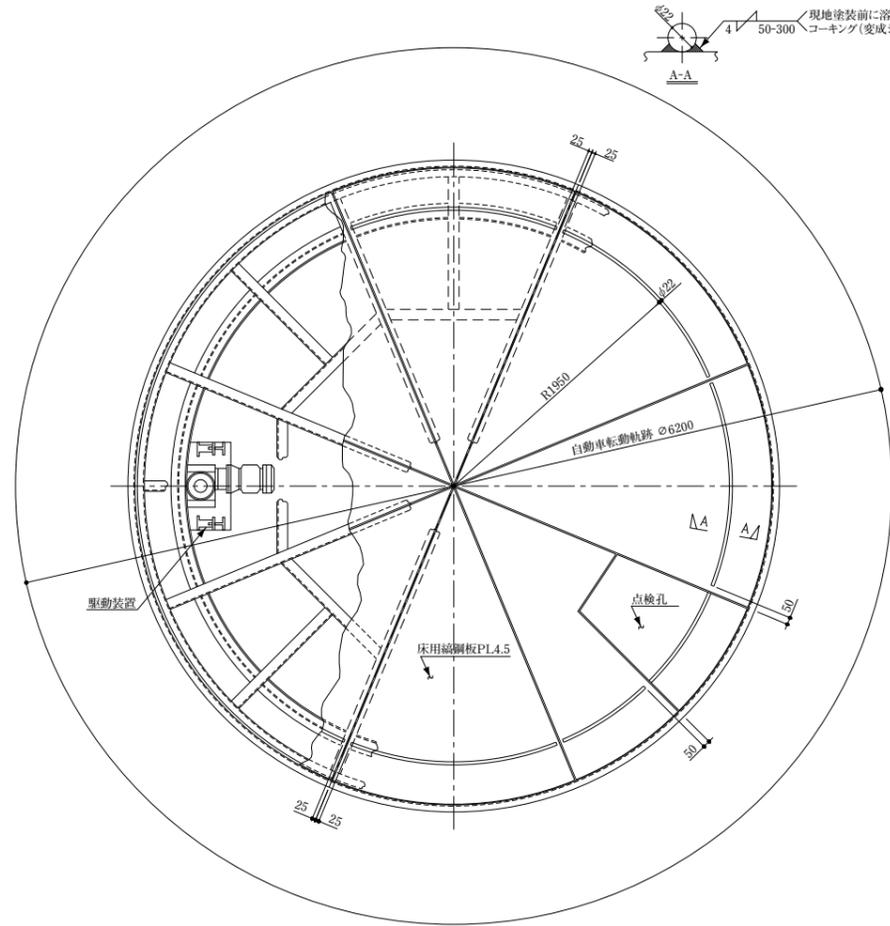
番号	名称	材料	標準		記事
			1基個数	重量(kg)	
05	ケミカル材M16 AP-16S	—	32		
04	角座金 □50×6×M16	SS400	64		
03	六角ナット 3種中M16	SS400	32		
02	六角ナット 1種中M16	SS400	64		
01	アンカーボルトM16×230	SS400	32		



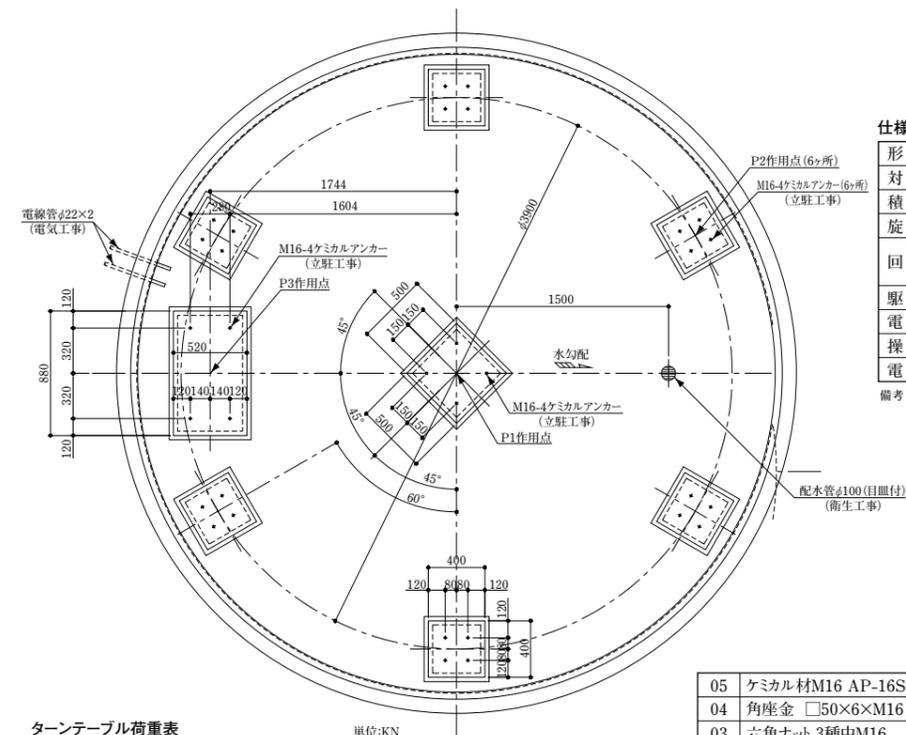
- 注意事項(建築工事)
1. コンクリート圧縮強度は、 $F_c=21\text{N/mm}^2$ 以上として下さい。(後施工アンカー設計要件)
  2. ターンテーブル側面の躯体は、ターンテーブルとの接離を避けるため、モルタル仕上げ等にて+0精度を確保願います。
  3. 各架台レベル精度は±10で施工願います。

# 付帯設備

## ターンテーブル外形図 TT45型



## ターンテーブルピット・荷重図



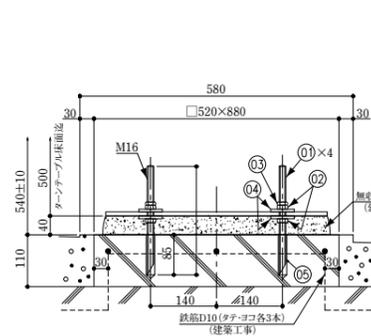
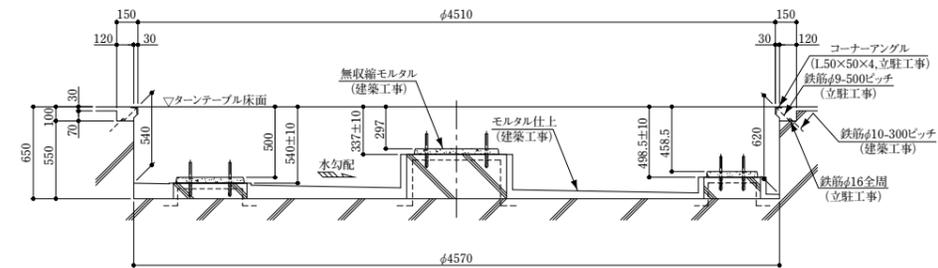
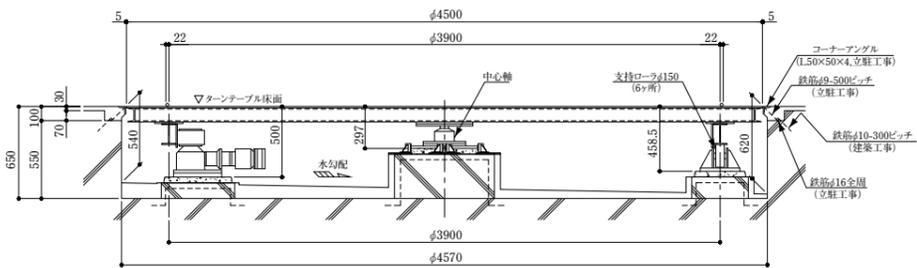
仕様	
形式	TT45型
対応車種	大型車用
積載荷重	2,500kg
旋回荷重	2,500kg
回転速度	50Hz-約2.0rpm 60Hz-約2.4rpm
駆動方式	フリクションドライブ式
電動機	0.75KW 4P 1台
操作方法	2点押釦(左回転、右回転)
電源	200V 50Hzまたは220V 60Hz

備考: 1. パッカー車等、重量車両対応もご用意(オプション)

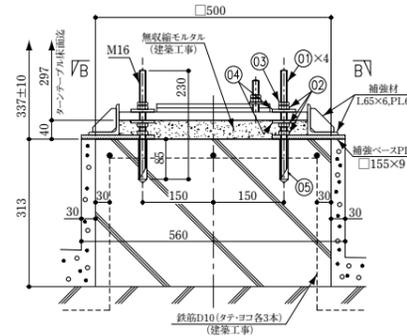
種類	作用点		
	P1	P2	P3
鉛直	20.6	14.7	3.9
水平	4.5	—	2.5

備考: 1. 支持ローラー部の荷重は1ヶ所にかかる荷重を示します

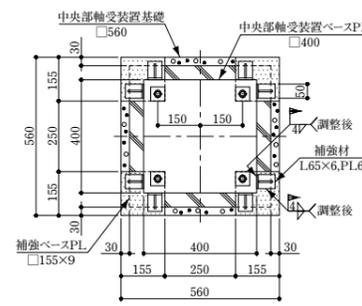
番号	名称	材料	予		記事
			1個	重量(kg)	
05	ケミカル材M16 AP-16S	—	32		
04	角座金 $\square 50 \times 6 \times M16$	SS400	64		
03	六角ナット 3種中M16	SS400	32		
02	六角ナット 1種中M16	SS400	64		
01	アンカーボルトM16 $\times$ 230	SS400	32		



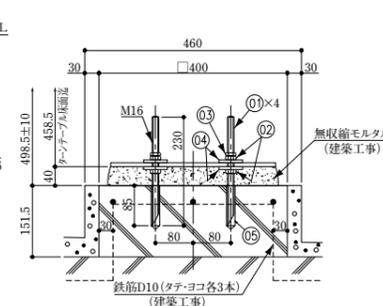
駆動装置アンカー配置図 (S=1/6)



中央軸受装置アンカー配置図 (S=1/6)



B-B (S=1/10)



支持ローラー部アンカー配置図 (S=1/6)

- 注意事項(建築工事)
1. コンクリート圧縮強度は、 $F_c=21N/mm^2$ 以上として下さい。(後施工アンカー設計要件)
  2. ターンテーブル側面の躯体は、ターンテーブルとの接離を避けるため、モルタル仕上げ等にて $\pm 0$ 精度を確保願います。
  3. 各架台レベル精度は $\pm 10$ で施工願います。

## 消火設備（二酸化炭素ガス放出方式）

### 消火設備付設の義務

立体駐車設備には、消防法施行令第13条の1の規定により消火設備の設置が義務づけられています。（ただし、収容台数10台未満は除かれます。）法定の消火設備には、水噴霧、泡、不活性ガス（二酸化炭素、窒素等）、ハロゲン化物、粉末の各消火設備があります。ここでは二酸化炭素ガス消火設備を挙げさせていただきます。原則としてこの設備は弊社の施工範囲外ですが、ご参考までに、その概要につき説明致します。

### 二酸化炭素ガス消火設備の概要

#### 1) 防護区画

乗入階と格納階を合わせ1防護区画とします。

#### 2) 貯蔵ガス量

貯蔵ガスは高圧ガス取締法規定ボンベに封入し、駐車室外に設けられたボンベ室に格納します。貯蔵ガスの必要量は下記によります。

#### (a) 必要ガス量

$$W(\text{kg}) = K \times V$$

（開口部があるときには、上記にさらに）  
 $K' \times A = 5.0A$ を加えて下さい。

#### (b) 必要ボンベ数

$$N(\text{本}) = W/w$$

一般的な下記のボンベ(w=55kg)を使用すると

$$N(\text{本}) = W/55 \text{ (小数以下切りあげ)}$$

ここに W：必要ガス量 (kg)

V：防護区画容積 (m³)

格納階部分、リフト部分および乗入階部分の容積を合計したものが防護区画容積となります。

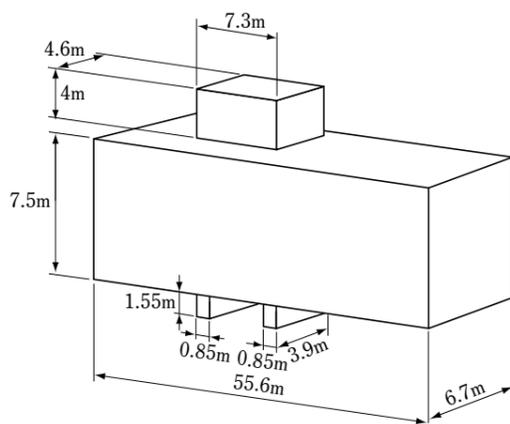
K：容積係数 (下表参照)

A：開口部面積 (m²)

K'：開口補償係数 (=5.0kg/m²)

W：ボンベ1本あたりのガス量 (kg)

V：容積 (m³)	K：容積係数 (kg/m³)	最低限度量 (kg)
50未満	1.0	—
50以上150未満	0.9	50
150以上1500未満	0.8	135
1500以上	0.75	1200



#### 必要ボンベ数計算例 単列+単列3段 中型車60台収容の場合

$$V = (55.6 \times 6.7 \times 7.5) + (7.3 \times 4 \times 4.6) + (0.85 \times 3.9 \times 1.55) \times 2 = 2939 \text{ m}^3$$

$$W = 2939 \times 0.75 = 2204.25 \text{ kg}$$

$$N = 2204.25 / 55 = 40.1 \text{ 本} \rightarrow 41 \text{ 本}$$

#### ボンベの諸元

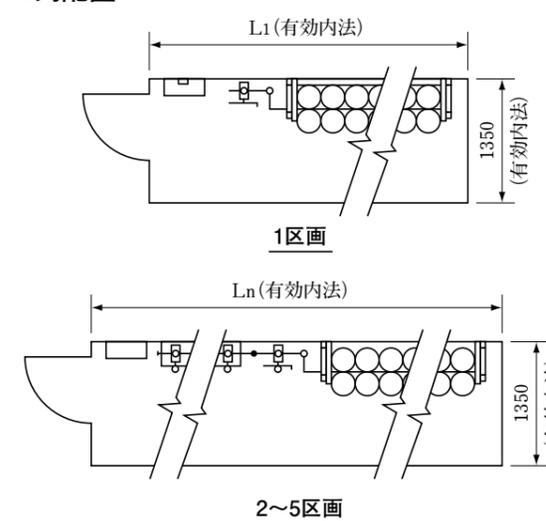
外径 (mm)	高さ (mm)	封入ガス量 (kg)	ボンベ自重 (kg)	全装備重量 (kg)
273φ	1,831	55	77	132

(注) 詳細については消火設備メーカーにお問い合わせ願います。

## 消火設備 ボンベ室（二酸化炭素ガス放出方式）

ボンベ室の寸法は貯蔵ガス量に見合うボンベ数が収納でき、定期点検や配管のためのスペース、出入口等が必要です。ボンベ室は別途お客様にて準備頂きます。標準寸法は下記をご参照願います。

### 2列配置

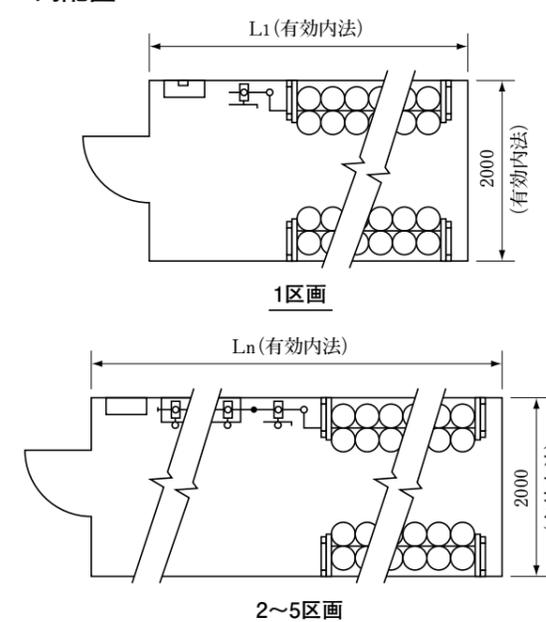


単位：mm

区画数	ボンベ室有効長さ				
	1区画	2区画	3区画	4区画	5区画
ボンベ本数	L1	L2	L3	L4	L5
9：10	2700	3600	4100	4500	4900
11：12	3000	3900	4400	4800	5200
13：14	3300	4200	4700	5100	5500
15：16	3600	4500	5000	5400	5800
17：18	3900	4800	5300	5700	6100
19：20	4200	5100	5600	6000	6400
21：22	4500	5400	5900	6300	6700
23：24	5500	6400	6900	7300	7700
25：26	5800	6700	7200	7600	8000
27：28	6100	7000	7500	7900	8300
29：30	6400	7300	7800	8200	8600

備考：名古屋市…+1000 大阪市…+600

### 4列配置



単位：mm

区画数	ボンベ室有効長さ				
	1区画	2区画	3区画	4区画	5区画
ボンベ本数	L1	L2	L3	L4	L5
9～10	2100	2500	2900	3300	3700
13～16	2400	2800	3200	3600	4000
17～20	2700	3100	3500	3900	4300
21～24	3000	3400	3800	4200	4600
25～28	3300	3700	4100	4500	4900
29～32	3600	4000	4400	4800	5200
33～36	3900	4300	4700	5100	5500
37～40	4200	4600	5000	5400	5800
41～44	4500	4900	5300	5700	6100
45～48	5500	5900	6300	6700	7100
49～52	5800	6200	6600	7000	7400
53～56	6100	6500	6900	7300	7700
57～60	6400	6800	7200	7600	8000
61～64	6700	7100	7500	7900	8300

備考：名古屋市…+1000 大阪市…+600

#### 備考

- ボンベ室内法有効高さは2600mmです。
- ボンベの前面がオープンにできる場合は有効内法幅は800mm (2列配置) 以上が必要です。
- ボンベ室には換気ガラリ (ヒューズ付ダンパー) が必要です。
- ボンベ室には出入口扉最小寸法600mm×1800mm (防火戸)、照明LED (1-32W) ×1灯以上、コンセント100V用×1口以上が必要です。

## 消火設備（窒素ガス放出方式）

### 消火設備付設の義務

立体駐車設備には、消防法施行令第13条の1の規定により消火設備の設置が義務づけられています。（ただし、収容台数10台未満は除かれます。）法定の消火設備には、水噴霧、泡、不活性ガス（二酸化炭素、窒素等）、ハロゲン化物、粉末の各消火設備があります。ここでは窒素ガス消火設備を挙げさせていただきます。原則としてこの設備は弊社の施工範囲外ですが、ご参考までに、その概要につき説明致します。

### 窒素ガス消火設備の概要

#### 1) 防護区画

乗入階と格納階を合わせ1防護区画とします。

#### 2) 貯蔵ガス量

貯蔵ガスは高圧ガス取締法規定ボンベに封入し、駐車室外に設けられたボンベ室に格納します。貯蔵ガスの必要量は下記によります。

#### (a) 必要ガス量

$$W(\text{m}^3) = 0.52 \times V$$

ここに W：必要ガス量 (m<sup>3</sup>)

V：防護区画容積 (m<sup>3</sup>)

格納階部分、リフト部分および乗入階部分の容積を合計したものが防護区画容積となります。

#### (b) 必要ボンベ数

$$N(\text{本}) = W / 20.3 + 1$$

↓ 加圧容器

#### 備考

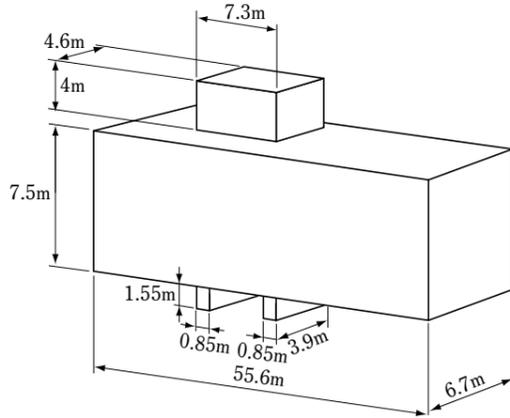
- 小数点以下は繰上げます。
- ボンベ1本当たり20.3m<sup>3</sup>の窒素を充填しています。
- 貯蔵容器の他に加圧容器が必要となります。  
(加圧容器1本当たり貯蔵容器175本まで対応)

#### 必要ボンベ数計算例 単列+単列3段 中型車60台収容の場合

$$V = (55.6 \times 6.7 \times 7.5) + (7.3 \times 4 \times 4.6) + (0.85 \times 3.9 \times 1.55) \times 2 = 2939\text{m}^3$$

$$W = 2939 \times 0.52 = 1528.28\text{m}^3$$

$$N = 1528.28 / 20.3 + 1 = 76.3\text{本} \rightarrow 77\text{本}$$



### ボンベの諸元

外径 (mm)	高さ (mm)	充填量 (m <sup>3</sup> )	封入ガス量 (kg)	ボンベ自重 (kg)	全装備重量 (kg)
278φ	1,855	20.3	25.4	109	134.4

#### 備考

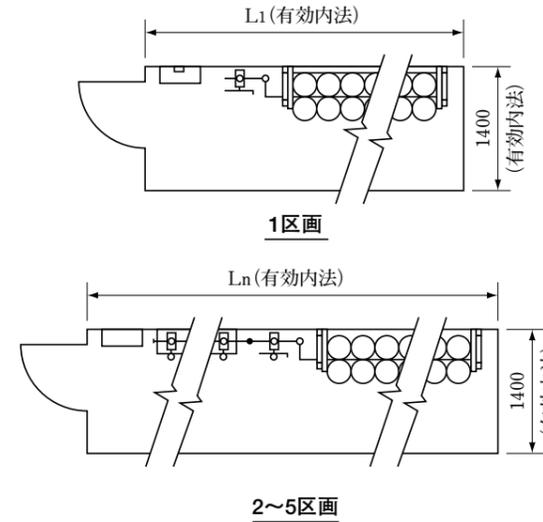
- 全域放出方式のみで、局所放出方式には使用できません。
- 原則的に自動起動方式です。  
※区画内に人がいる場合は手動起動方式に切り換えられます。
- 避圧装置の設置が要求されます。
- 消火剤放出の際、ガラリ等の開口は閉鎖致します（開口補償はありません）。
- 対象面積（1000m<sup>2</sup>未満）及び容積（3000m<sup>3</sup>未満）に制限があります。  
※用途及び面積・容積等が基準から外れる場合は、(財)日本消防設備安全センターの「評価」を受ける必要があります。
- N2消火設備を設ける場合には、高圧ガス貯蔵所としての許可願、届出等に関し、所轄官庁との打合せが必要となりますのでご注意ください。  
特に隣地が保安物件の場合、ボンベ室から保安物件の距離（設備距離）を確認する必要があります。  
※高圧ガス貯蔵所…個々のボンベが配管に集結し、1つの系統におけるガス容量にて決まります。
- 高圧ガス貯蔵所を避けるには、12本以下の複数ブロックに分け、別々の配管系統にする必要がありますが、次ページに示すボンベ室寸法より大きくなりますので、弊社までお問い合わせ下さい。

(注) 詳細については消火設備メーカーにお問い合わせ願います。

## 消火設備 ボンベ室（窒素ガス放出方式）

ボンベ室の寸法は貯蔵ガス量に見合うボンベ数が収納でき、定期点検や配管のためのスペース、出入口等が必要です。ボンベ室は別途お客様にて準備頂きます。標準寸法は下記をご参照願います。

### 2列配置

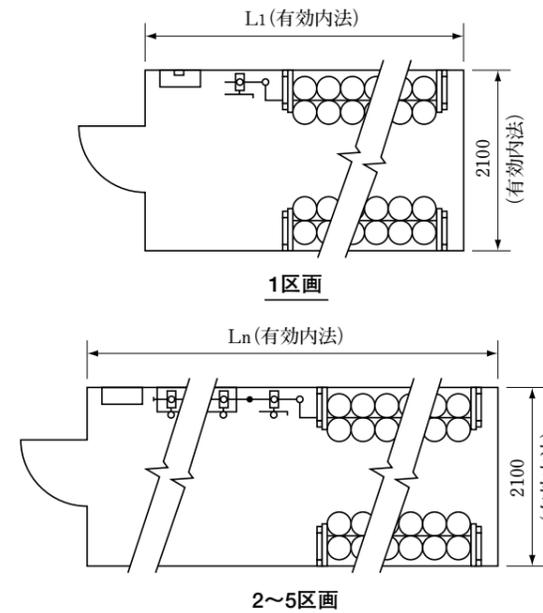


単位：mm

区画数 ボンベ本数	ボンベ室有効長さ				
	1区画 L1	2区画 L2	3区画 L3	4区画 L4	5区画 L5
17：18	3800	4300	4650	5000	5350
19：20	4100	4600	4950	5300	5650
21：22	4800	5000	5650	6000	6350
23：24	5100	5600	5950	6300	6650
25：26	5400	5900	6250	6600	6950
27：28	5700	6200	6550	6900	7250
29：30	6000	6500	6850	7200	7550
31：32	6300	6800	7150	7500	7850
33：34	6600	7100	7450	7800	8150
35：36	6900	7400	7950	8100	8450
37：38	7200	7700	8050	8400	8750
39：40	7500	8000	8350	8700	9050
41：42	8200	8700	9050	9400	9750
43：44	8500	9000	9350	9700	10050
45：46	8800	9300	9650	10000	10350
47：48	9100	9600	9950	10300	10650

備考：名古屋市…+1000 大阪市…+600

### 4列配置



単位：mm

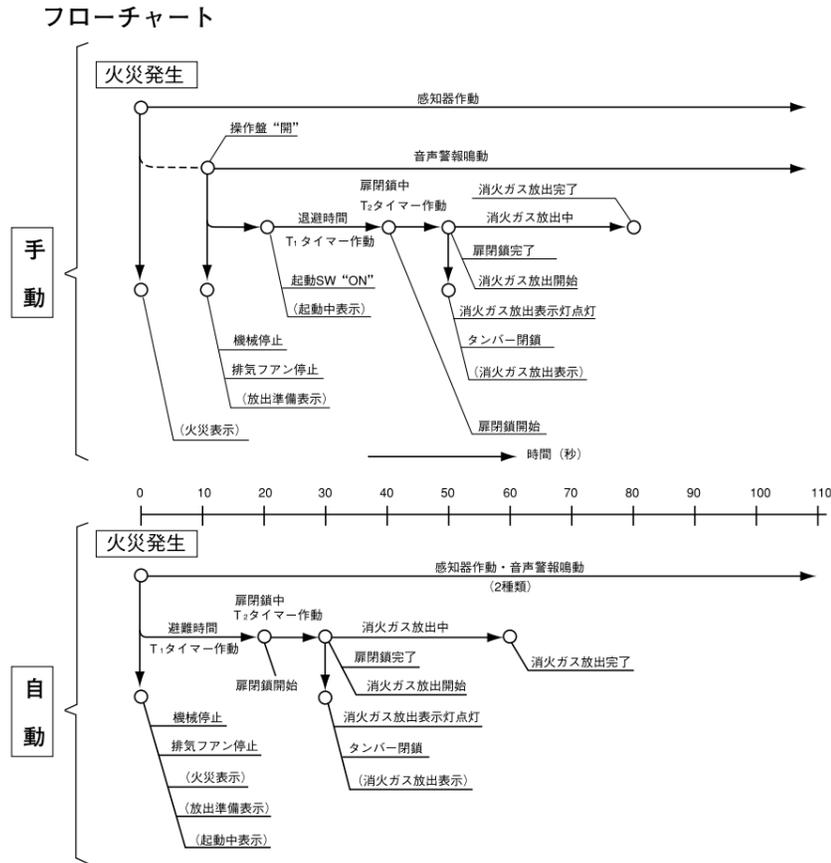
区画数 ボンベ本数	ボンベ室有効長さ				
	1区画 L1	2区画 L2	3区画 L3	4区画 L4	5区画 L5
17～20	2600	3100	3450	3800	4150
21～24	2900	3400	3750	4100	4450
25～28	3200	3700	4050	4400	4750
29～32	3500	4000	4350	4700	5050
33～36	3800	4300	4650	5000	5350
37～40	4100	4600	4950	5300	5650
41～44	4800	5300	5650	6000	6350
45～48	5100	5600	5950	6300	6650
49～52	5400	5900	6250	6600	6950
53～56	5700	6200	6550	6900	7250
57～60	6000	6500	6850	7200	7550
61～64	6300	6800	7150	7500	7850
65～68	6600	7100	7450	7800	8150
69～72	6900	7400	7750	8100	8450
73～76	7200	7700	8050	8400	8750
77～80	7500	8000	8350	8700	9050
81～84	8200	8700	9050	9400	9750
85～88	8500	9100	9350	9700	10050
89～92	8800	9300	9700	10000	10350

備考：名古屋市…+1000 大阪市…+600

#### 備考

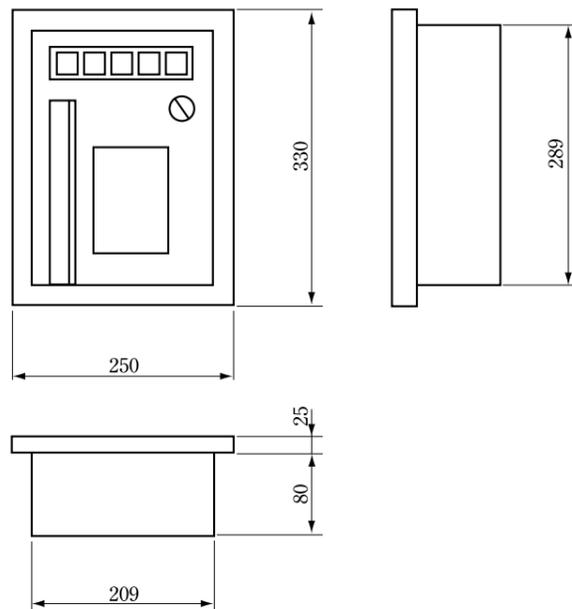
- ボンベ室内法有効高さは2600mmです。
- ボンベの前面がオープンにできる場合は有効内法幅は800mm（2列配置）以上必要です。
- ボンベ室には換気ガラリ（ヒューズ付ダンパー）が必要です。
- ボンベ室には出入口扉最小寸法600mm×1800mm（防火戸）、照明LED（1-32W）×1灯以上、コンセント100V用×1口以上が必要です。

## 消火設備フローチャート・操作箱

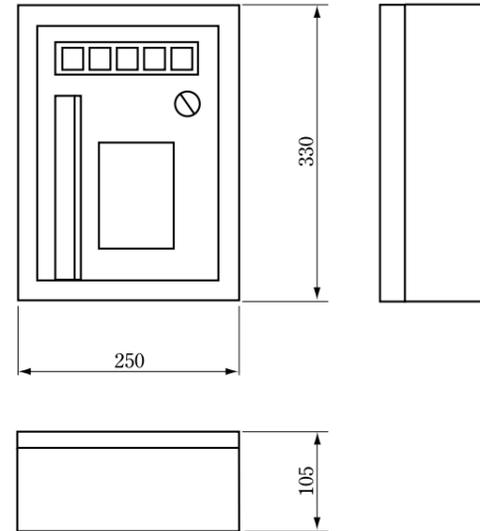


- 備考
1. 放出方式は原則として手動放出方式とします。
  2. 停電時、扉は電磁トリップにて自動閉鎖します。
  3. 手動時、火災発生→操作蓋“開”、操作蓋“開”→起動SW“ON”はそれぞれ10秒と仮定します。
  4.  $T_1$ 、 $T_2$ タイマーは60秒maxを使用します。
  5.  $T_1$ タイマーセット値（退避時間は）は20秒とします。
  6.  $T_2$ タイマーセット値は、10秒とします。
  7. 上記中（ ）内に表示したフローは、特定行政庁によって必要な場合と不要な場合があります。
  8. 自動起動方式は、2種類の感知器が火災信号を受信した時に起動する方式とする必要があります。

操作箱（埋込型）

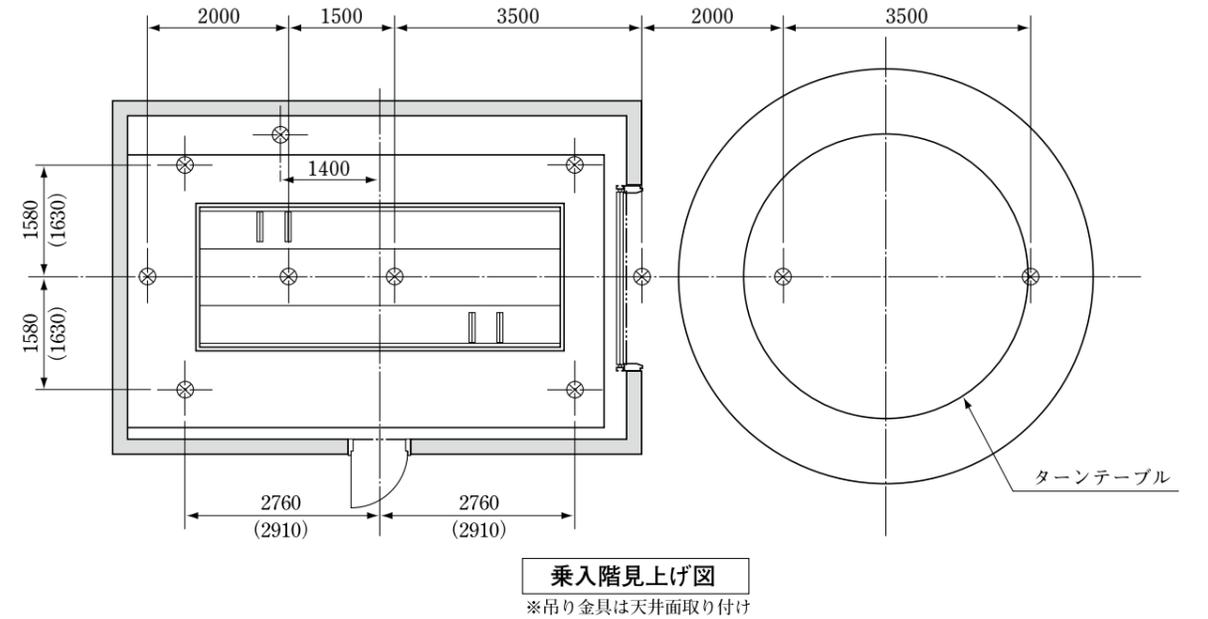


操作箱（壁掛型）



- 備考
- 操作箱の外表面塗装色は消防法施行規則第20条の規定により赤色（マンセル5R4/13）とします。

## 乗入階吊り金具配置図（参考）

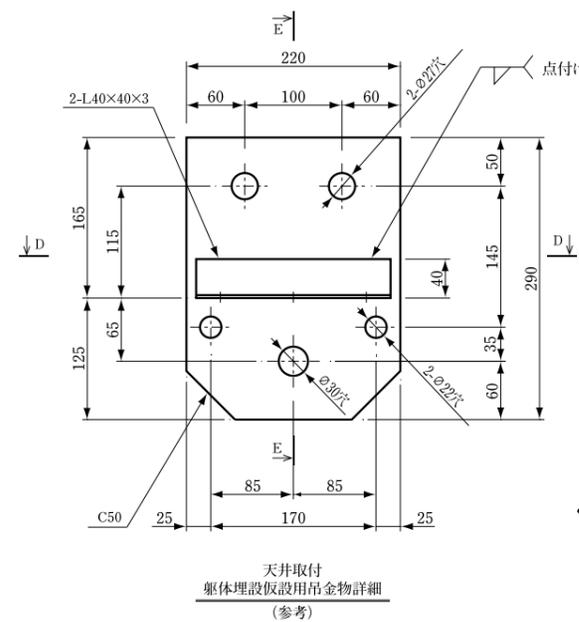


乗入階見上げ図

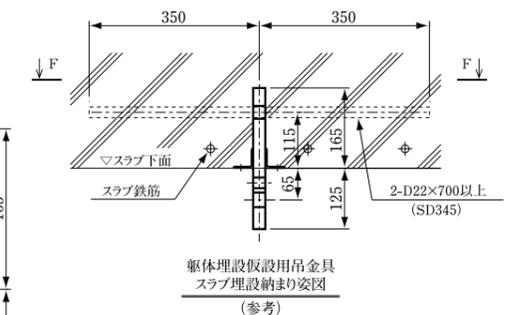
※吊り金具は天井面取り付け

吊り金具配置

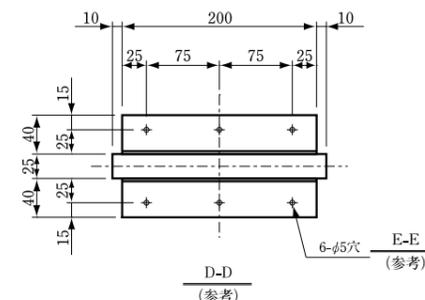
数量	乗降室天井取付:11個
直進度	1直線上に並ぶ金物は直進度±10
吊下げ荷重	30kN(吊り角度10°以内)
所掌	製作:立駐工事・取付:建築工事



天井取付 躯体埋設仮設用吊金物詳細 (参考)



躯体埋設仮設用吊金物 スラブ埋設納まり姿図 (参考)

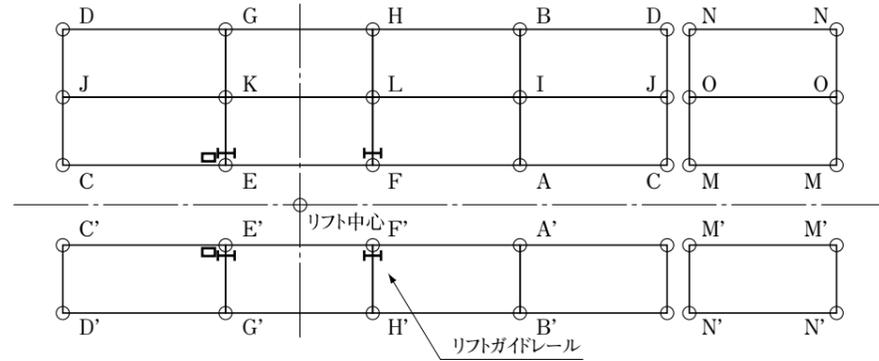


埋め込み金物詳細図

( ) 内寸法は、大型車用(L)又は大型ハイルフ車用(LH)を示す。  
吊り金具配置は搬入車路、躯体条件等により変更する場合があります。  
耐荷重条件をご確認願います。

# 関連資料

## 格納階・乗込階基礎荷重



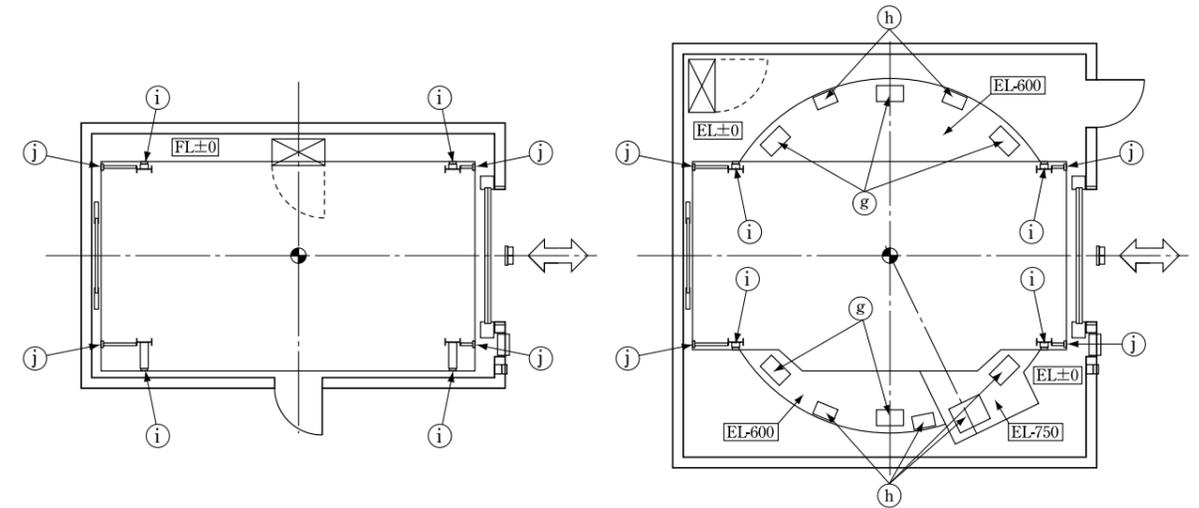
単位：kN

位置	方向	4段			3段			2段		
		自重	常時	地震時	自重	常時	地震時	自重	常時	地震時
A	水平	1	4	27	11	10	23	11	10	18
	鉛直	25	83	177	18	62	114	11	39	56
B	水平	0	0	37	0	0	24	0	1	13
	鉛直	22	75	89	15	54	57	10	35	31
C	水平	1	3	30	7	10	23	7	10	18
	鉛直	15	49	110	11	31	68	7	20	30
D	水平	0	1	42	0	1	31	0	1	14
	鉛直	13	42	62	9	30	39	6	20	20
E	水平	2	5	9	3	5	5	3	5	5
	鉛直	130	189	229	108	152	175	91	121	128
F	水平	3	5	9	3	5	5	3	5	5
	鉛直	120	183	223	97	145	164	81	114	116
G	水平	0	1	36	1	1	23	0	2	16
	鉛直	20	67	90	13	48	68	8	31	37
H	水平	1	1	33	1	2	22	0	2	14
	鉛直	20	70	92	14	50	69	9	32	36
I	水平	1	2	29	1	2	22	0	2	12
	鉛直	34	128	176	25	99	125	17	67	72
J	水平	1	3	18	1	3	14	0	2	8
	鉛直	17	68	97	12	50	64	8	35	37
K	水平	3	13	51	3	15	41	2	9	28
	鉛直	28	119	86	22	93	68	15	64	47
L	水平	1	3	47	1	3	38	1	2	25
	鉛直	27	117	84	22	90	65	15	63	46
M	水平	6	16	24	3	11	18	3	11	15
	鉛直	14	46	93	13	33	57	9	22	30
N	水平	0	0	30	0	1	22	0	1	12
	鉛直	12	42	64	8	30	42	5	20	21
O	水平	0	1	16	0	1	11	1	2	8
	鉛直	18	70	90	14	53	62	9	36	37

※本設計資料の仕様及び寸法は予告なしに変更する場合があります。

単位：kN

位置	方向	4段			3段			2段		
		自重	常時	地震時	自重	常時	地震時	自重	常時	地震時
A'	水平	1	4	19	11	10	18	11	10	15
	鉛直	25	78	148	18	60	94	11	39	46
B'	水平	0	2	23	1	2	16	1	2	10
	鉛直	21	71	142	15	51	92	10	34	44
C'	水平	1	3	20	7	10	18	7	10	17
	鉛直	14	48	81	10	29	50	6	20	23
D'	水平	0	2	23	1	2	16	0	2	8
	鉛直	11	35	73	7	25	42	5	18	21
E'	水平	3	5	11	3	5	5	3	5	5
	鉛直	134	193	232	113	160	198	96	129	142
F'	水平	3	5	10	3	5	5	3	5	5
	鉛直	120	184	223	100	149	183	83	118	126
G'	水平	2	7	43	2	8	35	2	5	27
	鉛直	16	59	87	10	41	84	6	27	42
H'	水平	2	4	41	2	4	33	2	4	24
	鉛直	15	56	82	9	41	74	6	27	36
M'	水平	6	16	22	3	11	16	3	11	14
	鉛直	14	43	74	13	32	47	9	21	23
N'	水平	0	1	12	0	1	10	0	1	6
	鉛直	12	37	69	9	27	42	6	18	21



リフト支柱中間サポート部基礎荷重表 単位：kN

位置	方向	常時	地震時		
			4段	3段	2段
i	水平	2	54	35	34
j	水平	2	82	62	50

旋回装置支持部基礎荷重表 単位：kN

位置	方向	常時	地震時
g	水平	10	3
h	鉛直	10	13

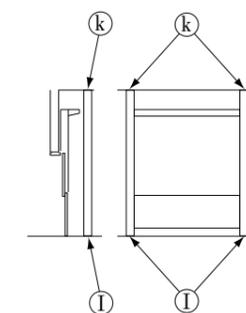
自動車防護柵部基礎荷重表 単位：kN

位置	方向	常時	地震時
I	鉛直	0	0
	水平	0 (110)	2
I	鉛直	6	6

※( )内は自動車衝突時の荷重を示す。

注1) 表中の-符号は引抜荷重を示す。

注2) 地震水平震度は0.3Gとします。



# 関連資料

## 標準 工事区分明細表

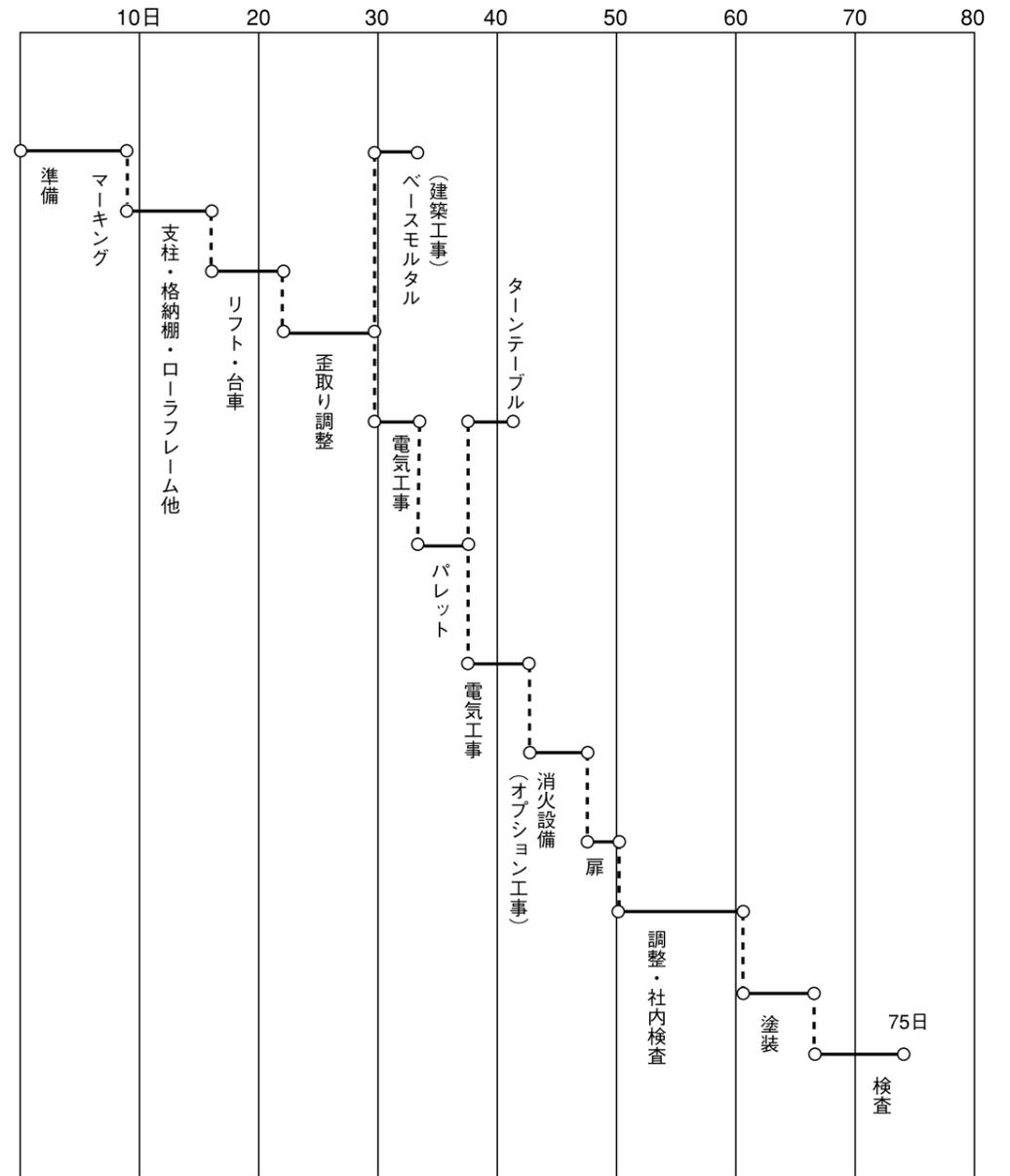
区分	工 事 項 目	弊社	客先	備 考
装 置 関 係	1. パレットの製作・据付工事	○		(TT内蔵型の場合)
	2. リフト装置の製作・据付工事	○		
	3. 走行台車の製作・据付工事	○		
	4. 格納棚の製作・据付工事	○		
	5. 旋回装置の製作・据付工事	○		
	6. 出入口扉、三方枠、敷居の製作・据付工事	○		
	7. 誘導鏡の製作・据付工事	○		
建 築 関 係	1. 出入口扉の開口設置、下部敷居用欠込み設置、差筋取付及びモルタル埋戻し・仕上工事		○	(必要な場合)
	2. 乗入階出入口扉上部壁面の搬入用開口部設置及び立駐機器搬入後の壁埋戻し工事		○	
	3. 操作盤の箱抜及びモルタル埋戻し・仕上工事		○	
	4. 乗入階スラブ開口部・旋回ピット・格納階リフトピットの造成工事		○	
	5. 乗入階スラブ開口部のコーナーアングル取付用差筋及びモルタル埋戻し・仕上工事		○	
	6. 乗入階スラブ開口部のコーナーアングル製作・取付工事	○		
	7. 非常脱出扉の設置工事(ホテル錠・クローザー付)		○	
	8. 非常脱出用タラップ、ハッチ(ホテル錠・クローザー付)ハッチ上部の手摺の設置工事		○	
	9. リフト及び駐車室架構取付用ケミカルアンカーの製作・据付工事	○		
	10. リフト及び駐車室架構取付用アンカーの無収縮ベースモルタル仕上工事		○	
	11. 旋回装置取付用ケミカルアンカーの製作・据付工事	○		
	12. 旋回装置取付用アンカーの無収縮ベースモルタル仕上工事		○	
	13. リフト及び駐車室架構脚部の機械基礎設置工事		○	
	14. 換気設備工事(換気設備製作、配線、配管、結線、動力盤設置)		○	
	15. 排水設備工事(リフトピット内とも)		○	
	16. 躯体埋設仮設用吊金物の製作	○		
	17. 鉄骨取付仮設用吊金物の製作		○	
	18. 仮設用吊金物の取付(鉄骨取付・躯体埋設とも/埋設用墨出し含む)		○	
	19. 上記金物取付用鉄骨の製作・取付		○	
	20. 立駐出入口前の防火シャッターの製作・据付工事		○	
	21. 躯体計測(出来形・精度確認)		○	
	22. 乗入階の路面仕上工事		○	
	23. 乗入階内装工事	立駐除外工事		
電 気 関 係	1. 電気機器の製作、取付工事(リフト制御盤、台車地上制御盤) 2. 一次側電源工事 (リフト制御盤及び台車地上制御盤への結線まで) (a)動力用(リフト) 3φ 200V/220V 37kVA リフト制御盤(乗入階)へ供給 (b)動力用(台車) 3φ 200V/220V ※kVA 台車地上制御盤(格納階)へ供給 (c)操作用(リフト) 1φ 100V 3kVA リフト制御盤(乗入階)へ供給	○	○	容量は1基の場合  ※部は段数による 2段:28kVA 3段:41kVA 4段:54kVA

区分	工 事 項 目	弊社	客先	備 考
電 気 関 係	3. リフト制御盤及び台車地上制御盤以降の二次側電気工事(露出配管)	○		(必要な場合)
	4. 本体操作盤の製作・据付工事(露出配管、配線、結線とも)	○		
	5. 光電管装置の製作・取付工事(露出配管、配線、結線とも) (a) 入口部非常停止用 (b) 車高検出用 (c) 車前後部及び幅検出用	○		
	6. 入庫管制灯の製作・据付工事(配線、結線とも)	○	○	
	7. 出庫警戒灯の製作・据付工事(配線、結線とも)		○	
	8. 入庫指示灯の製作・据付工事(露出配管、配線、結線とも)	○		
	9. 車路管制工事一式		○	
	10. 場内確認用カメラ/モニターの製作・据付工事(露出配管、配線、結線とも)	○		
	11. 乗入階緊急停止用押ボタンの製作・据付工事(露出配管、配線、結線とも)	○		
	12. 工事前電力設備(立駐着工より立駐への本受電までの期間) (発電機が必要な場合はその手配及び燃料も含む) (a)動力用 3φ 200V/220V 30kVA (b)照明用 1φ 100V 5kVA		○	
	13. 工事前仮設照明設備		○	
	14. 工事前及び試運転用電力料金(引渡しまで)		○	
	15. アース線のリフト制御盤及び格納階制御盤への結線		○	
	16. 電気関係埋設配管工事 (a)乗入階～ターンテーブル間		○	
	17. スリーブ埋設工事(抜取工事含む) (a)乗入階～入庫管制灯間 (b)乗入階～格納階間 (c)乗入階～場内確認用モニター間		○	
	18. 乗入階及び格納階の照明工事 (照明用分電盤、配線、配管、結線、格納階用スイッチとも)		○	
	19. 乗入階照明スイッチの接点供給	○		
	20. コンセント設置工事 (a)乗入階に1箇所/基 (b)駐車階に2箇所/基		○	
	21. 遠隔監視システムの製作・取付工事	○		
	22. 遠隔監視システム用光回線の配管工事 (分岐点～ユニットコンピュータ盤まで)		○	
	23. 格納庫室内の閉じ込め時通報用携帯電話の接続環境の確保		○	
	24. 避難口誘導灯の製作・設置工事(電源、配線、配管、結線とも)		○	
	25. 乗入階自動案内放送装置の製作・据付工事	○		
	26. 乗入階無人確認装置の製作・据付工事	○		
	27. 消火装置制御盤から自動火災報知盤(又は警報盤、複合盤)までの配線配管工事(消火設備移報信号用)		○	
	28. 立駐車移報信号の端子供給(2窓)/基	○		
	29. 同上配管配線工事及び警報盤等の窓数確保		○	
	30. 換気設備用電源工事		○	
	31. 地震感知器の製作・取付工事	○		

## 建設工事標準工程表

区分	工 事 項 目	弊 社	客 先	備 考
消 火 設 備	1. 消火設備の製作・据付工事		○	
	2. 消火ポンベ室の設置工事		○	
	3. ポンベ室内の照明及びコンセント設置工事 照明灯：LED(1-32W)×1灯以上 コンセント：AC100V 15A～1ヵ所以上		○	
	4. 火災発生時の機械停止信号(無電圧b接点)をリフト制御盤に継ぎ込む工事(配管、配線とも)		○	
	5. 火災発生時の出入口扉閉信号(DC24Va接点)をリフト制御盤に継ぎ込む工事(配管、配線とも)		○	
	6. 給排気ファン停止用信号(無電圧b接点)を消火設備の制御盤に継ぎ込む工事(配管、配線とも)		○	
	7. 消火関連排ガス設備		○	
	8. 避圧装置の設置工事(必要な場合)		○	
タ ー ン テ ー ブ ル 関 係	1. ターンテーブル本体の製作・据付	○		
	2. 駆動装置の製作・据付	○		
	3. コーナーアングルの製作・据付	○		
	4. アンカーボルトの製作	○		
	5. アンカーボルトの現地取付	○		
	6. ベース部の無収縮モルタル充填工事		○	
	7. 電気配線結線工事	○		
	8. ターンテーブル用ピット造成工事		○	
	9. ピット内排水設備工事		○	
	10. コーナーアングル取付用コンクリート切欠き工事		○	
	11. 同上 コンクリート切欠き部モルタル埋設・仕上工事		○	
	12. コーナーアングル取付用差筋工事		○	
	13. 電気埋設配管工事		○	
	14. 本体据付後のピットおよび路面仕上工事		○	
	15. 安全円・停止線・誘導白線工事		○	
	16. 躯体埋設仮設用吊金物の製作	○		
	17. 鉄骨取付仮設用吊金物の製作		○	(必要な場合)
	18. 仮設用吊金物の取付(鉄骨取付・躯体埋設とも/埋設用墨出し含む)		○	
	19. 上記金物取付用鉄骨の製作・取付		○	(必要な場合)
そ の 他	1. 管理人室の設置工事		○	(必要な場合)
	2. 管理人室の照明及びコンセント設置工事		○	
	3. 誘導白線工事(停止線・指定文字を含む)		○	
	4. 看板ネーム関連工事		○	
	5. 駐車場運営管理に必要な備品		○	
	6. 確認申請手続および手続に要する費用		○	
	7. 機械駐車場外案内用拡声器の取付		○	
	8. 搬入に必要な作業スペース及び資材置場		○	
	9. 仮設事務所及び詰所		○	
	10. 工事期間中ガードマンの費用		○	
	11. 操作説明(1回)【マンションの場合:5回】		○	
	12. 製品保証期間(1年)		○	
	13. 無償保守点検(お引き渡し後3ヶ月)		○	
	14. 式典等の費用		○	
	15. 負荷試験の実施		○	
	16. 危険境界・退避境界マーキング		○	

三菱プレストパーク 3段 60台収容 1基の場合



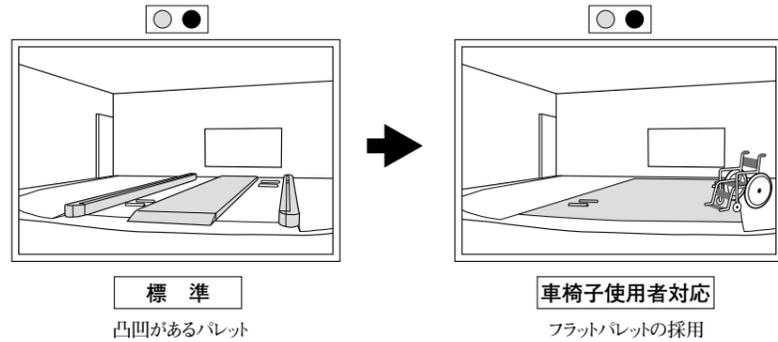
注) 休日、他工事との調整等による休業日数は含みません。

# 車椅子使用者対応型

国土交通省認定番号 : 関東(21)-87  
 立体駐車場工業会認証番号 : 立駐工 第21-F006号  
 立体駐車場工業会適合番号 : 立駐工 第21-F038号

## 乗入階のフラット化(車停車位置)

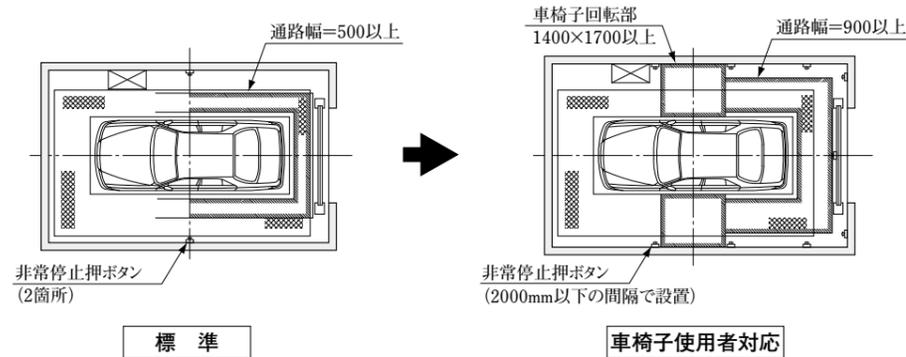
スムーズに乗降、移動ができるように乗入階をフラットとしています。



## 乗入階の通路スペース確保・安全性の確保

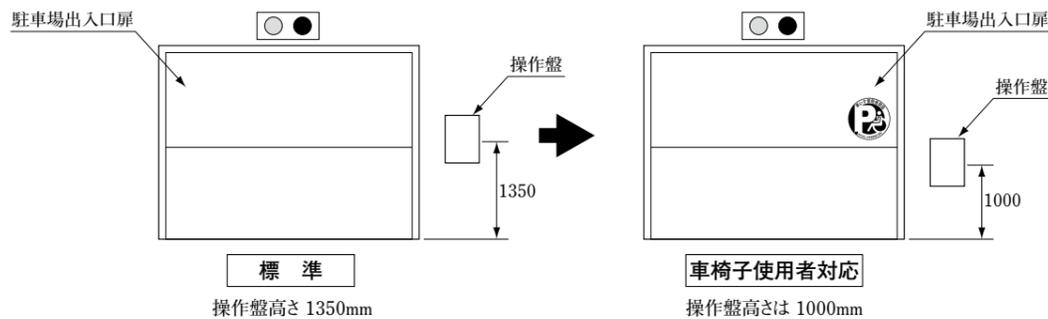
車椅子利用者でも円滑な入・退場ができるように通路幅を900mm以上、車椅子回転部を幅1400mm以上・奥行1700mm以上確保しています。

駐車装置内の非常停止ボタンを2000mm以下の間隔で設置することで安全性を高めています。



## 機械駐車装置の操作

車椅子等の利用者がより操作しやすいように、標準より低い位置に操作盤を設置します。



## 建築工事範囲における認定規定

非常脱出扉の幅900mm以上、高さ1900mm以上、段差20mm以下、勾配1/12(傾斜路の高さが160mm以下の場合1/8)以下とし、内側から容易に開けられるよう設置。

機械式駐車装置の出入口付近は段差20mm以下、勾配1/12(傾斜路の高さが160mm以下の場合1/8)以下にて設定。

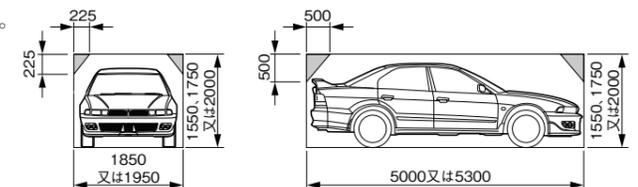
その他、自治体において個別に定めている場合がありますので、各自治体にお問い合わせ願います。

注) 本設計資料の仕様及び寸法は予告なしに変更する場合があります。

# 収容車最大寸法・重量

収容車種		最大寸法(mm)	最大重量(kg)	
中型車	普通車 M		2000	
	ミッドルーフ車 MM			
	ハイルーフ車 MH		標準	オプション
大型車	普通車 L		標準	オプション
	ミッドルーフ車 LM		2300	2500
	ハイルーフ車 LH		2300	2500

- 備考
1. 最低地上高さ70mm未満の車は収容できません。
  2. ドアミラーはたたんで入庫します。
  3. 後部スペアタイヤ、リアミラーなどの突起物がある車は入庫できない場合があります。
  4. タイヤ外幅の最大寸法は車幅の最大寸法と同じになります。



注) 本設計資料の仕様及び寸法は予告なしに変更する場合があります。

# 車椅子使用者対応型

## 注意事項

- 1) 収容車は前ページ記載の収容車最大寸法・重量以外の車は絶対に入庫させないで下さい。入庫可能寸法以外の車を入庫させると車の破損や機械の故障・事故が起こる可能性があります。
- 2) 収容車最大寸法・重量に寸法公差(注)は含まれておりません。  
車検証・メーカーカタログ等に記載の車体寸法が収容可能寸法内であっても、実車寸法が収容可能寸法を超える車は入庫できません。  
例) 車検証に車高1550mmと記載されている場合、実車寸法は、1510mm～1590mmとなります。
- 3) 最大重量は実車重量としております。車検証の車両重量には燃料は全量含んでおりますが、スペアタイヤ・簡易備付工具類・荷物は含んでおりません。荷物を積んだまま入庫する場合は、最大重量を超えないようにして下さい。
- 4) 同一車名でもタイプや年式により車体寸法や重量が異なり、入庫できない場合があります。入庫前に入庫可否の確認を実施して下さい。
- 5) 駐車装置は収容車最大寸法・重量記載の乗用車を対象としております。記載寸法を下回る場合でもトラック、二輪車等は入庫できません。
- 6) 自動車の全幅はドアミラーを閉じた状態の車体寸法を表しております。ドアミラー及びアンテナは閉じた状態で入庫して下さい。  
ドアミラーをたためない車種は入庫できない可能性があります。
- 7) 油圧サスペンション・エアサスペンション付の車で、エンジン停止後車高が下がり、最低地上高70mm以下になる車は入庫できません。
- 8) 改造車やキャリア付車、後部スペアタイヤ取付車、各部スポイラー、リアアンダーミラー等の突起物がある車は入庫出来ない場合があります。

### 【別表】

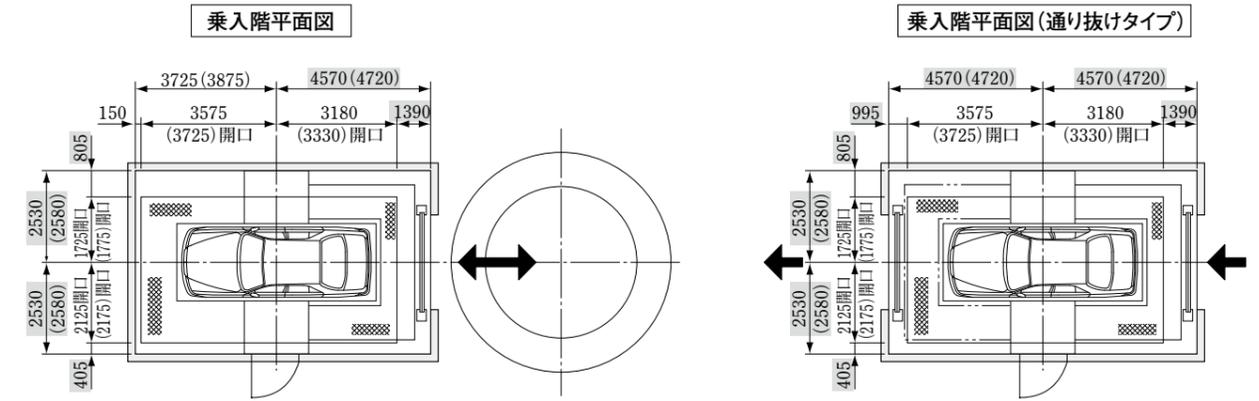
自動車の種別	長さ (mm)	幅 (mm)	高さ (mm)	車両重量 (kg)
普通自動車	± 30	± 20	± 40	± 60
小型自動車	± 30	± 20	± 40	± 50
軽自動車	± 30	± 20	± 40	± 40

※道路運送車両法（第75条第1項）の規定による「自動車型式認証実施要領」内の「附則1：自動車等の同一型式判定要領」に別表の製作誤差の範囲（実測寸法と諸元値の差）が定められております。

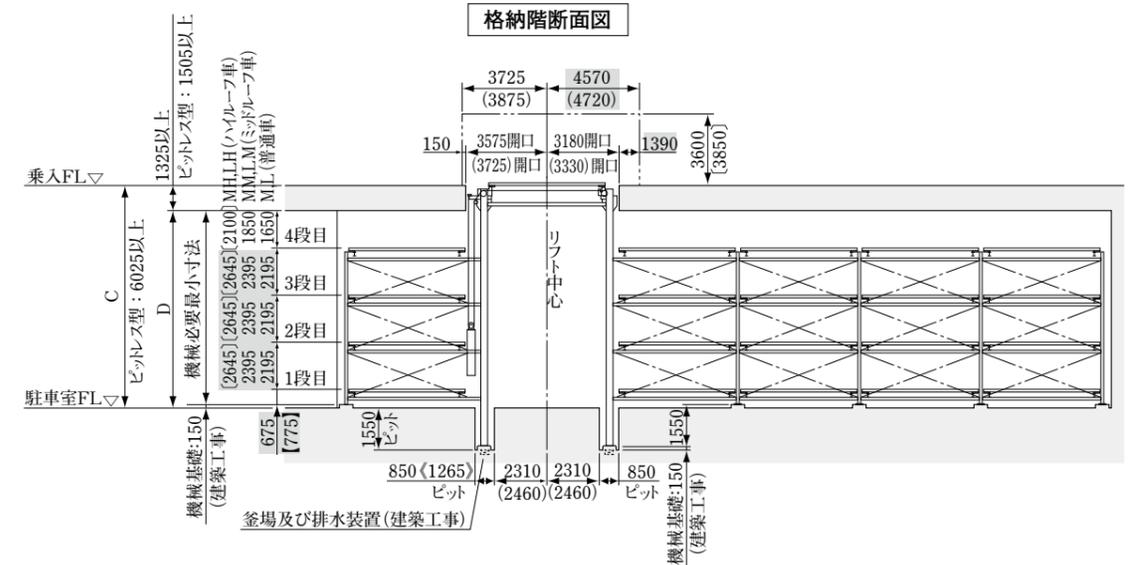
## 基本寸法図

### (ターンテーブル外置・通り抜けタイプ)

車椅子使用者対応による標準タイプからの変更部を抜粋しました。  
■部は標準タイプからの変更寸法値を示します。



以下図面は標準(ピット型)を例に示しますが、ピット無し(ピットレス型)も可能です。



### 備考

1. 寸法の配列は下記によります。  
 ----- 中型車用(M)又は各車種共通  
 (-----) 大型車用(L)  
 [-----] ハイルーフ車用  
 【-----】 防振ゴム設置の場合  
 <-----> 乗入FL～駐車室FLの深さ(C寸法)が8000mm未満の場合
2. 格納階深さ(D寸法)は強制換気ダクトのほか、諸設備配管等の納まりを考慮の上、決定願います。
3. 格納階からの非常脱出扉の設置場所は自治体条例に即して設けて下さい。乗入階における非常脱出扉につきましては、P59「建築工事範囲における認定規定」を参照願います。
4. ピットレス型の平面寸法はP13～P18を参照願います。
5. ピットレス型の処理能力(円滑性)は別途お問合わせ下さい。

### 格納段数と有効階高(D)との関係

D寸法	ハイルーフ車用の段数			
	0	1	2	3
普通車用の段数	0	2475	5120	7765
	1	2925	5570	8215
	2	4670	7315	9960
	3	6865	9510	—
	4	9060	—	—

D寸法	ミッドルーフ車用の段数		
	1	2	3
普通車用の段数	0	2675	5070
	1	4870	7265
	2	7065	9460
	3	9260	—
	4	—	—

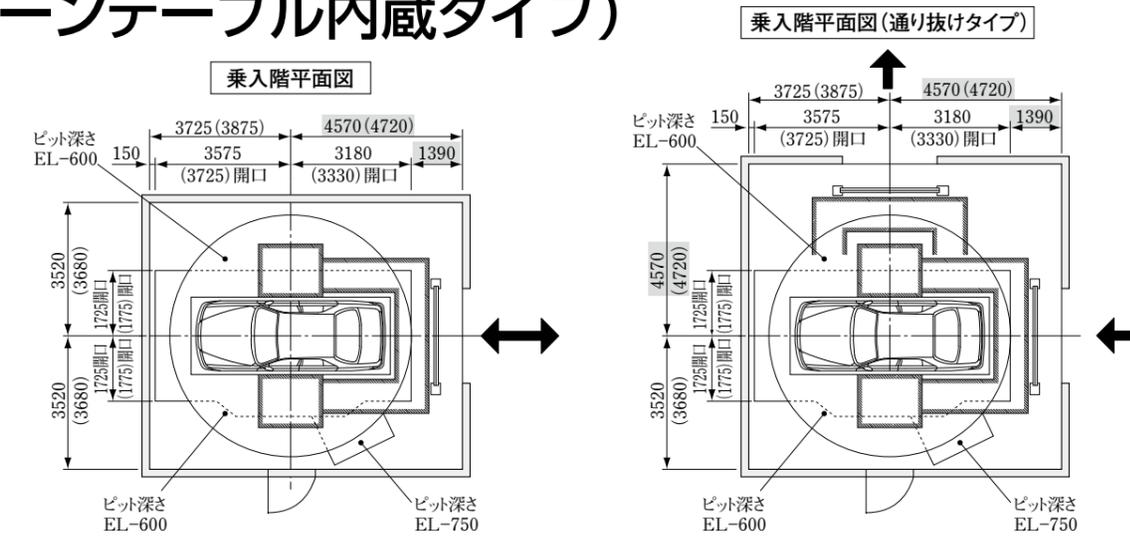
D寸法	ハイルーフ車用の段数			
	0	1	2	3
の段数	0	2925	5570	8215
ミッドルーフ車用	1	2675	5320	7965
	2	5070	7715	10360
	3	7465	10110	—
	4	9860	—	—

注) 本設計資料の仕様及び寸法は予告なしに変更する場合があります。

(注) 防振ゴム設置の場合、100mm加算して下さい。

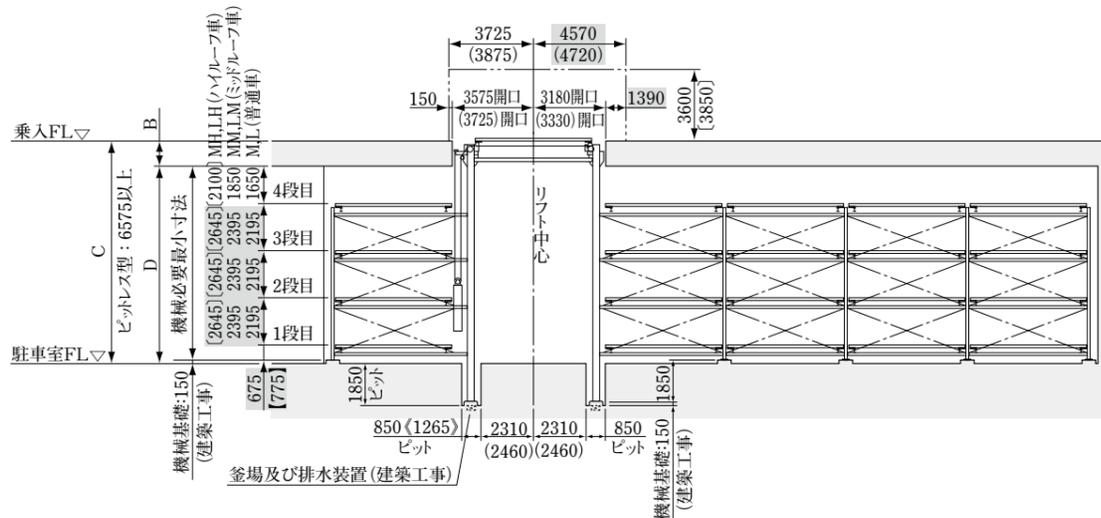
# 車椅子使用者対応型

## (ターンテーブル内蔵タイプ)



以下図面は標準(ピット型)を例に示しますが、ピット無し(ピットレス型)も可能です。

格納階断面図



備考

1.寸法の配列は下記によります。

- 中型車用(M)又は各車種共通
- (-----) 大型車用(L)
- [-----] ハイルーフ車用
- 【-----】 防振ゴム設置の場合
- 《-----》 乗入FL～駐車室FLの深さ(C寸法)が8000mm未満の場合

2.格納階深さ(D寸法)は強制換気ダクトのほか、諸設備配管等の納まりを考慮の上、決定願います。

3.格納階からの非常脱出扉の設置場所は自治体条例に即して設けて下さい。乗入階における非常脱出扉につきましては、P59「建築工事範囲における認定規定」を参照願います。

4.ピットレス型の平面寸法はP19～P24を参照願います。

5.ピットレス型の処理能力(円滑性)は別途お問合わせ下さい。

格納段数と有効階高(D)との関係

D寸法	ハイルーフ車用の段数			
	0	1	2	3
普通車用の段数	0	2925	5570	8215
	1	2475	5120	7765
	2	4670	7315	9960
	3	6865	9510	-
	4	9060	-	-

D寸法	ミッドルーフ車用の段数		
	1	2	3
普通車用の段数	0	2675	5070
	1	4870	7265
	2	7065	9460
	3	9260	-
	4	-	-

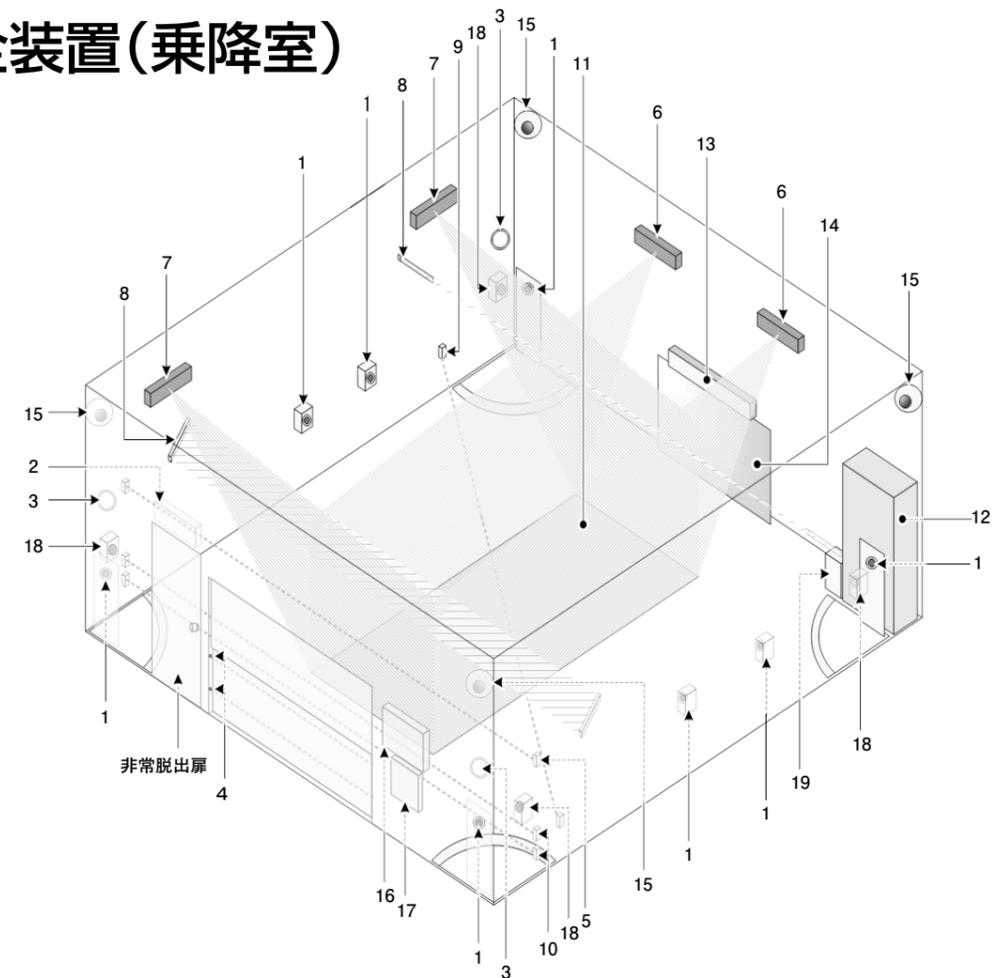
D寸法	ハイルーフ車用の段数			
	0	1	2	3
のミッドルーフ車用の段数	0	2925	5570	8215
	1	2675	5320	7965
	2	5070	7715	10360
	3	7465	10110	-
	4	9860	-	-

(注) 防振ゴム設置の場合、100mm加算して下さい。

TT内蔵型	配置条件	B寸法
		単列+単列もしくはリフト端部の場合
	上記以外(荷繰りにより車積載台車がリフト搬器下を通過する場合)	1575以上(ピットレス型:1705以上)

注) 本設計資料の仕様及び寸法は予告なしに変更する場合があります。

## 安全装置(乗降室)



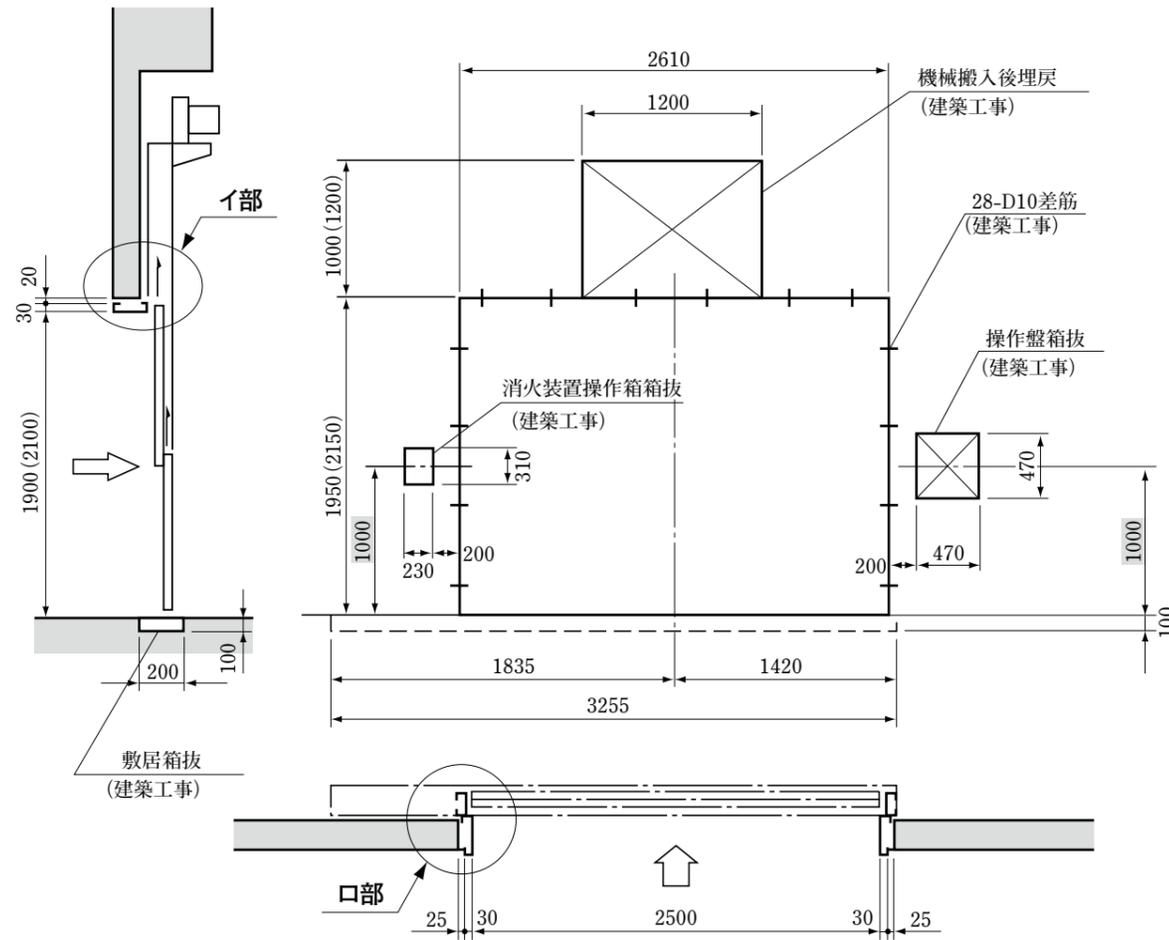
No.	名称	はたらき
1	非常停止ボタン	非常時にこのボタンを押して、機械を非常停止させます。
2	避難口誘導灯	非常脱出扉のある位置を示します。
3	パッシブセンサ	出入口扉が開いた状態のときに、乗降室内に人など動くものを検知します。
4	三方棒センサ	出入口扉を閉じるときに、出入口扉の下に人や障害物がないか検知します。
5	車高センサ	車高を検知します。
6	車幅センサ	車幅を検知します。
7	車長センサ	車長を検知します。
8	すみ切りセンサ	車両前後上部のみ出しを検知します。
9	在荷センサ	自動車の有無を検知します。
10	入口部非常停止センサ	何らかの不具合で出入口扉が開いたままになってしまった場合、乗降室の入口部付近に人など動くものがないか検知します。
11	パレット	自動車を載せる台です。自動車を載せた状態で昇降し、棚に収納されます。
12	制御盤	保守員用です。保守員以外は絶対に触らないでください。
13	入庫指示灯	入庫時に自動車をパレット上の停止位置まで誘導するためのランプです。
14	停止位置確認用鏡	入庫時に自動車の停止位置を確認するための鏡です。
15	安全確認用カメラ	乗降室内の無人を確認するためのカメラです。
16	安全確認用モニタ	乗降室内の無人を確認するためのモニタです。
17	操作盤(無人確認入力機能付)	自動車の入出庫のための操作を行うタッチパネル、ボタン等があります。
18	無人確認入力ボタン	安全確認用カメラやモニタが故障したとき、無人確認を行うためのボタンです。
19	地震感知器(オプション)	震度5弱以上の地震を感知すると、機械が自動的に非常停止します。

# 車椅子使用者対応型

参考資料

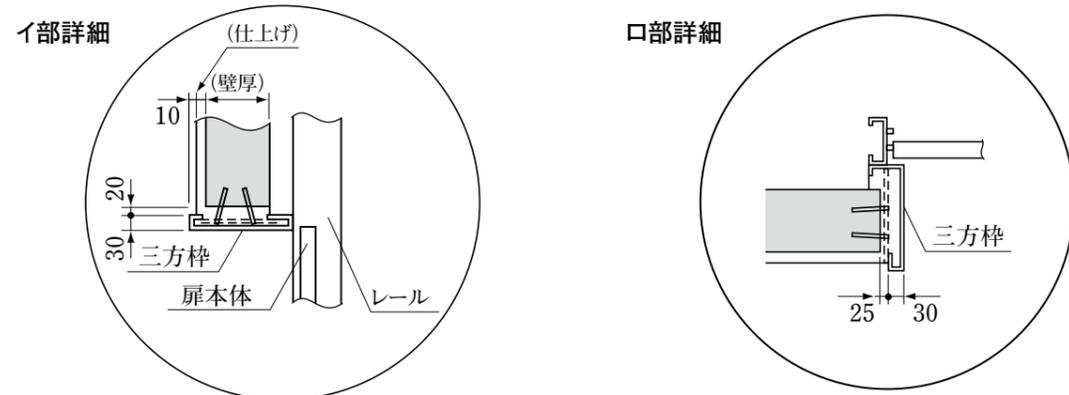
## 扉〔上下開閉式扉〕

出入口箱抜き寸法(2枚扉の場合)



備考

1. ( )内寸法は、ハイルーフ車用の場合を示します。



注) 上記以外の扉や本図どおりに納まらない場合はお問い合わせ下さい。

## 車椅子使用者対応の主な要求事項 (立体駐車場工業会 技術基準引用)

項目	従来の技術基準	車椅子使用者対応の主な要求事項	備考	
駐車装置の出入口部	前面空地	自動車2台分の空地を必要とする。	自動車1台分とその左右に車椅子による乗降が容易に行える空地を確保すること。	前面空地とは、駐車場出入口の前面スペースをいう。
	操作盤位置	人および自動車の出入りの状況	人(高齢者・身体障害者等を含む)および自動車の出入りの状況が目視にて確認できる位置。操作面の高さは1000mm程度。	車椅子に座った状態で、容易に操作できる位置とした。
駐車装置の乗降室部	利用者の通路	幅:500mm以上 高さ:1800mm以上	幅:900mm以上、高さ:1900mm以上 但し、自動車への乗降部は幅:1400mm以上、奥行き:1700mm以上 極力平坦とし、勾配は12分1を超えないこと。	通路の幅は車椅子が容易に通れる寸法とし、自動車への乗降部は車椅子の回転を考慮した寸法とした。
	非常口扉の大きさと設置数	建築基準法、消防法等による。	幅:900mm以上、高さ:1900mm以上 設置数:車椅子の通路を考慮して決めること。	設置数は乗降室に通常1箇所。通路が不十分な場合は2箇所。
	通路の段差と隙間	段差:230mm以下 隙間:40mm以下	段差・隙間:20mm以下 隙間:車椅子タイヤが落ち込まない程度の幅。	通路床面の段差および隙間(隙間は20mm以下)
	非常停止装置	数量:1以上 場所:出入口部付近	数量:通路部に2000mm以内の間に設置(1以上) 場所:通路部の側面および出入口部付近	車椅子から手を伸ばすと容易に操作できる数量・位置とした。

### 案内標識

車椅子使用者対応駐車場の出入口および場内で移動の方向を示す必要がある箇所には、高齢者、障害者等が見やすい位置に案内標識を設ける必要があります。

<参考例1> 公益社団法人 立体駐車場工業会 車いす使用者対応認定マーク



<参考例2> (注)「道路の移動等円滑化整備ガイドライン」第6章「自動車駐車場」より引用



新宿区都市計画部建築指導課 認定基準  
東京都駐車場条例第17条の5第3項(機械式駐車施設)

## 有効に駐車できると認められる特殊な装置を用いる駐車施設の認定取扱基準

19新都建審第14号  
平成19年5月25日  
(改正)平成21年9月25日

### <認定基準>

#### 第1 趣旨

東京都駐車場条例(昭和33年10月1日東京都条例第77号。以下「条例」という。)第17条の5第3項の規定に基づく特殊な装置を用いる駐車施設(以下「機械式駐車施設」という。)の認定にあたり、条例の目的及び主旨を勘案し運用するものとする。

#### 第2 有効に駐車できると認められる機械式駐車施設は、次に掲げる要件を満たすものであることとする。

駐車場法施行令(昭和32年政令第304号。)第15条に規定する「特殊な装置として国土交通大臣が認定したもの」であること。

#### 第3 障害者用車室とみなすことができる機械式駐車施設の基準(車いす使用者が自由に利用できる構造)は、以下に掲げる要件を満たすものであることとする。

※整備項目等は、別紙チェックシートによること。

- ① 機械式駐車施設がバリアフリータイプとして社団法人立体駐車場工業会の認定を得たものであり、国土交通大臣の認定に記載する名称と同一のものであること。
- ② 車いす使用者が管理人等の介助がなくても自力で乗降できることであること。
- ③ 段差のない昇降室(自動車載せる部分は除く)で幅3.5メートル以上の平面が確保されていること。
- ④ 障害者のための駐車施設であることの表示がなされており、敷地への自動車の入口から障害者のための駐車施設までの誘導表示があること。
- ⑤ その他車いす利用者の利便を考慮した設備を設置したものであること。

附則 本基準は、平成19年5月25日から施行する。

附則 本基準は、平成21年9月25日から施行する。

## 障害者用車室とみなすことができる機械式駐車施設の基準 チェックシート(車いす使用者が自由に利用できる構造)

基準	整備項目等	適否
① 機械式駐車施設がバリアフリータイプとして社団法人立体駐車場工業会の認定を得たものであり、国土交通大臣の認定に記載する名称と同一のものであること。	・国土交通省の認定書の写しを添付している。	
	・社団法人立体駐車場工業会の認定書の写しを添付している。	
	・国土交通省の認定書と社団法人立体駐車場工業会の認定書に記載する名称が同一のものであること。	
② 車いす使用者が管理人等の介助がなくても自力で乗降できることであること。	・操作盤の高さが車いす使用者が容易に操作できる位置にある。	
	・自動車の乗降用スペースに1.4m以上の回転スペースがある。	
	・回転スペースから乗り込み口まで車いすがスムーズに移動できる幅0.9m以上の通路が確保している。	
③ 段差のない昇降室(自動車載せる部分は除く)で幅3.5メートル以上の平面が確保されていること。	・段差のない昇降室である。	
	・有効幅が3.5m以上ある。	
④ 障害者のための駐車施設であることの表示がなされており、敷地への自動車の入口から障害者のための駐車施設までの誘導表示があること。	・1台以上のフラットレーには、障害者のための駐車施設であることの表示がある。	
	・誘導表示を設置している。	
⑤ その他車いす利用者の利便を考慮した設備を設置したものであること。	・カーブミラーを設置している。	
	・一時停止線を設置している。	



三菱立体駐車場

プレストパーク設計資料

2023年10月作成

## 三菱重工機械システム株式会社

<https://www.mhi-ms.com/jp/>

### モビリティ事業本部 営業2部

パーキング営業課	〒231-0062	横浜市中区桜木町1-1-8(日石横浜ビル20階)	TEL. 045-319-6240
サービス営業一課・二課	〒231-0062	横浜市中区桜木町1-1-8(日石横浜ビル20階)	TEL. 045-319-6330
名古屋	〒453-0858	名古屋市中村区野田町東豎出3	TEL. 052-412-2299
大阪	〒550-0001	大阪市西区土佐堀1-3-20(三菱重工大阪ビル)	TEL. 06-6446-4084
福岡	〒812-0004	福岡市博多区榎田1-3-3	TEL. 092-452-5077